

市内中小企業の景況について (第 127 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 30 年 6 月
- ・ 調査対象期間 平成 30 年 4 月～6 月期 (3 箇月実績) / 平成 30 年 7～9 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 370 社、非製造業 430 社、計 800 社に対しアンケートを送付。482 社が回答 (回収率 60.3%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数	(構成比)	項 目	企業数	(構成比)
製造業	246	(51.0)	非製造業	236	(49.0)
西 陣	21	(4.4)	卸 売	52	(10.8)
染 色	30	(6.2)	小 売	57	(11.8)
印 刷	29	(6.0)	情 報 通 信	17	(3.5)
薬 業	15	(3.1)	飲 食 ・ 宿 泊	30	(6.2)
化 学	18	(3.7)	サ ー ビ ス	48	(10.0)
金 属	30	(6.2)	建 設	32	(6.6)
機 械	32	(6.6)	不 明	0	(0.0)
その他の製造	71	(14.7)	合 計	482	(100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)	52	(10.8)
-----------------------	----	----------

- =Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加、上昇などと回答した企業の企業割合から、減少、低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として、それより上である場合は、上向き傾向を表す回答が多いことを示し、下である場合は、下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

- 中小企業の定義
中小企業基本法に基づき、業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模 / 資本金規模
製造業、その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信、飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については、インターネットホームページでも御覧いただけます。

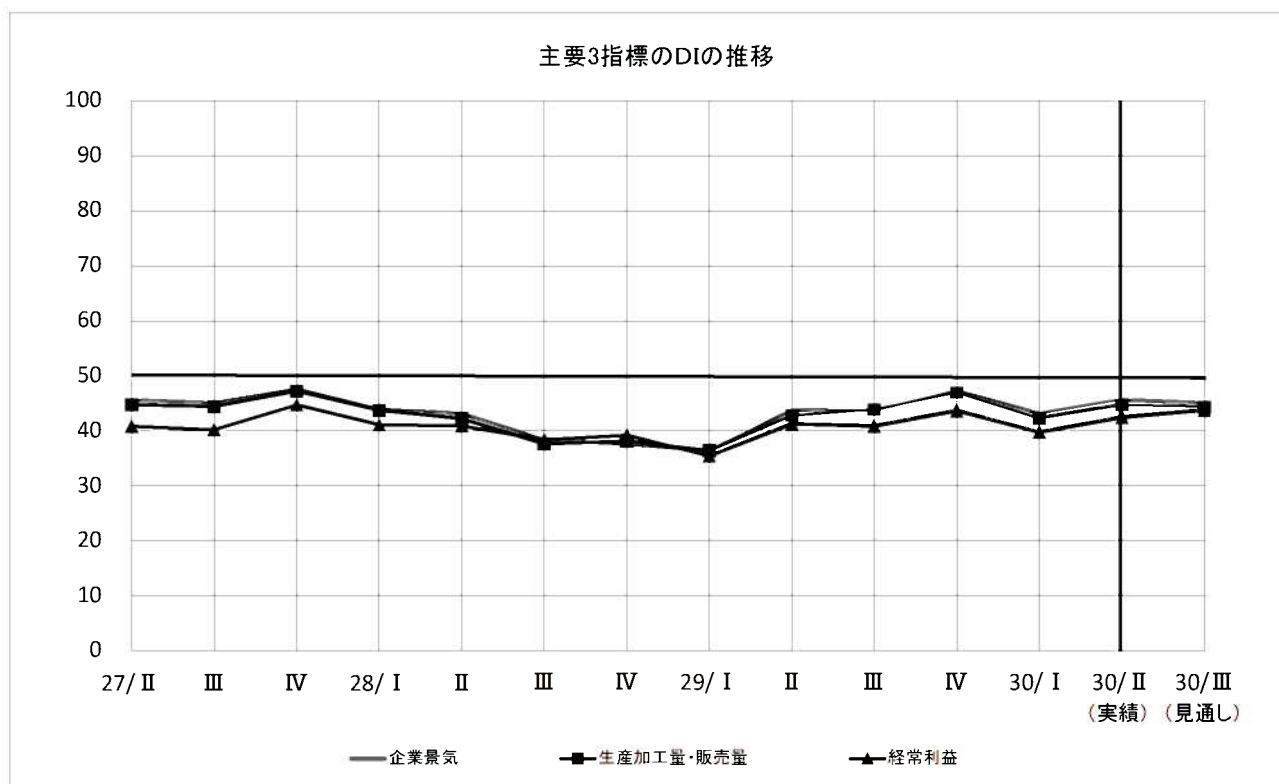
URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/30-3-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

調査結果概要

1 景気動向について

- 今期の企業景気DIは、全産業で2.5ポイント上昇した。製造業で2.8ポイント上昇、非製造業で2.1ポイント上昇した。
- 来期の企業景気DIの見通しは、全産業で0.6ポイント低下。製造業で0.8ポイント上昇、非製造業では2.2ポイント低下。

<主要3指標のDIの推移>



		前期 (H30/1-3月)		今期 (4-6月)		来期 (7-9月)	
			増減		増減		増減
企業景気DI	全産業	43.1	▼4.1	45.6	△2.5	45.0	▼0.6
	製造業	44.5	▼5.3	47.3	△2.8	48.1	△0.8
	非製造業	41.7	▼3.0	43.8	△2.1	41.6	▼2.2
生産加工量・販売量DI	全産業	42.2	▼4.6	44.6	△2.4	44.3	▼0.3
	製造業	45.1	▼5.8	46.6	△1.5	47.7	△1.1
	非製造業	39.2	▼3.3	42.2	△3.0	40.4	▼1.8
経常利益DI	全産業	39.7	▼3.9	42.4	△2.7	43.7	△1.3
	製造業	43.3	▼5.1	45.1	△1.8	47.9	△2.8
	非製造業	36.0	▼2.7	39.5	△3.5	39.1	▼0.4

<主要3指標の業種別推移（今期／来期見通し）>

	企業景気DI				生産加工量・販売量DI				経常利益DI			
	今期		来期		今期		来期		今期		来期	
		増減		増減		増減		増減		増減		増減
製造業	47.3	△2.8	48.1	△0.8	46.6	△1.5	47.7	△1.1	45.1	△1.8	47.9	△2.8
西陣	32.5	△3.6	32.5	0.0	30.0	▼4.2	32.5	△2.5	40.0	△11.1	40.0	0.0
染色	39.7	△22.5	36.2	▼3.5	37.9	△18.9	28.6	▼9.3	39.7	△19.0	30.4	▼9.3
印刷	39.7	▼1.4	41.4	△1.7	37.9	▼6.7	41.4	△3.5	41.4	△3.9	39.7	▼1.7
窯業	60.0	△16.2	50.0	▼10.0	64.3	△21.0	60.7	▼3.6	64.3	△21.0	57.1	▼7.2
化学	44.4	▼8.2	55.6	△11.2	44.4	▼8.2	52.8	△8.4	44.4	▼10.9	55.6	△11.2
金属	63.3	△1.8	58.3	▼5.0	63.3	△1.3	60.0	▼3.3	56.7	▼1.0	56.7	0.0
機械	55.4	▼5.5	60.7	△5.3	55.4	▼1.1	57.1	△1.7	50.0	▼13.0	57.1	△7.1
その他の製造	45.7	▼2.1	48.6	△2.9	44.9	▼2.8	49.3	△4.4	39.7	▼4.1	49.3	△9.6
非製造業	43.8	△2.1	41.6	▼2.2	42.2	△3.0	40.4	▼1.8	39.5	△3.5	39.1	▼0.4
卸売	37.5	▼2.5	36.0	▼1.5	36.5	0.0	40.2	△3.7	33.0	▼4.5	36.5	△3.5
小売	42.2	△1.2	41.2	▼1.0	43.8	△3.4	42.7	▼1.1	35.7	△5.5	37.8	△2.1
情報通信	73.3	△15.0	64.3	▼9.0	63.3	△10.2	46.4	▼16.9	70.0	△13.7	57.1	▼12.9
飲食・宿泊	25.9	▼20.4	30.8	△4.9	25.9	▼16.4	28.8	△2.9	31.7	△0.2	31.5	▼0.2
サービス	46.9	△9.4	42.4	▼4.5	43.1	△8.0	38.2	▼4.9	40.0	△4.8	37.2	▼2.8
建設	54.7	△16.1	48.4	▼6.3	53.3	△16.5	46.6	▼6.7	48.4	△11.3	46.7	▼1.7
観光関連企業	31.4	▼11.5	33.3	△1.9	35.0	▼4.4	34.0	▼1.0	30.4	▼5.0	33.3	△2.9

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇、▼は低下を示す。）

<設備投資 DI 推移（今期／来期見通し）>

	設備投資DI			
	今期		来期	
		増減		増減
製造業	17.7	▼3.3	20.0	△2.3

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇、▼は低下を示す。）

(1) 今期実績 平成 30 年 4 月～6 月期

企業景気 DI は、製造業で 2.8 ポイント、非製造業で 2.1 ポイント上昇し、全産業では 2.5 ポイントの上昇となった。

製造業では、「個人消費の伸び」（上京区／西陣）、「海外営業の効果」（中京区／染色）、「好調な出荷数量」（左京区／窯業）、「受注量の増加」（南区／金属）などの要因により、西陣、染色、窯業、金属の 4 業種が上昇した。一方、「市場の冷え込み」（南区／印刷）、「競合激化による売上減少」（左京区／化学）、「受注量の減少」（南区／機械）、「主原料の高騰」（下京区／その他製造）などの要因により、印刷、化学、機械、その他製造の 4 業種が低下した。

非製造業では、「売上の増加」（上京区／小売）、「新商品の好調な売れ行き」（山科区／情報通信）、「大型案件の受注」（上京区／サービス）、「民間工事の受注増」（下京区／建設）などの要因により、小売、情報通信、サービス、建設の 4 業種が上昇した。一方、「売上不振」（中京区／卸売）、「競合相手（宿泊施設）の増加」（中京区／飲食・宿泊）などの要因により、卸売、飲食・宿泊の 2 業種が低下した。

観光関連業種は、11.5 ポイント低下した。

今回の調査では、全産業の企業景気 DI は、2.5 ポイント上昇した。業種別にみると、企業景気 DI は、染色、窯業が 2 桁の伸びを示すなど、製造業では 8 業種のうち 4 業種が上昇し、製造業全体では 2.8 ポイント上昇した。非製造業では、情報通信、建設が 2 桁の伸びを示すなど、6 業種のうち 4 業種が上昇し、非製造業全体では 2.1 ポイント上昇した。

主要 3 指標 DI がいずれも上昇した業種は 14 業種中 6 業種であり、いずれも低下した業種は 3 業種である。

今期：主要 3 指標 DI いずれも上昇した業種 14 業種中 6 業種

＜3 指標上昇業種＞	企業景気 DI	生産加工量・販売量 DI	経常利益 DI
染色	39.7 (△ 22.5)	37.9 (△ 18.9)	39.7 (△ 19.0)
窯業	60.0 (△ 16.2)	64.3 (△ 21.0)	64.3 (△ 21.0)
小売	42.2 (△ 1.2)	43.8 (△ 3.4)	35.7 (△ 5.5)
情報通信	73.3 (△ 15.0)	63.3 (△ 10.2)	70.0 (△ 13.7)
サービス	46.9 (△ 9.4)	43.1 (△ 8.0)	40.0 (△ 4.8)
建設	54.7 (△ 16.1)	53.3 (△ 16.5)	48.4 (△ 11.3)

今期：主要 3 指標 DI いずれも低下した業種 14 業種中 3 業種

＜3 指標低下業種＞	企業景気 DI	生産加工量・販売量 DI	経常利益 DI
化学	44.4 (▼ 8.2)	44.4 (▼ 8.2)	44.4 (▼ 10.9)
機械	55.4 (▼ 5.5)	55.4 (▼ 1.1)	50.0 (▼ 13.0)
その他の製造	45.7 (▼ 2.1)	44.9 (▼ 2.8)	39.7 (▼ 4.1)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期、△は上昇、▼は低下を示す。）

(2) 来期見通し 平成 30 年 7 月～9 月期

企業景気 DI の来期見通しは、製造業で 0.8 ポイント上昇した一方、非製造業で 2.2 ポイント低下し、全産業では、0.6 ポイントの低下となった。

製造業では、「エネルギー関連の需要増」(南区／化学)、「客先が好調」(伏見区／機械)、「マーケティングが奏功」(伏見区／その他製造)などの要因により、印刷、化学、機械、その他製造の 4 業種が上昇した。一方、「原材料の高騰」(下京区／染色)、「需要の低迷」(東山区／窯業)、「人件費・原材料費の高騰」(山科区／金属)などの要因により、染色、窯業、金属の 3 業種が低下した。

非製造業では、飲食・宿泊が上昇した一方、「仕入価格の上昇」(北区／卸売)、「配送費の上昇」(下京区／小売)、「人手不足」(山科区／情報通信)、「顧客数の減少」(中京区／サービス)、「受注量の減少」(西京区／建設)などの要因により、卸売、小売、情報通信、サービス、建設の 5 業種が低下した。

観光関連業種は、1.9 ポイント上昇の見込み。

景気は、緩やかに回復している。先行きについては、雇用所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、平成 30 年 7 月豪雨の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

京都市についてみると、今期の企業景気 DI は多くの業種で上昇し、全産業で 2.5 ポイント上昇した。先行きについては、製造業のうち、化学が 2 桁の上昇を見込んでいるものの、非製造業の多くの業種で低下を見込んでおり、全産業で 0.6 ポイント低下の見込みとなっている。

主要 3 指標 DI がいずれも上昇と予測している業種は 14 業種中 3 業種であり、いずれも低下と予測している業種は 5 業種。

来期見通し: 主要 3 指標いずれも上昇と予測した業種 14 業種中 3 業種

<3 指標上昇業種>	企業景気 DI	生産加工量・販売量 DI	経常利益 DI
化学	55.6 (△ 11.2)	52.8 (△ 8.4)	55.6 (△ 11.2)
機械	60.7 (△ 5.3)	57.1 (△ 1.7)	57.1 (△ 7.1)
その他の製造	48.6 (△ 2.9)	49.3 (△ 4.4)	49.3 (△ 9.6)

来期見通し: 主要 3 指標いずれも低下と予測した業種 14 業種中 5 業種

<3 指標低下業種>	企業景気 DI	生産加工量・販売量 DI	経常利益 DI
染色	36.2 (▼ 3.5)	28.6 (▼ 9.3)	30.4 (▼ 9.3)
窯業	50.0 (▼ 10.0)	60.7 (▼ 3.6)	57.1 (▼ 7.2)
情報通信	64.3 (▼ 9.0)	46.4 (▼ 16.9)	57.1 (▼ 12.9)
サービス	42.4 (▼ 4.5)	38.2 (▼ 4.9)	37.2 (▼ 2.8)
建設	48.4 (▼ 6.3)	46.6 (▼ 6.7)	46.7 (▼ 1.7)

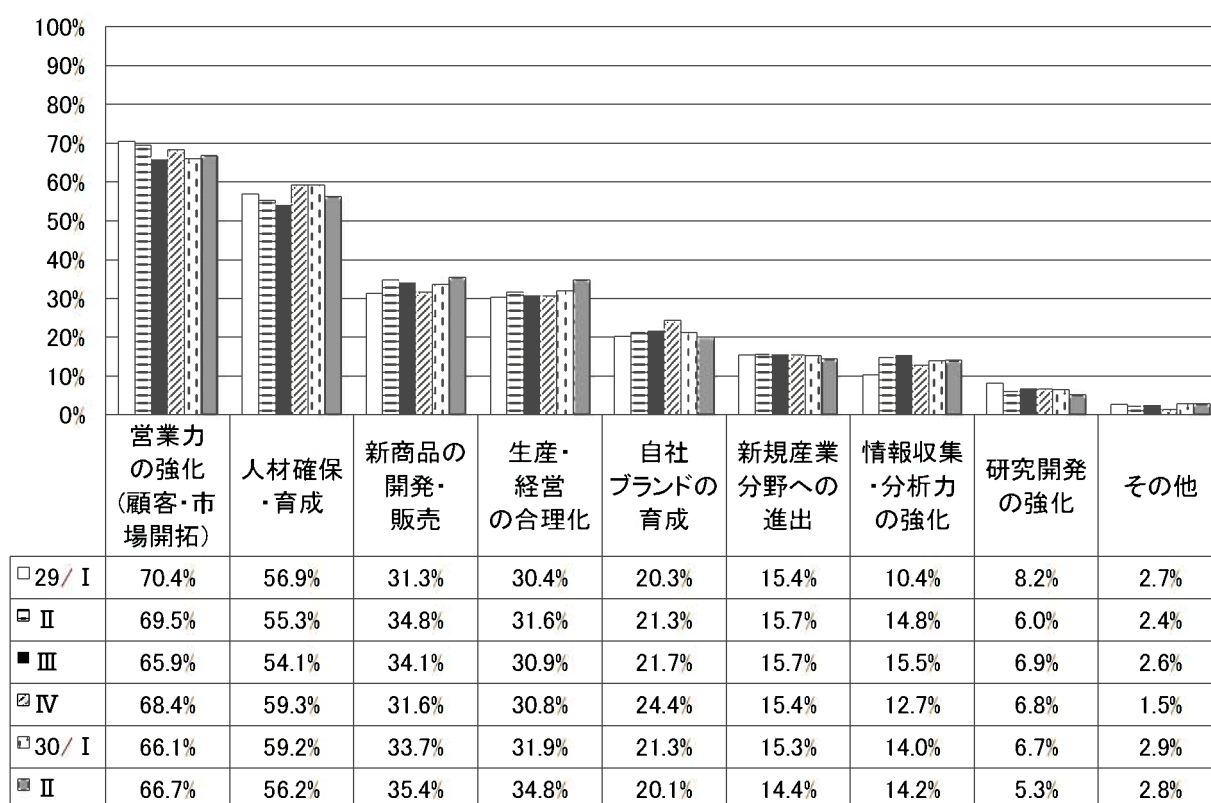
注: カッコ内は今期との差 (来期マイナス今期、△は上昇を示す。)

2 当面の経営戦略について

● 「営業力の強化」が引き続きトップも。「人材確保・育成」を重視する企業も高水準を維持。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が 66.7%と、引き続き最も多くなっている。続いて「人材確保・育成」が 56.2%、「新商品の開発・販売」が 35.4%、「生産・経営の合理化」が 34.8%となっている。

前期と比較すると、すべての項目で順位の変動はなかった。項目別では、「生産・経営の合理化」が 2.9 ポイント増、「新商品の開発・販売」が 1.7 ポイント増などとなっている。一方、「人材確保・育成」が 3.0 ポイント減、「研究開発の強化」が 1.4 ポイント減などとなっている。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合合計が 100%を超える。

3 経営上の不安要素について

●「人材育成」が引き続きトップ。「人件費増加」、「原材料価格上昇」「仕入値上要請」などが上昇。

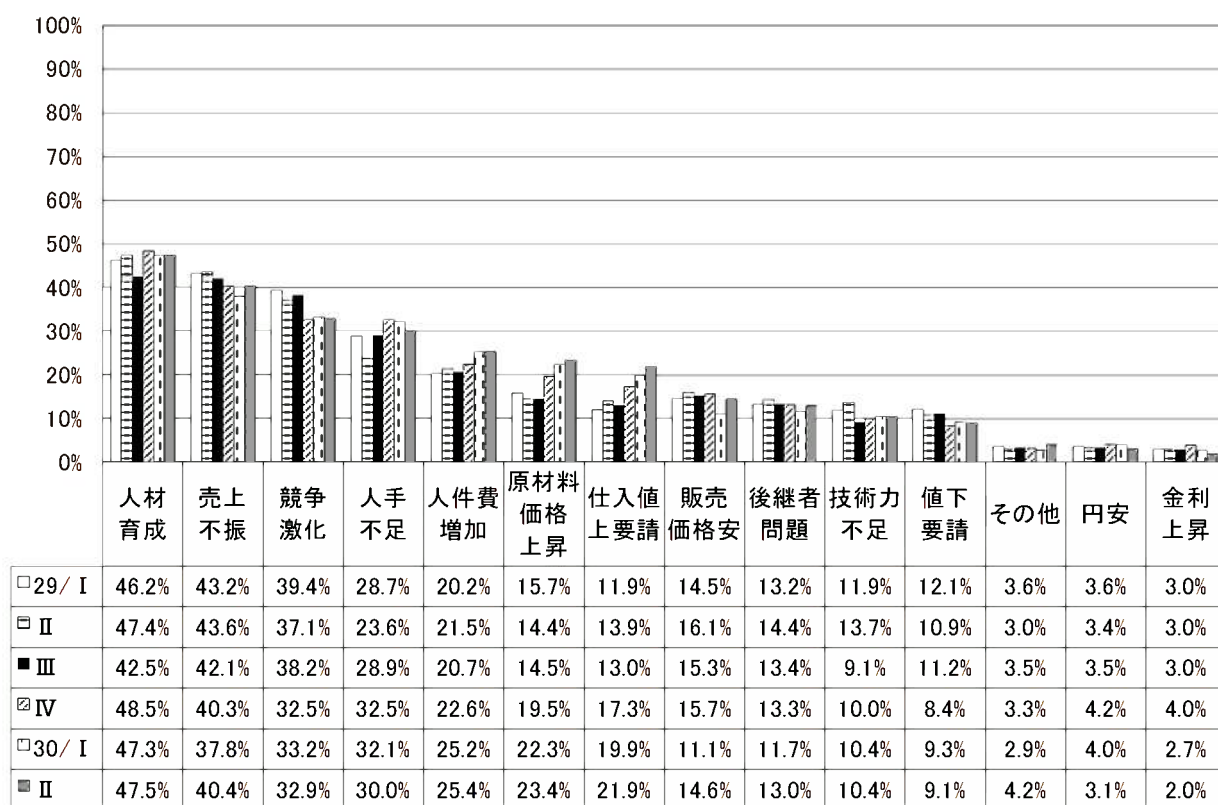
経営上の不安要素としては、「人材育成」を挙げる企業が47.5%と、最も多かった。続いて「売上不振」が40.4%、「競争激化」が32.9%、「人手不足」が30.0%、「人件費増加」が25.4%となっている。

前期と比較すると、「人材育成」が引き続きトップとなった。最も上昇しているのは、「販売価格安」で3.5ポイント増、続いて「売上不振」が2.6ポイント増となっている。一方、最も低下しているのは、「人手不足」で2.1ポイント減となっている。

業種別に見ると、印刷、窯業、化学、金属、機械、その他の製造、情報通信、飲食・宿泊（※）、サービス、建設の10業種では、「人材育成」と回答した企業が最も多く、西陣、染色、卸売、小売の4業種では、「売上不振」と回答した企業が最も多かった。

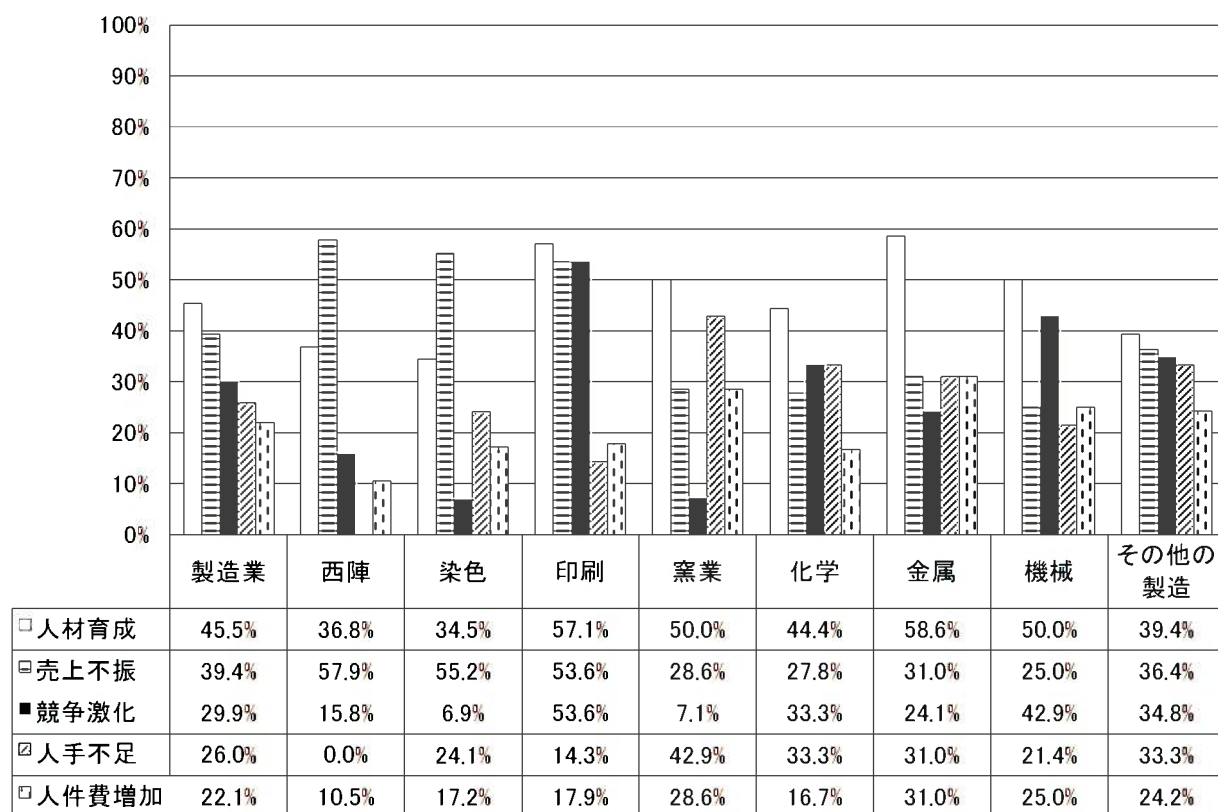
観光関連では、「人材育成」が最も多かった。

※他に「人手不足」が同数。

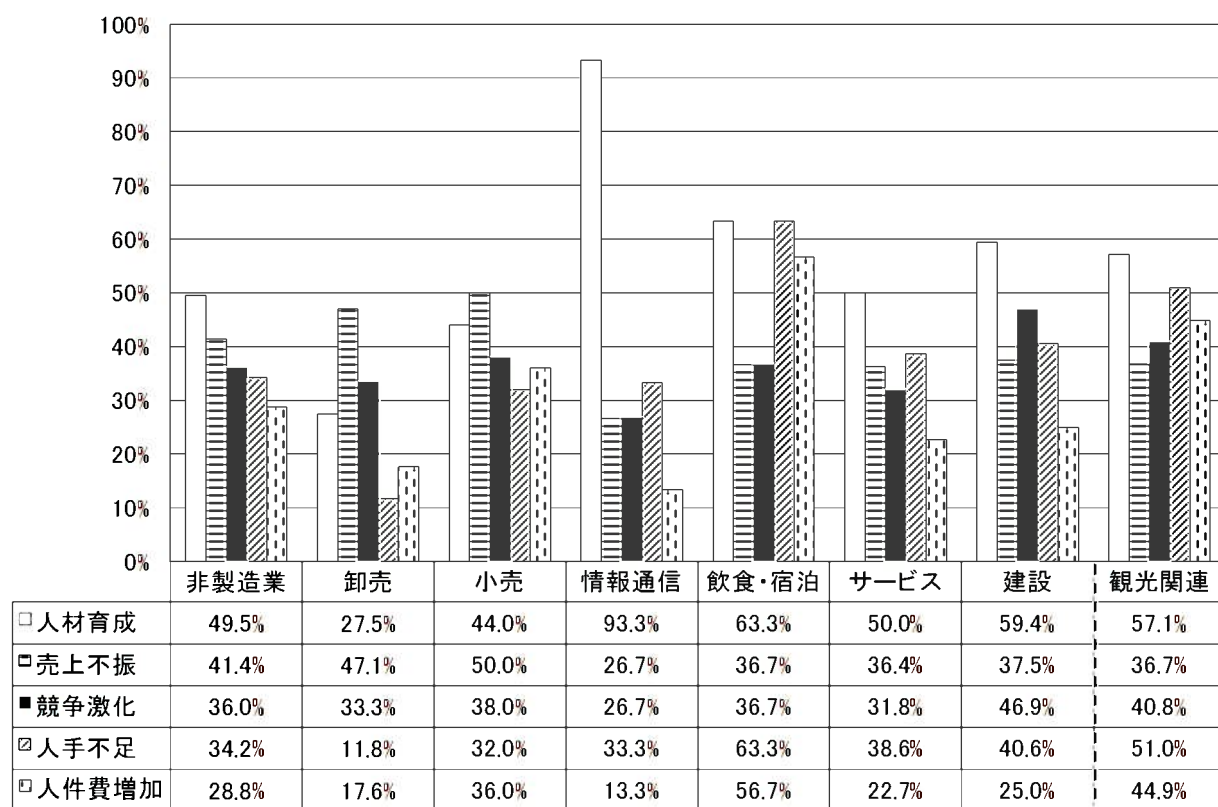


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

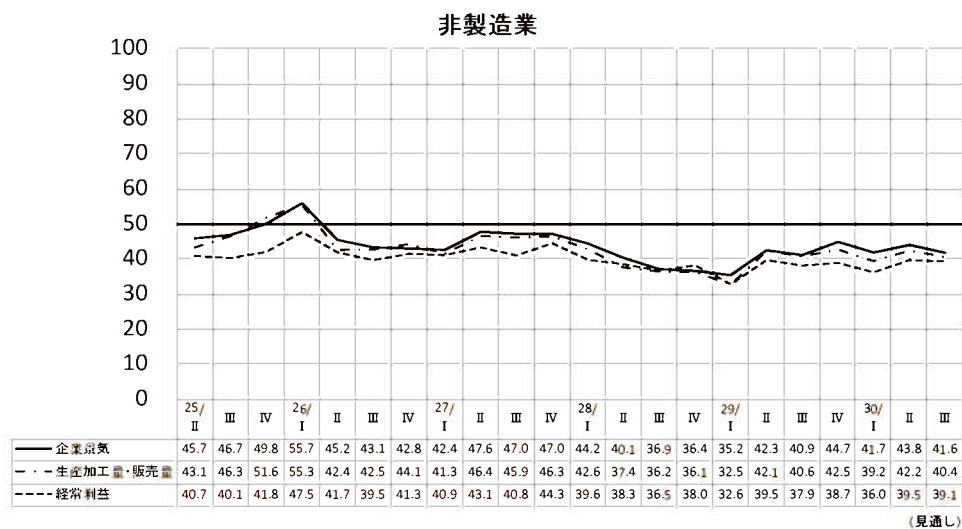
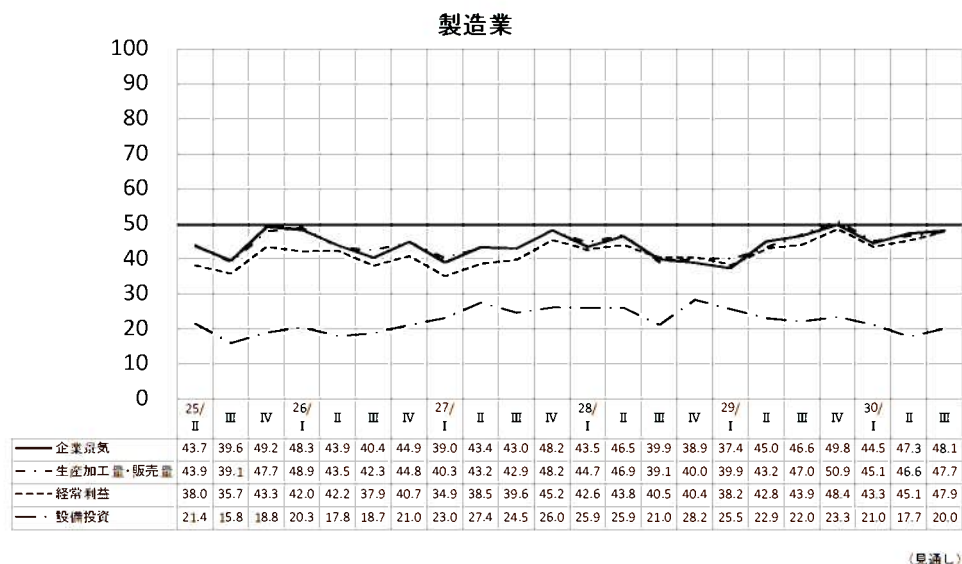
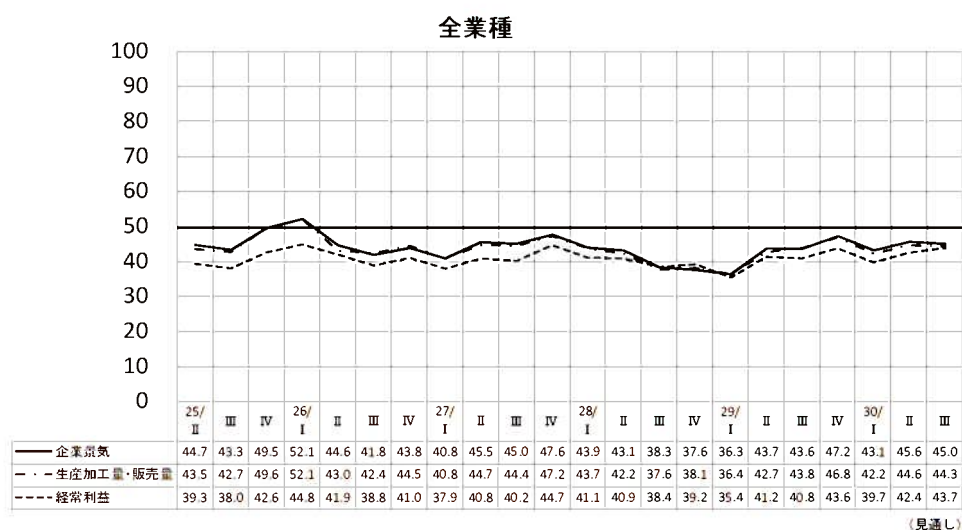
・経営上の不安要素・製造業主要回答



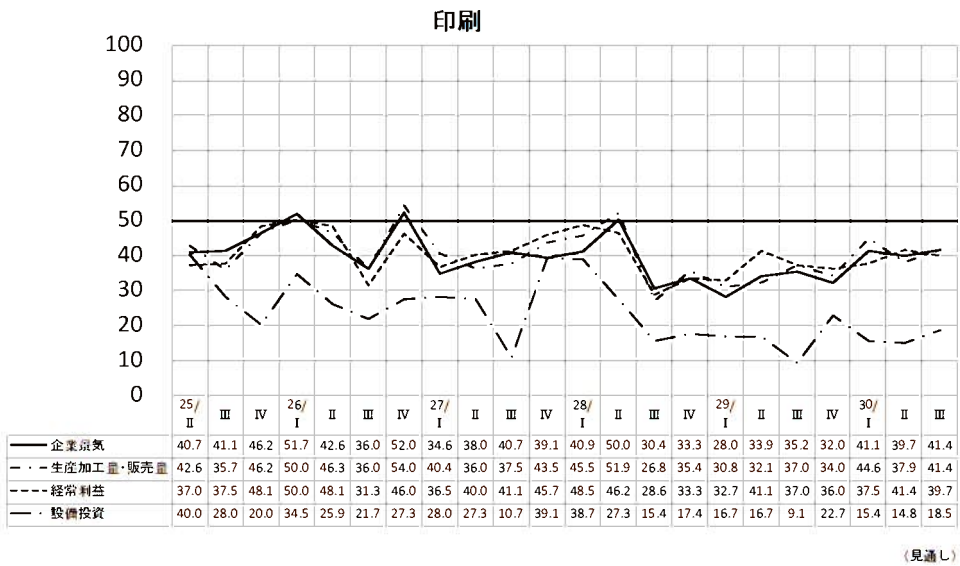
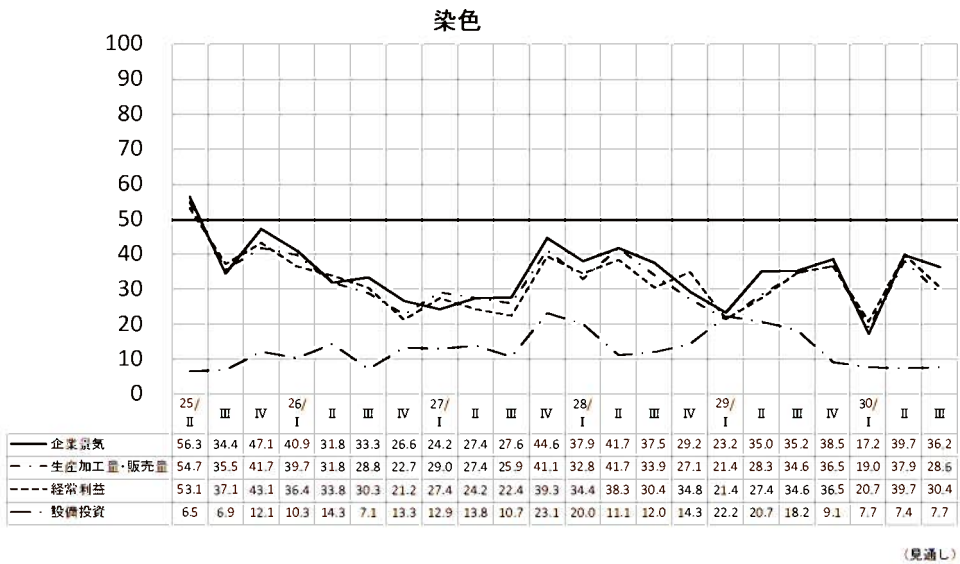
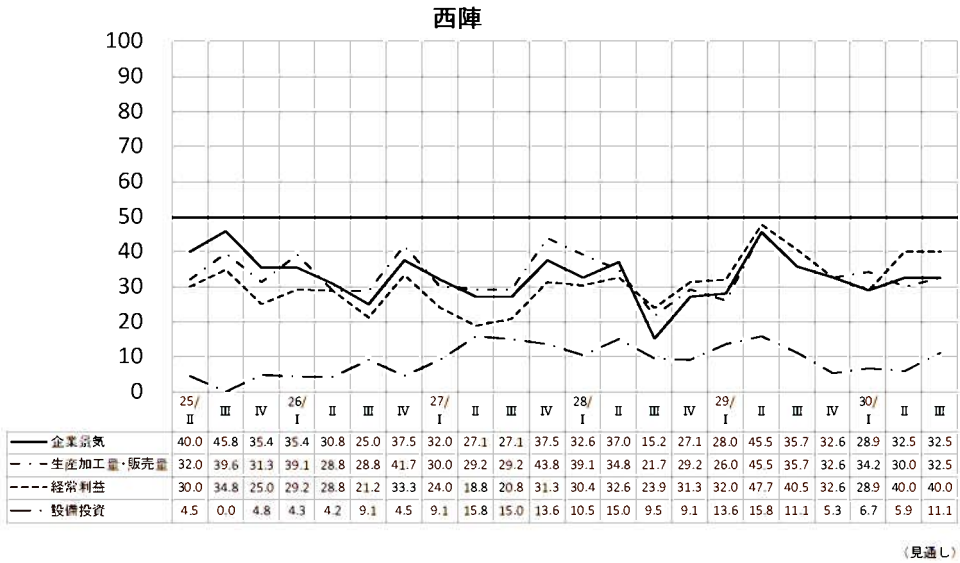
・経営上の不安要素・非製造業主要回答



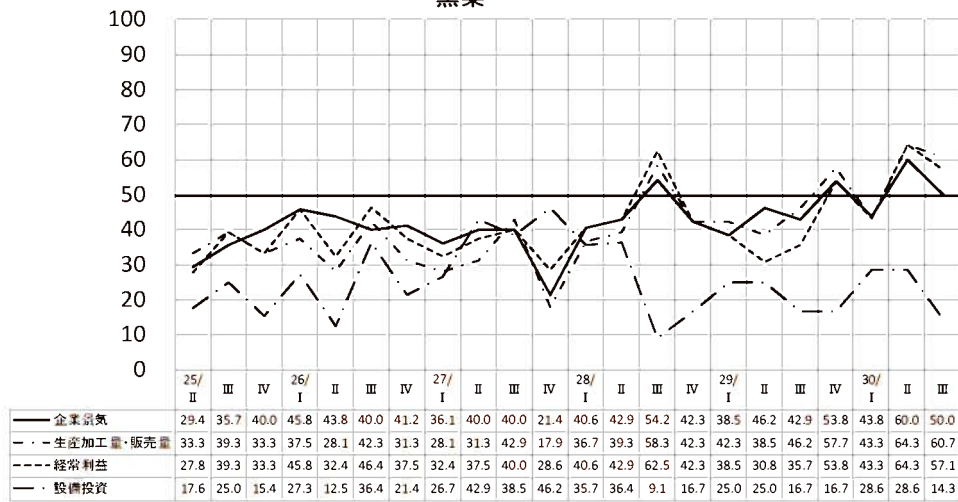
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。



参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

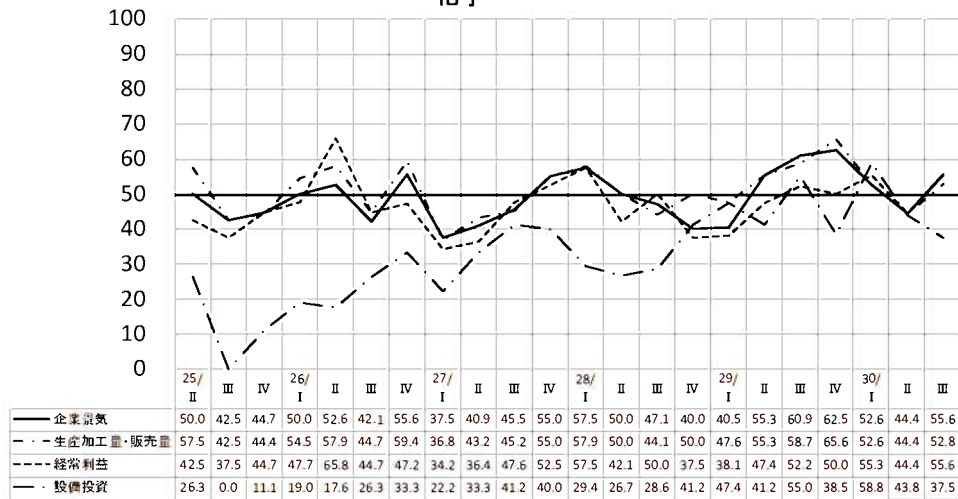


窯業



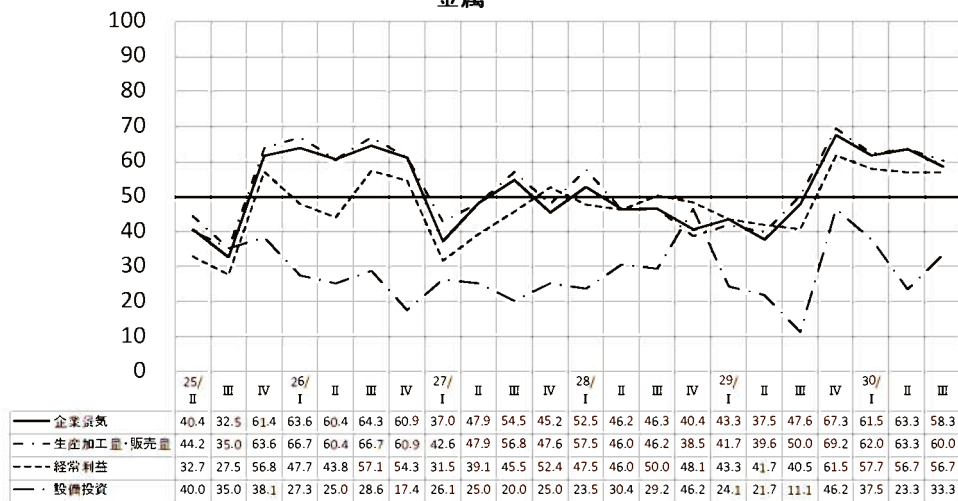
(見通し)

化学



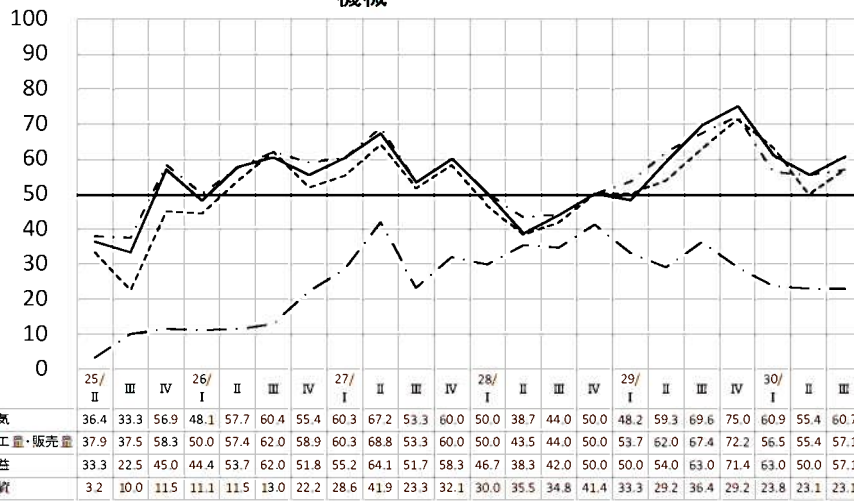
(見通し)

金属



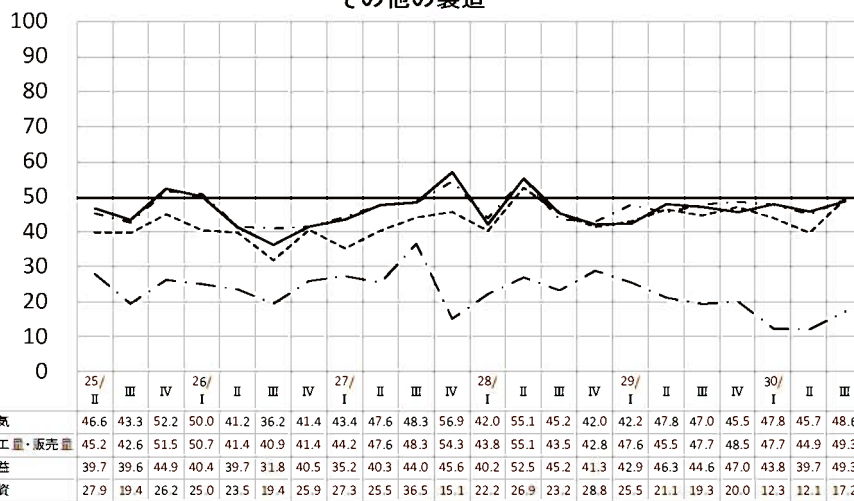
(見通し)

機械



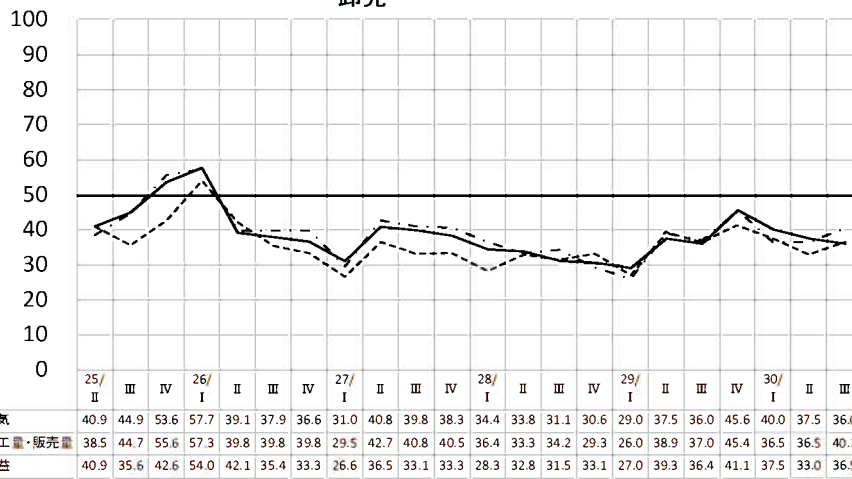
(見通し)

その他の製造



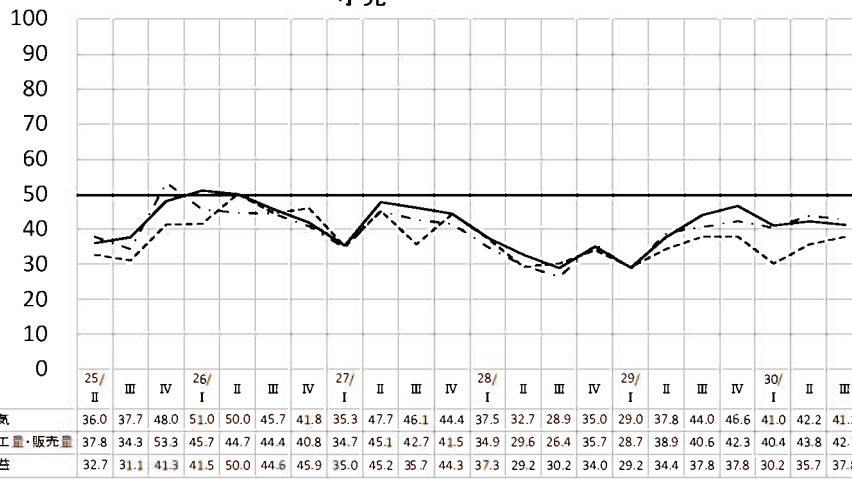
(見通し)

卸売



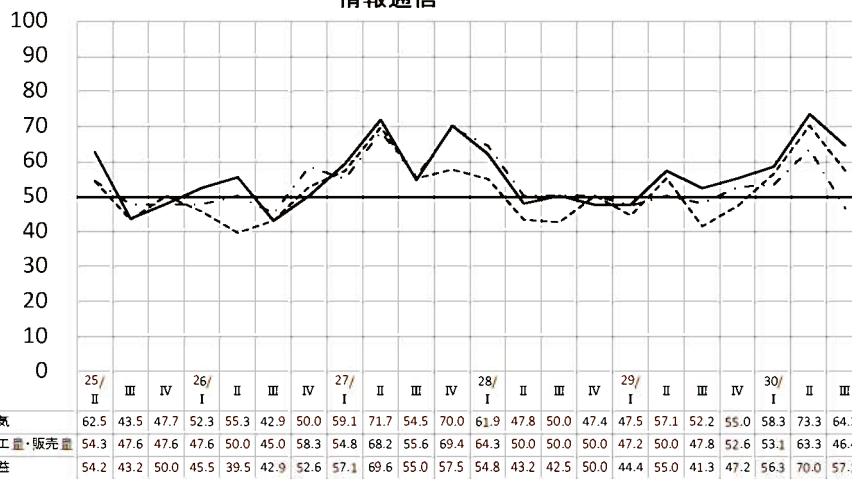
(見通し)

小売



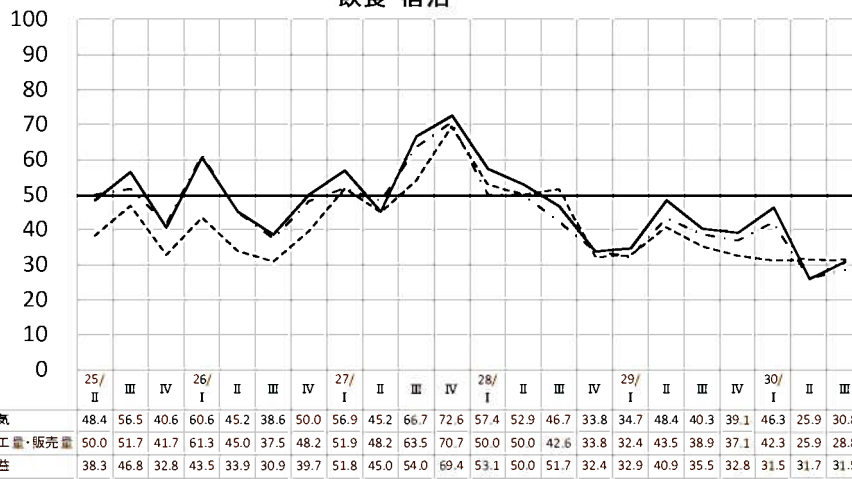
(見通し)

情報通信



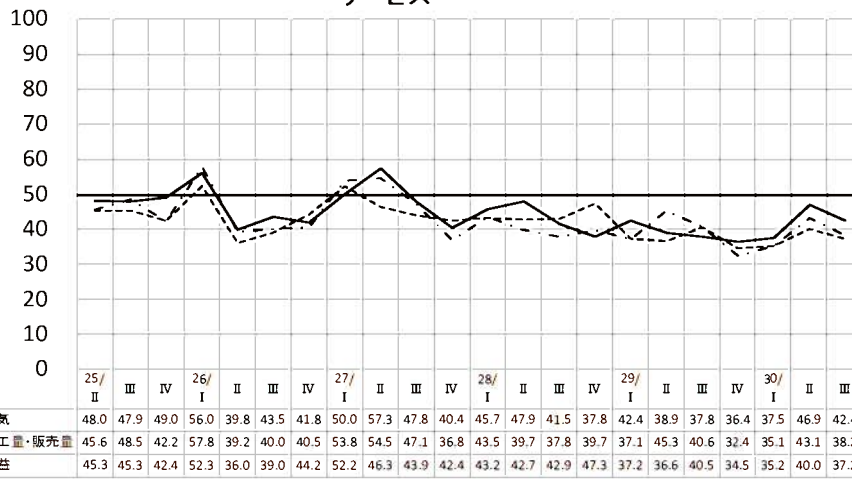
(見通し)

飲食・宿泊



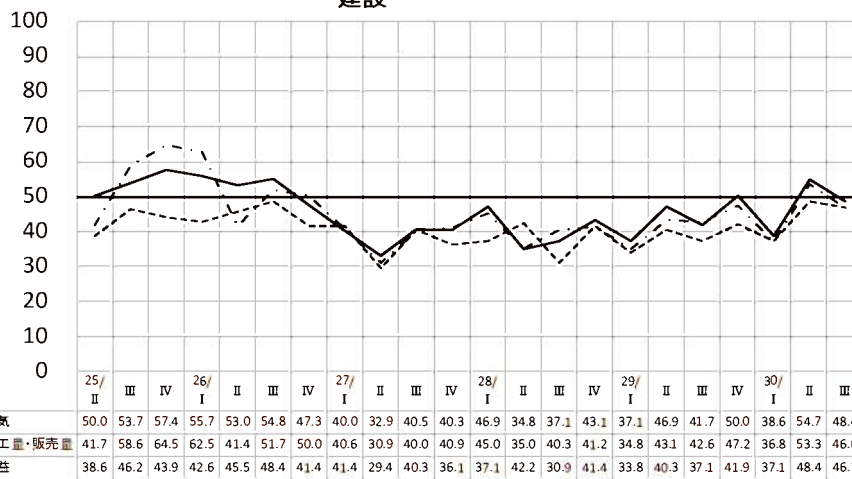
(見通し)

サービス



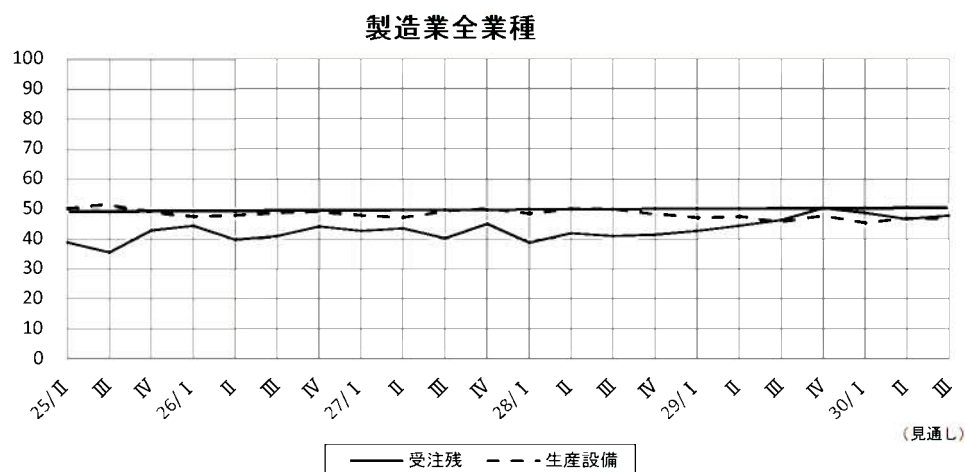
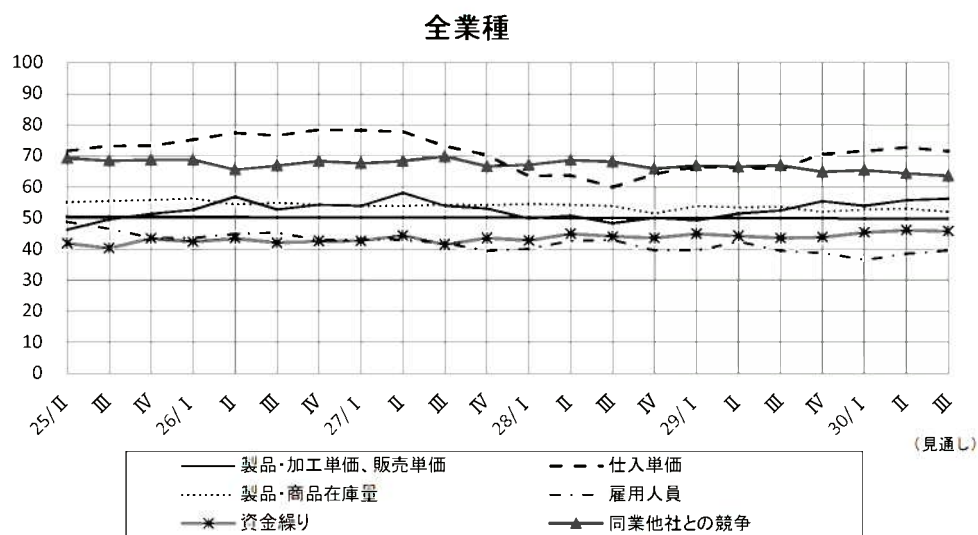
(見通し)

建設

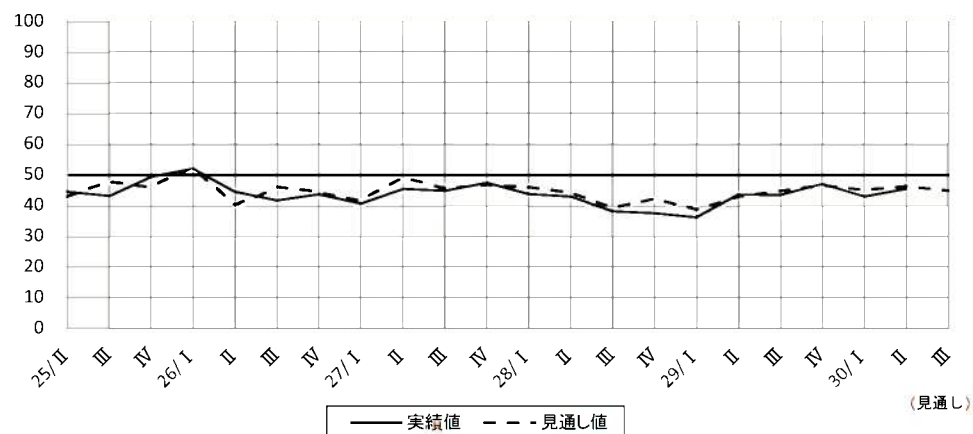


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
 (2) 当面の経営戦略について	37
 (3) 経営上の不安要素について.....	46
 参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DI が低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DI が上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが 25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移（全体）

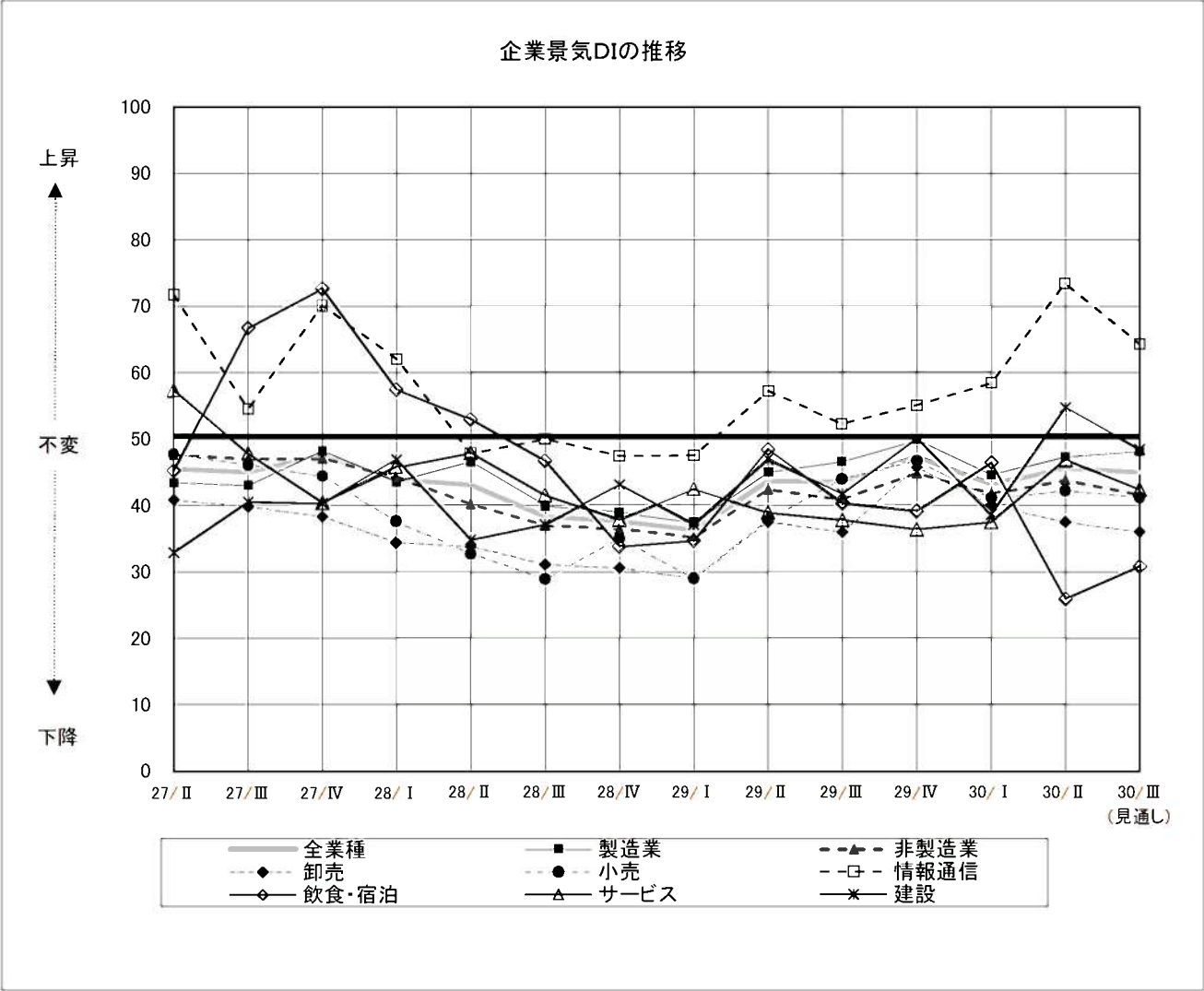


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

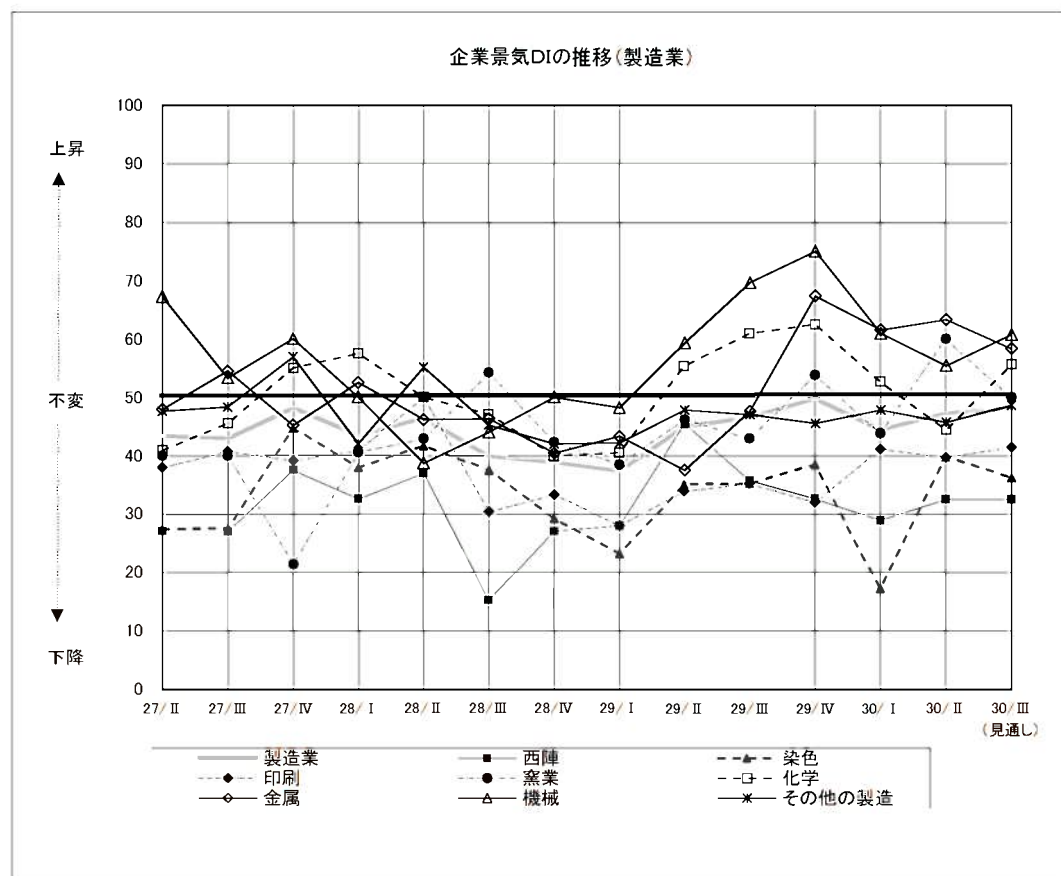


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	43.1	45.6	△ 2.5	▼ 0.6
製造業	44.5	47.3	△ 2.8	△ 0.8
西陣	28.9	32.5	△ 3.6	0.0
染色	17.2	39.7	△ 22.5	▼ 3.5
印刷	41.1	39.7	▼ 1.4	△ 1.7
窯業	43.8	60.0	△ 16.2	▼ 10.0
化学	52.6	44.4	▼ 8.2	△ 11.2
金属	61.5	63.3	△ 1.8	▼ 5.0
機械	60.9	55.4	▼ 5.5	△ 5.3
その他の製造	47.8	45.7	▼ 2.1	△ 2.9
非製造業	41.7	43.8	△ 2.1	▼ 2.2
卸売	40.0	37.5	▼ 2.5	▼ 1.5
小売	41.0	42.2	△ 1.2	▼ 1.0
情報通信	58.3	73.3	△ 15.0	▼ 9.0
飲食・宿泊	46.3	25.9	▼ 20.4	△ 4.9
サービス	37.5	46.9	△ 9.4	▼ 4.5
建設	38.6	54.7	△ 16.1	▼ 6.3
観光関連	42.9	31.4	▼ 11.5	△ 1.9

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

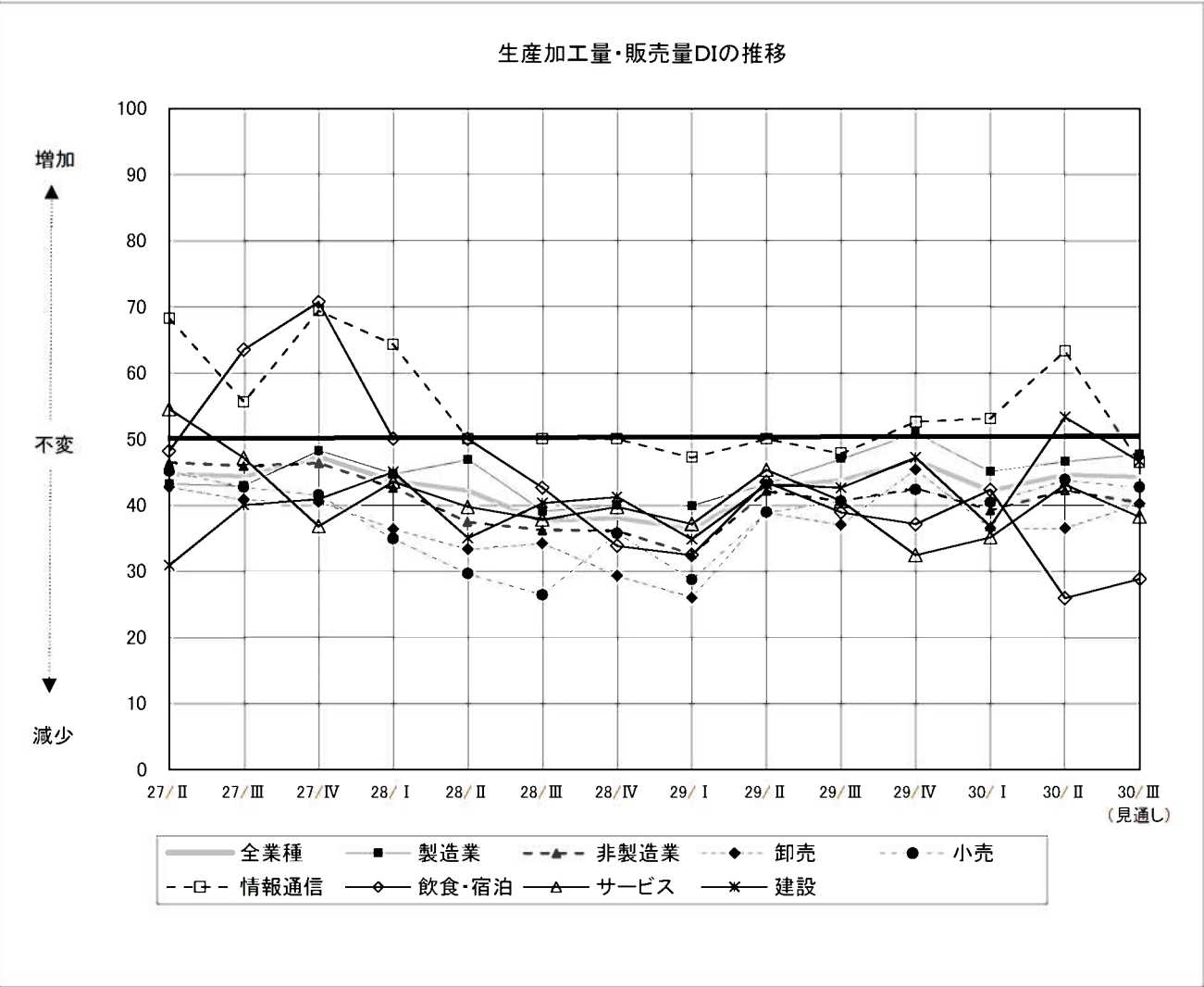


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

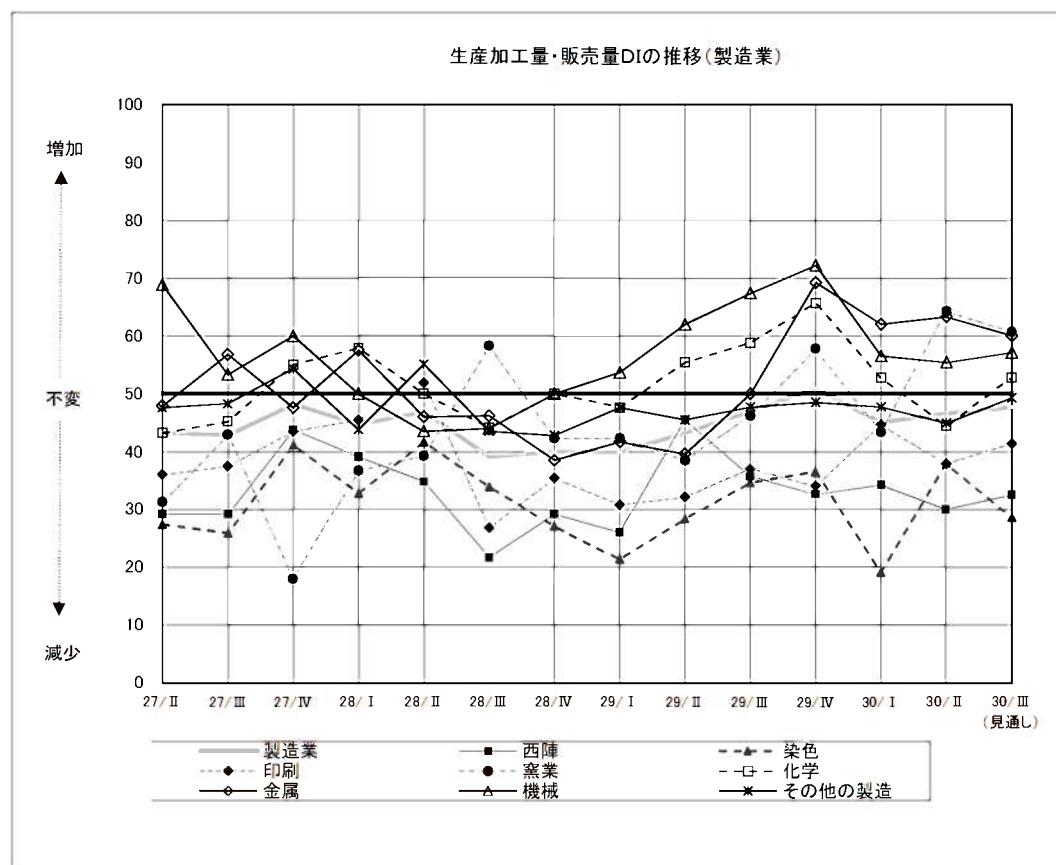


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し
			前期比
全業種	42.2	44.6	△ 2.4
製造業	45.1	46.6	△ 1.5
西陣	34.2	30.0	▼ 4.2
染色	19.0	37.9	△ 18.9
印刷	44.6	37.9	▼ 6.7
窯業	43.3	64.3	△ 21.0
化学	52.6	44.4	▼ 8.2
金属	62.0	63.3	△ 1.3
機械	56.5	55.4	▼ 1.1
その他の製造	47.7	44.9	▼ 2.8
非製造業	39.2	42.2	△ 3.0
卸売	36.5	36.5	0.0
小売	40.4	43.8	△ 3.4
情報通信	53.1	63.3	△ 10.2
飲食・宿泊	42.3	25.9	▼ 16.4
サービス	35.1	43.1	△ 8.0
建設	36.8	53.3	△ 16.5
観光関連	39.4	35.0	▼ 4.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

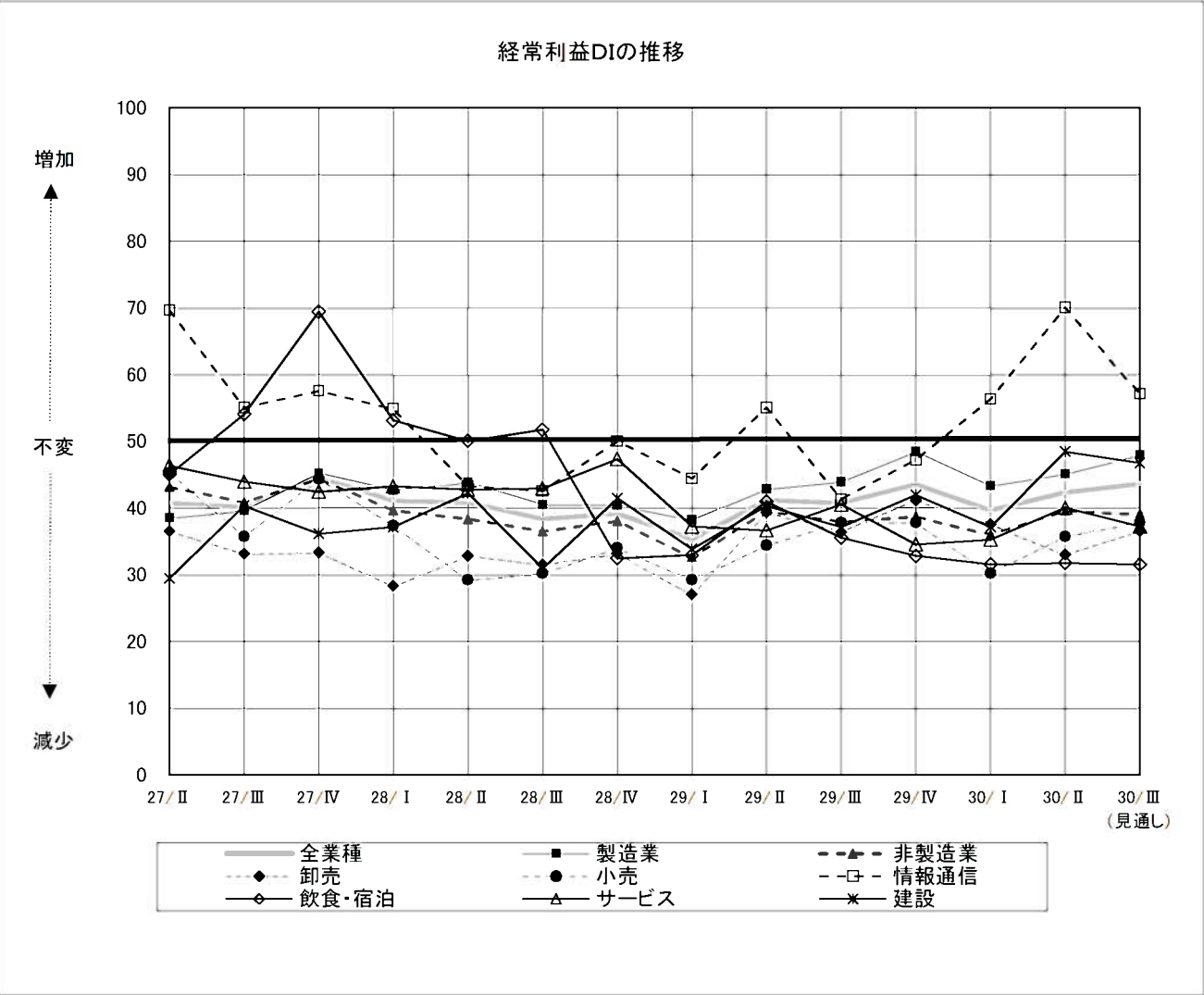


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

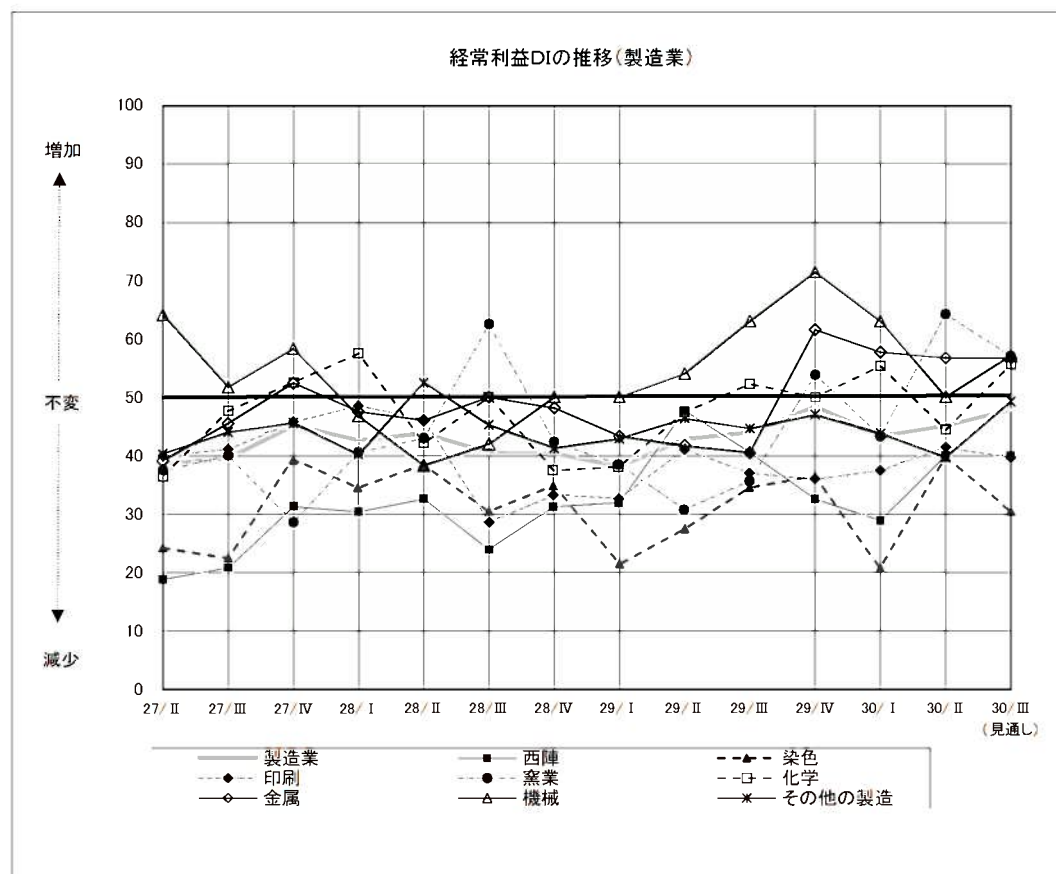


表3. 経常利益DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	39.7	42.4	△ 2.7	43.7
製造業	43.3	45.1	△ 1.8	47.9
西陣	28.9	40.0	△ 11.1	40.0
染色	20.7	39.7	△ 19.0	30.4
印刷	37.5	41.4	△ 3.9	39.7
窯業	43.3	64.3	△ 21.0	57.1
化学	55.3	44.4	▼ 10.9	55.6
金属	57.7	56.7	▼ 1.0	56.7
機械	63.0	50.0	▼ 13.0	57.1
その他の製造	43.8	39.7	▼ 4.1	49.3
非製造業	36.0	39.5	△ 3.5	39.1
卸売	37.5	33.0	▼ 4.5	36.5
小売	30.2	35.7	△ 5.5	37.8
情報通信	56.3	70.0	△ 13.7	57.1
飲食・宿泊	31.5	31.7	△ 0.2	31.5
サービス	35.2	40.0	△ 4.8	37.2
建設	37.1	48.4	△ 11.3	46.7
観光関連	35.4	30.4	▼ 5.0	33.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

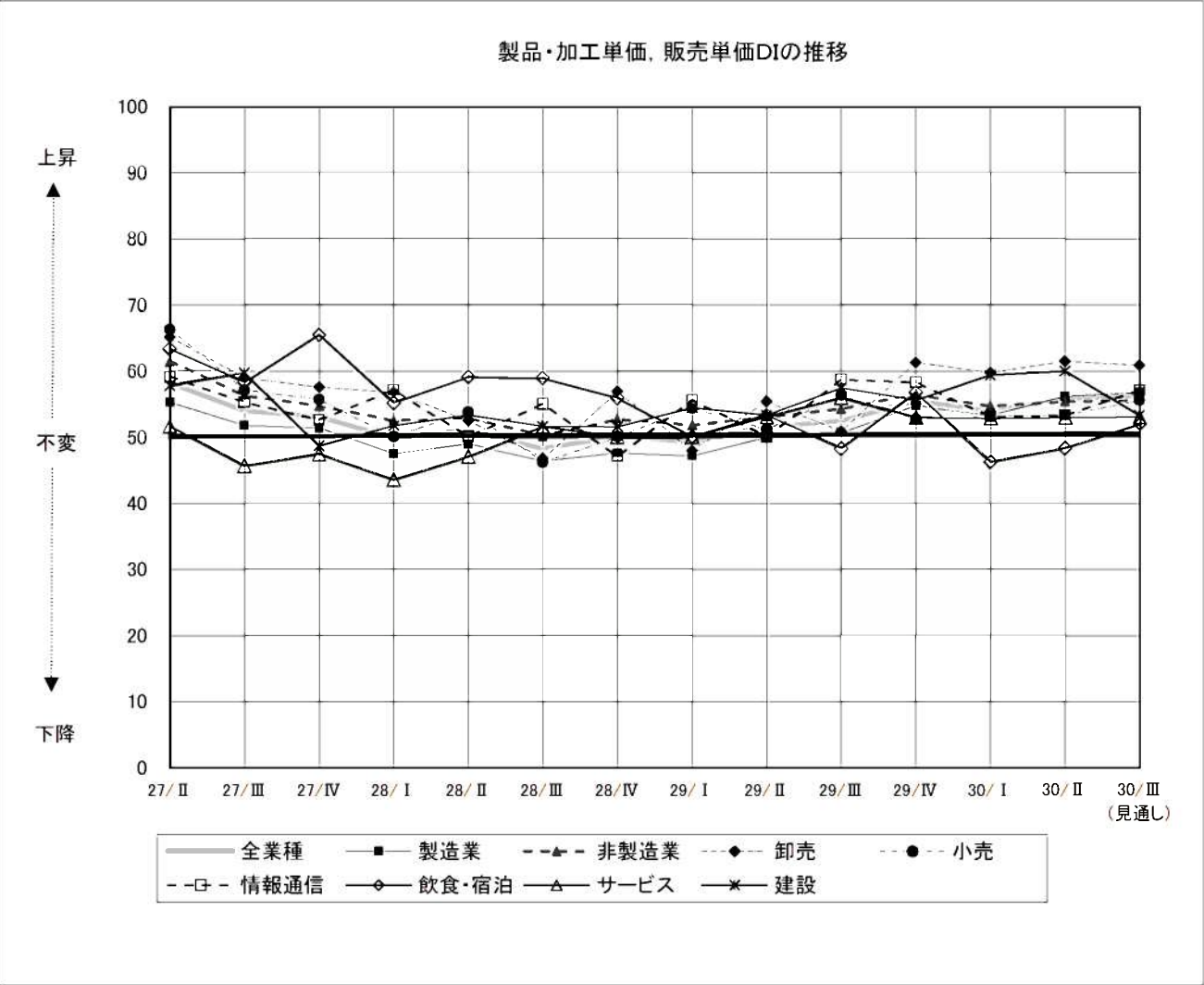


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

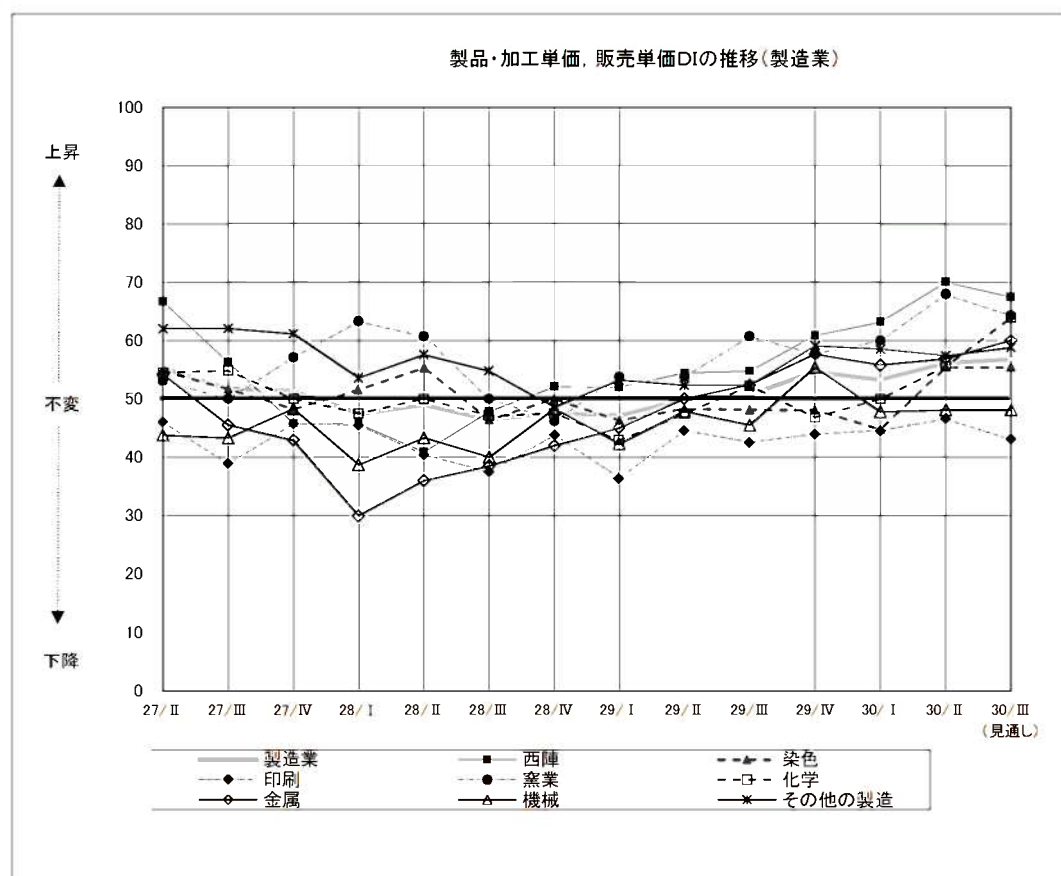


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	54.0	55.8	△ 1.8	56.3	△ 0.5
製造業	53.3	56.2	△ 2.9	56.8	△ 0.6
西陣	63.2	70.0	△ 6.8	67.5	▼ 2.5
染色	44.8	55.4	△ 10.6	55.4	0.0
印刷	44.6	46.6	△ 2.0	43.1	▼ 3.5
窯業	60.0	67.9	△ 7.9	64.3	▼ 3.6
化学	50.0	55.6	△ 5.6	63.9	△ 8.3
金属	55.8	56.9	△ 1.1	60.0	△ 3.1
機械	47.8	48.1	△ 0.3	48.1	0.0
その他の製造	58.5	57.4	▼ 1.1	58.8	△ 1.4
非製造業	54.7	55.4	△ 0.7	55.6	△ 0.2
卸売	59.8	61.5	△ 1.7	60.9	▼ 0.6
小売	53.2	53.3	△ 0.1	55.6	△ 2.3
情報通信	53.1	53.3	△ 0.2	57.1	△ 3.8
飲食・宿泊	46.2	48.3	△ 2.1	51.9	△ 3.6
サービス	52.8	52.9	△ 0.1	53.0	△ 0.1
建設	59.4	60.0	△ 0.6	53.3	▼ 6.7
観光関連	50.0	56.9	△ 6.9	58.3	△ 1.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

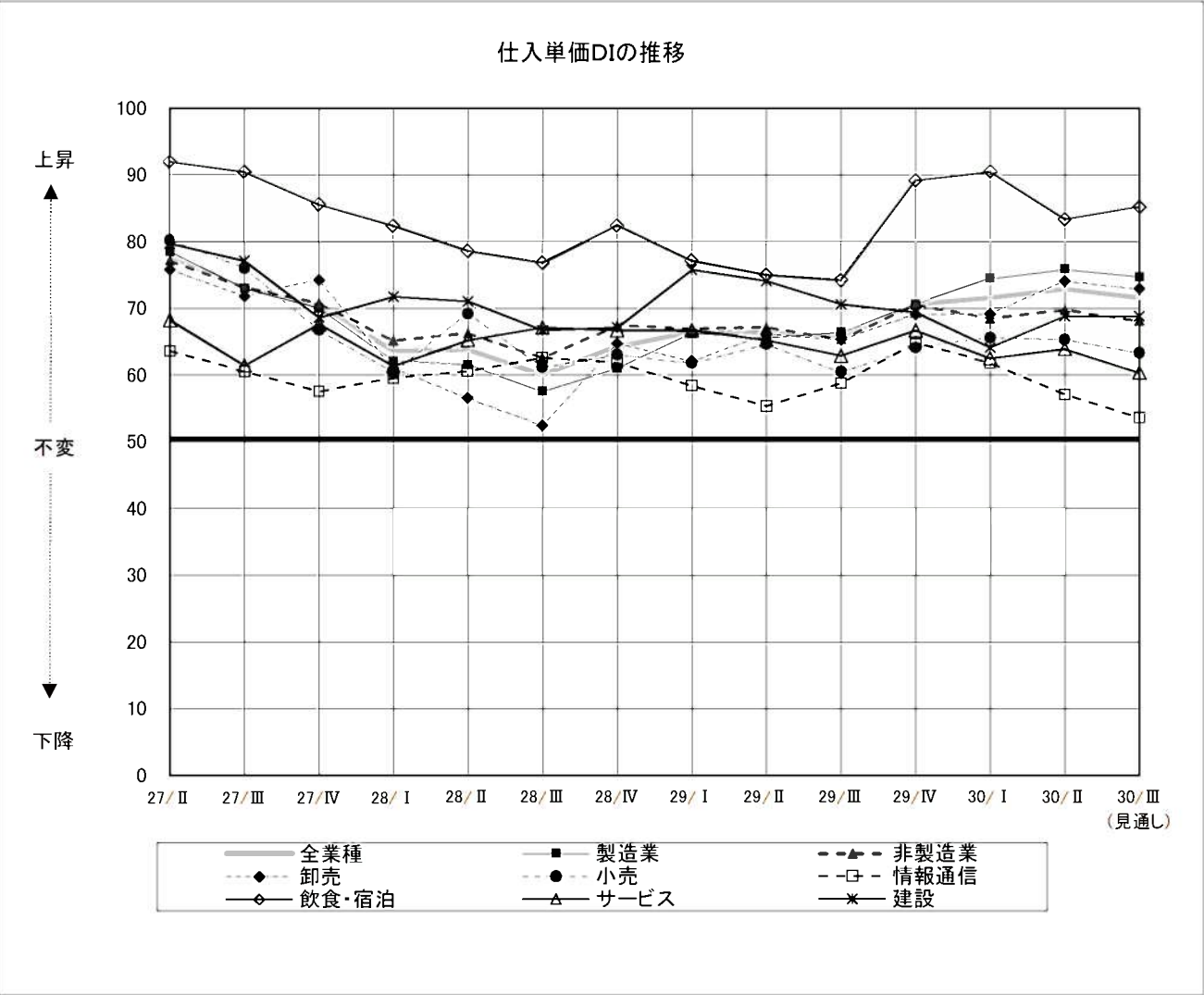


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

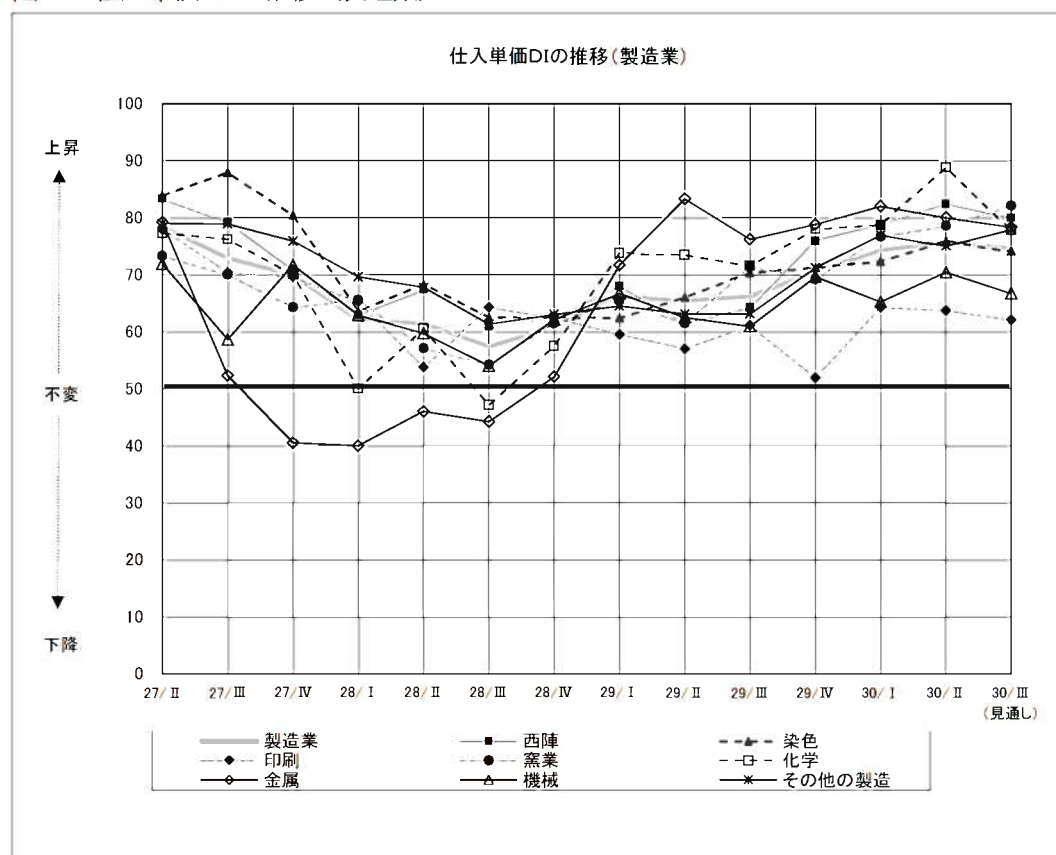


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	前期比	来期見通し	
				今期比	
全業種	71.6	72.9	△ 1.3	71.6	▼ 1.3
製造業	74.4	75.8	△ 1.4	74.7	▼ 1.1
西陣	78.9	82.5	△ 3.6	80.0	▼ 2.5
染色	72.4	75.9	△ 3.5	74.1	▼ 1.8
印刷	64.3	63.8	▼ 0.5	62.1	▼ 1.7
窯業	76.7	78.6	△ 1.9	82.1	△ 3.5
化学	78.9	88.9	△ 10.0	77.8	▼ 11.1
金属	82.0	80.0	▼ 2.0	78.3	▼ 1.7
機械	65.2	70.4	△ 5.2	66.7	▼ 3.7
その他の製造	76.9	75.0	▼ 1.9	77.9	△ 2.9
非製造業	68.4	69.7	△ 1.3	68.1	▼ 1.6
卸売	69.1	74.0	△ 4.9	72.9	▼ 1.1
小売	65.6	65.3	▼ 0.3	63.3	▼ 2.0
情報通信	61.8	57.1	▼ 4.7	53.6	▼ 3.5
飲食・宿泊	90.4	83.3	▼ 7.1	85.2	△ 1.9
サービス	62.5	63.9	△ 1.4	60.3	▼ 3.6
建設	64.1	68.8	△ 4.7	68.8	0.0
観光関連	75.5	76.0	△ 0.5	78.1	△ 2.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DI の推移 (全体)

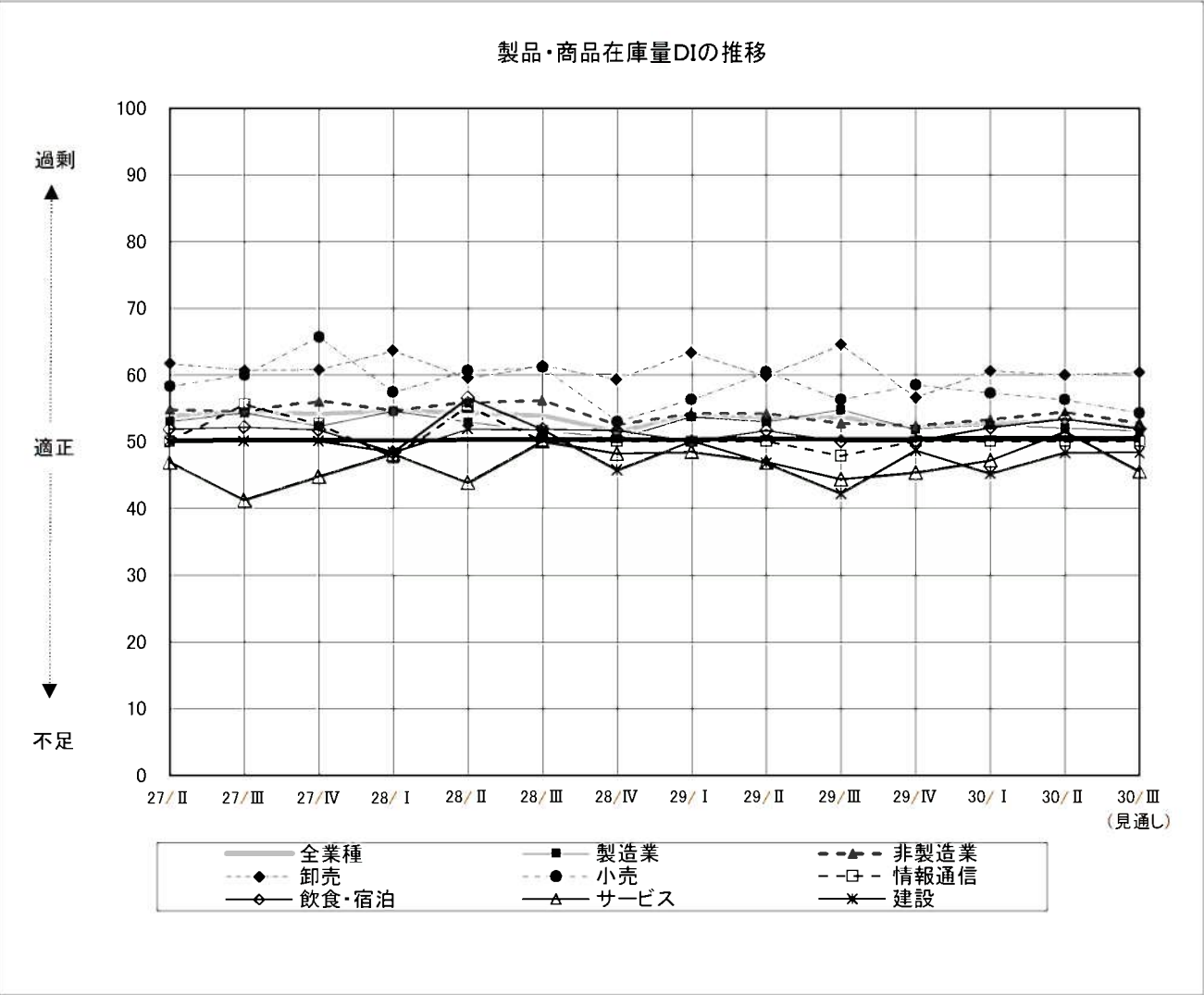


図12. 製品・商品在庫量DIの推移（製造業）

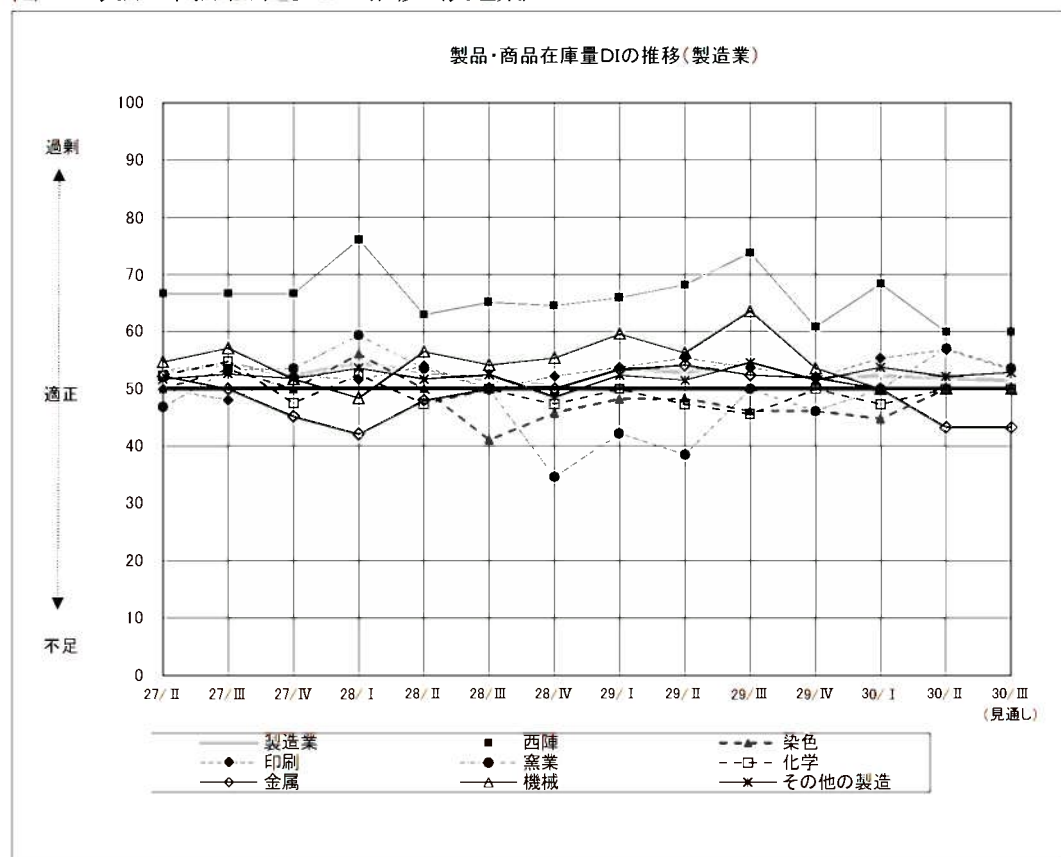


表6. 製品・商品在庫量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	52.8	53.1	△ 0.3	52.1	▼ 1.0
製造業	52.4	51.9	▼ 0.5	51.5	▼ 0.4
西陣	68.4	60.0	▼ 8.4	60.0	0.0
染色	44.8	50.0	△ 5.2	50.0	0.0
印刷	55.4	56.9	△ 1.5	53.4	▼ 3.5
窯業	50.0	57.1	△ 7.1	53.6	▼ 3.5
化学	47.4	50.0	△ 2.6	50.0	0.0
金属	50.0	43.3	▼ 6.7	43.3	0.0
機械	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
その他の製造	53.8	52.2	▼ 1.6	52.9	△ 0.7
非製造業	53.3	54.4	△ 1.1	52.8	▼ 1.6
卸売	60.6	60.0	▼ 0.6	60.4	△ 0.4
小売	57.3	56.3	▼ 1.0	54.3	▼ 2.0
情報通信	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
飲食・宿泊	52.0	53.4	△ 1.4	51.9	▼ 1.5
サービス	47.1	51.4	△ 4.3	45.5	▼ 5.9
建設	45.2	48.3	△ 3.1	48.3	0.0
観光関連	54.3	59.0	△ 4.7	58.3	▼ 0.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図 13. 雇用人員DI の推移 (全体)

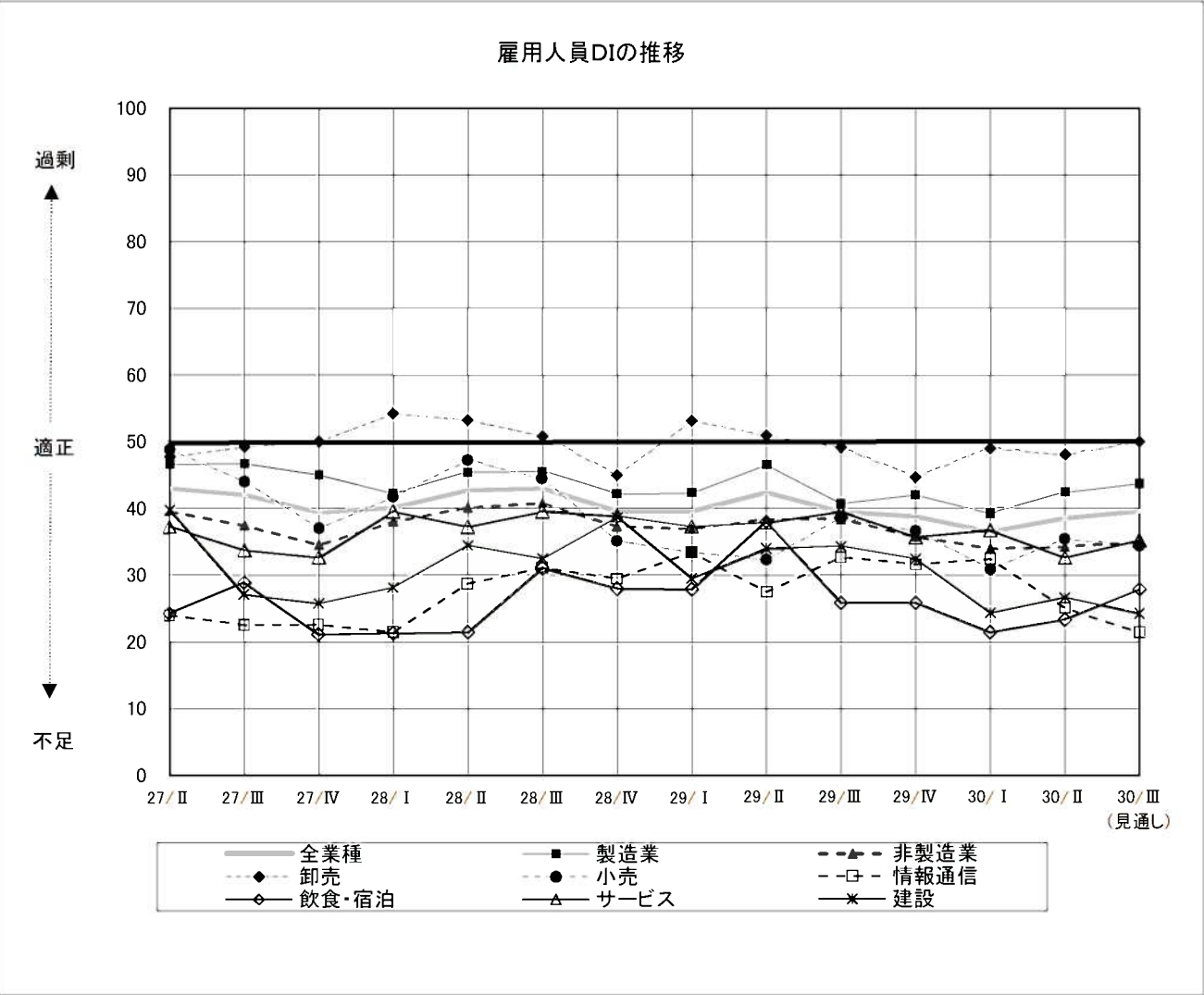


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

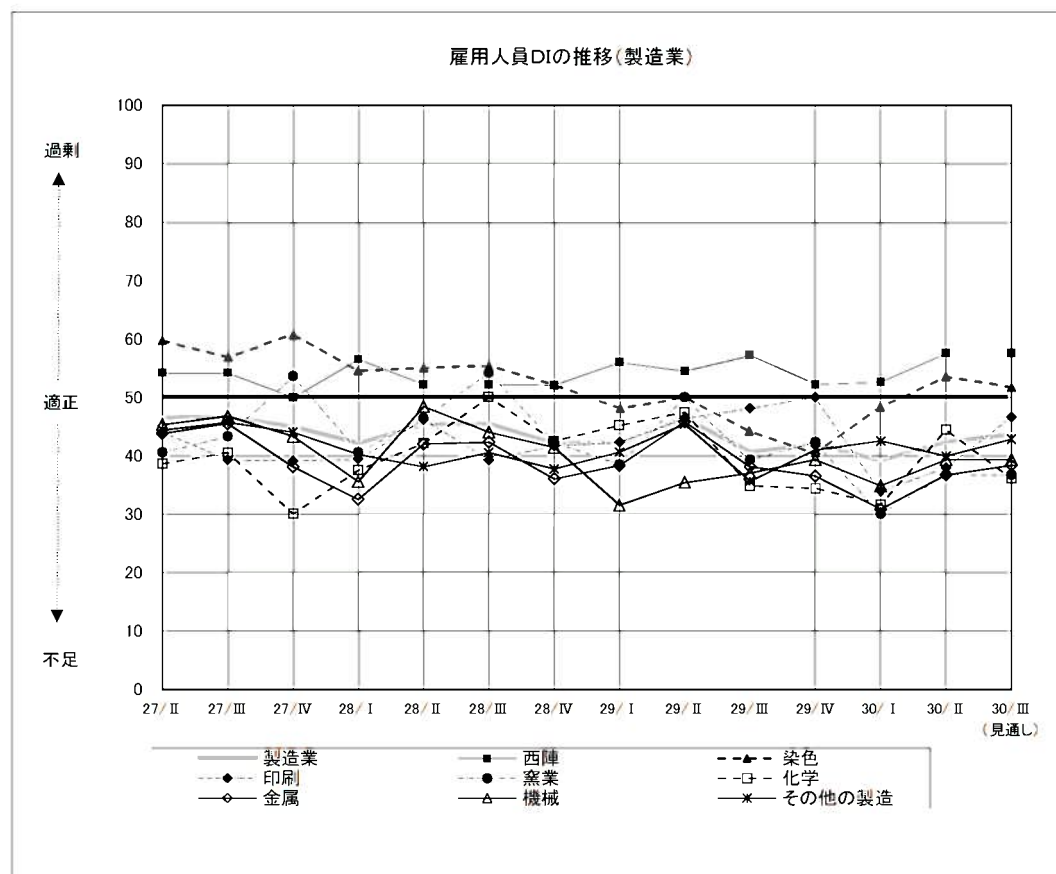


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	36.5	38.5	△ 2.0	39.6
製造業	39.2	42.4	△ 3.2	43.7
西陣	52.6	57.5	△ 4.9	57.5
染色	48.3	53.4	△ 5.1	51.7
印刷	33.9	37.9	△ 4.0	46.6
窯業	30.0	36.7	△ 6.7	36.7
化学	31.6	44.4	△ 12.8	36.1
金属	30.8	36.7	△ 5.9	38.3
機械	34.8	39.3	△ 4.5	39.3
その他の製造	42.5	39.9	▼ 2.6	42.8
非製造業	33.9	34.2	△ 0.3	34.9
卸売	49.0	48.0	▼ 1.0	50.0
小売	30.9	35.4	△ 4.5	34.4
情報通信	32.4	25.0	▼ 7.4	21.4
飲食・宿泊	21.4	23.3	△ 1.9	27.8
サービス	36.7	32.6	▼ 4.1	35.2
建設	24.3	26.6	△ 2.3	24.2
観光関連	28.1	35.3	△ 7.2	38.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図 15. 資金繰り DI の推移 (全体)

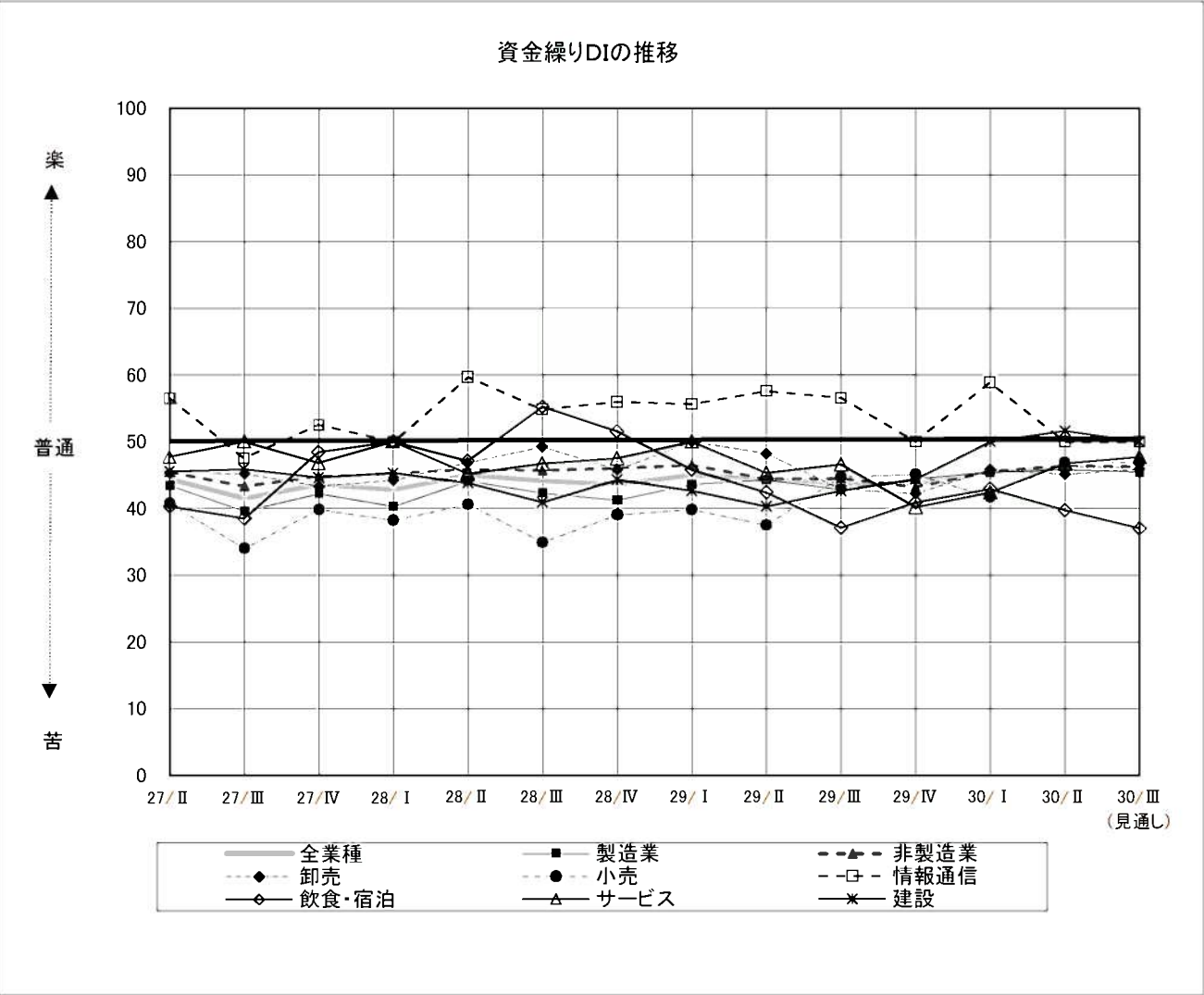


図16. 資金繰りDIの推移（製造業）

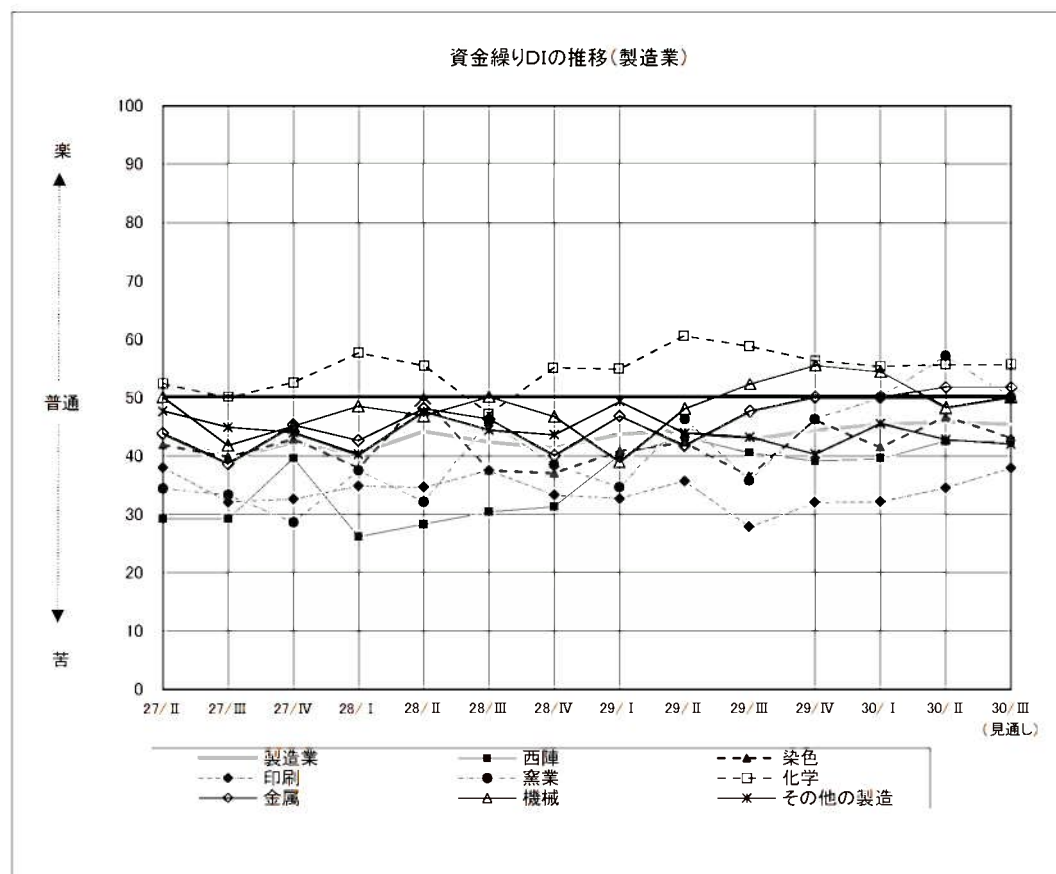


表8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	45.4	46.1	△ 0.7	▼ 0.3
製造業	45.4	45.8	△ 0.4	▼ 0.4
西陣	39.5	42.5	△ 3.0	0.0
染色	41.4	46.6	△ 5.2	▼ 3.5
印刷	32.1	34.5	△ 2.4	△ 3.4
窯業	50.0	57.1	△ 7.1	▼ 7.1
化学	55.3	55.6	△ 0.3	0.0
金属	50.0	51.7	△ 1.7	0.0
機械	54.3	48.2	▼ 6.1	△ 1.8
その他の製造	45.5	42.8	▼ 2.7	▼ 0.8
非製造業	45.5	46.4	△ 0.9	▼ 0.2
卸売	45.8	45.1	▼ 0.7	△ 0.8
小売	41.7	46.9	△ 5.2	0.0
情報通信	58.8	50.0	▼ 8.8	0.0
飲食・宿泊	42.9	39.7	▼ 3.2	▼ 2.7
サービス	42.4	46.7	△ 4.3	△ 1.0
建設	50.0	51.6	△ 1.6	▼ 1.6
観光関連	41.8	43.0	△ 1.2	▼ 2.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DI の推移 (全体)

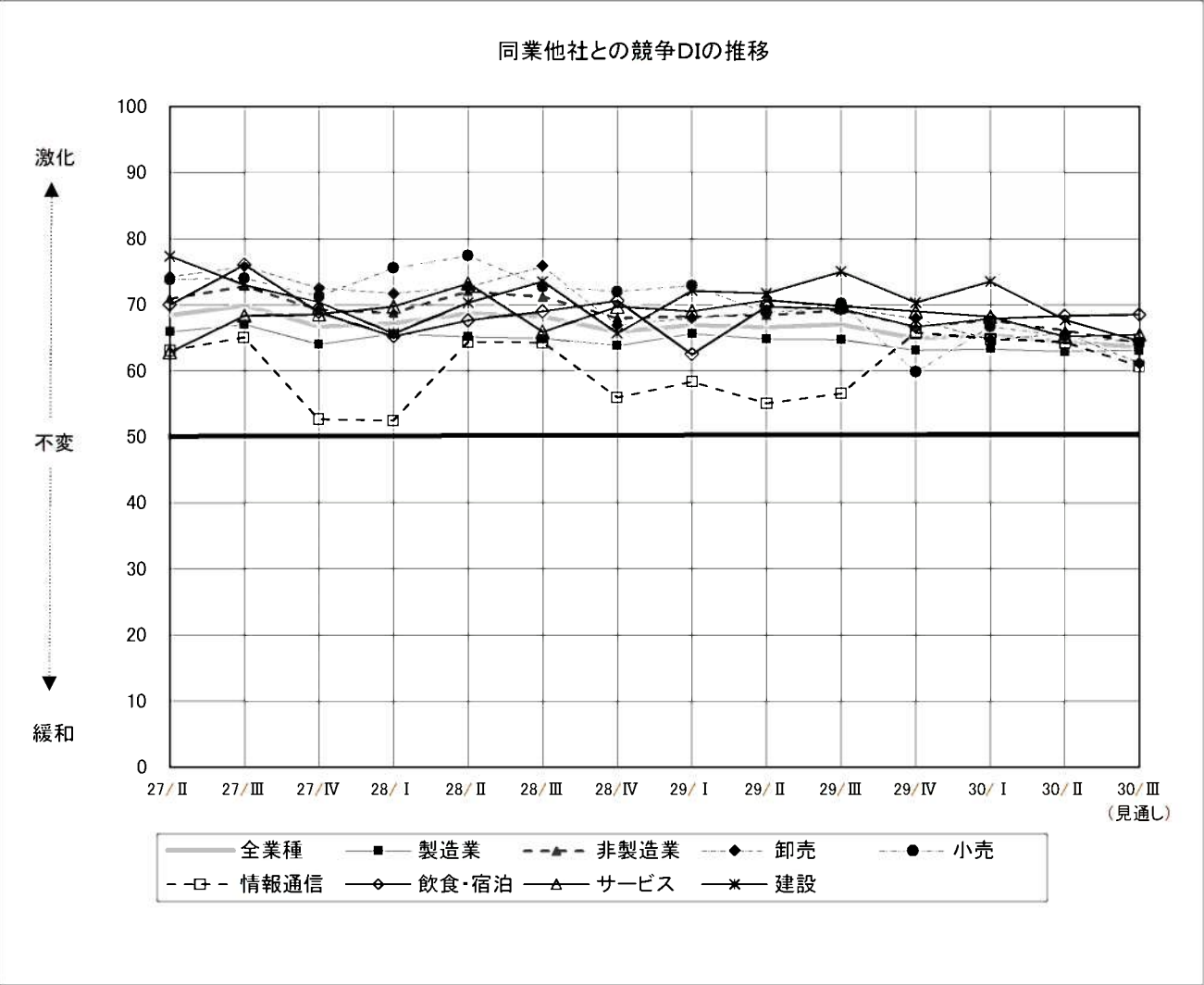


図18. 同業他社との競争DIの推移（製造業）

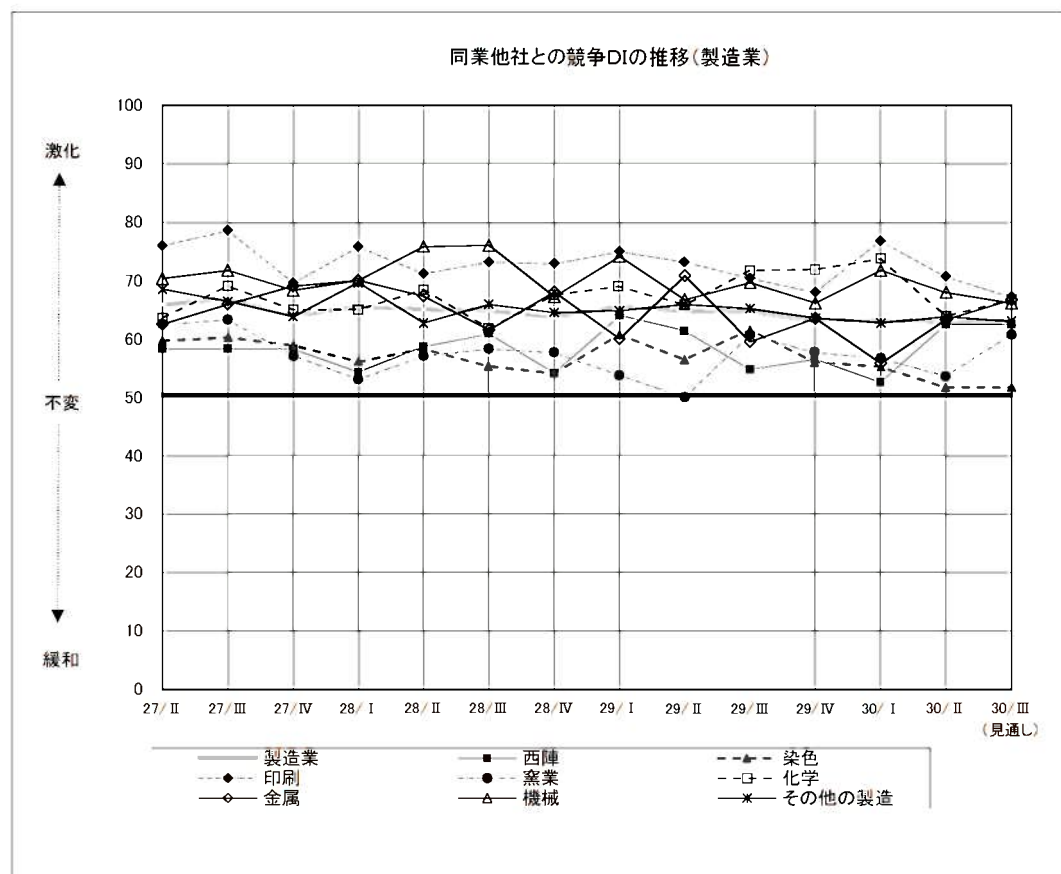


表9. 同業他社との競争DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	65.4	64.4	▼ 1.0	63.6	▼ 0.8
製造業	63.3	62.9	▼ 0.4	63.1	△ 0.2
西陣	52.6	62.5	△ 9.9	62.5	0.0
染色	55.2	51.7	▼ 3.5	51.7	0.0
印刷	76.8	70.7	▼ 6.1	67.2	▼ 3.5
窯業	56.7	53.6	▼ 3.1	60.7	△ 7.1
化学	73.7	63.9	▼ 9.8	66.7	△ 2.8
金属	55.8	63.3	△ 7.5	66.7	△ 3.4
機械	71.7	67.9	▼ 3.8	66.1	▼ 1.8
その他の製造	62.7	63.8	△ 1.1	63.0	▼ 0.8
非製造業	67.6	66.1	▼ 1.5	64.2	▼ 1.9
卸売	64.6	65.7	△ 1.1	61.2	▼ 4.5
小売	66.7	65.3	▼ 1.4	64.3	▼ 1.0
情報通信	64.7	64.3	▼ 0.4	60.7	▼ 3.6
飲食・宿泊	67.9	68.3	△ 0.4	68.5	△ 0.2
サービス	68.2	65.2	▼ 3.0	65.5	△ 0.3
建設	73.5	67.7	▼ 5.8	64.5	▼ 3.2
観光関連	69.4	71.6	△ 2.2	70.8	▼ 0.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

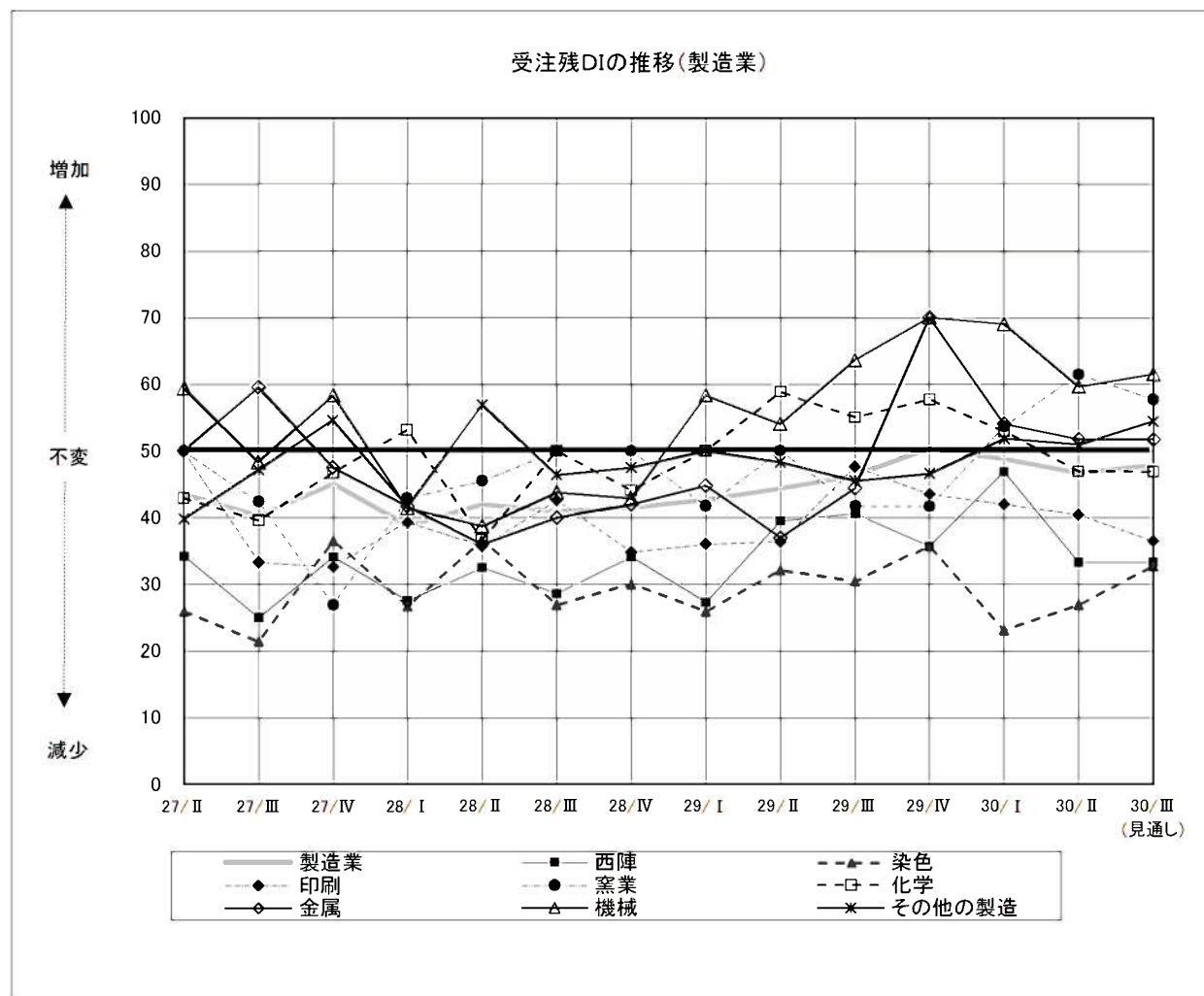


表10. 受注残DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	
製造業	48.8	46.7	▼ 2.1	47.9	△ 1.2
西陣	46.9	33.3	▼ 13.6	33.3	0.0
染色	23.1	26.9	△ 3.8	32.7	△ 5.8
印刷	42.0	40.4	▼ 1.6	36.5	▼ 3.9
窯業	53.6	61.5	△ 7.9	57.7	▼ 3.8
化学	52.9	46.9	▼ 6.0	46.9	0.0
金属	54.0	51.7	▼ 2.3	51.7	0.0
機械	69.0	59.6	▼ 9.4	61.5	△ 1.9
その他の製造	51.8	50.9	▼ 0.9	54.4	△ 3.5
観光関連	50.0	42.9	▼ 7.1	46.4	△ 3.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1 1. 生産設備

図20. 生産設備DIの推移

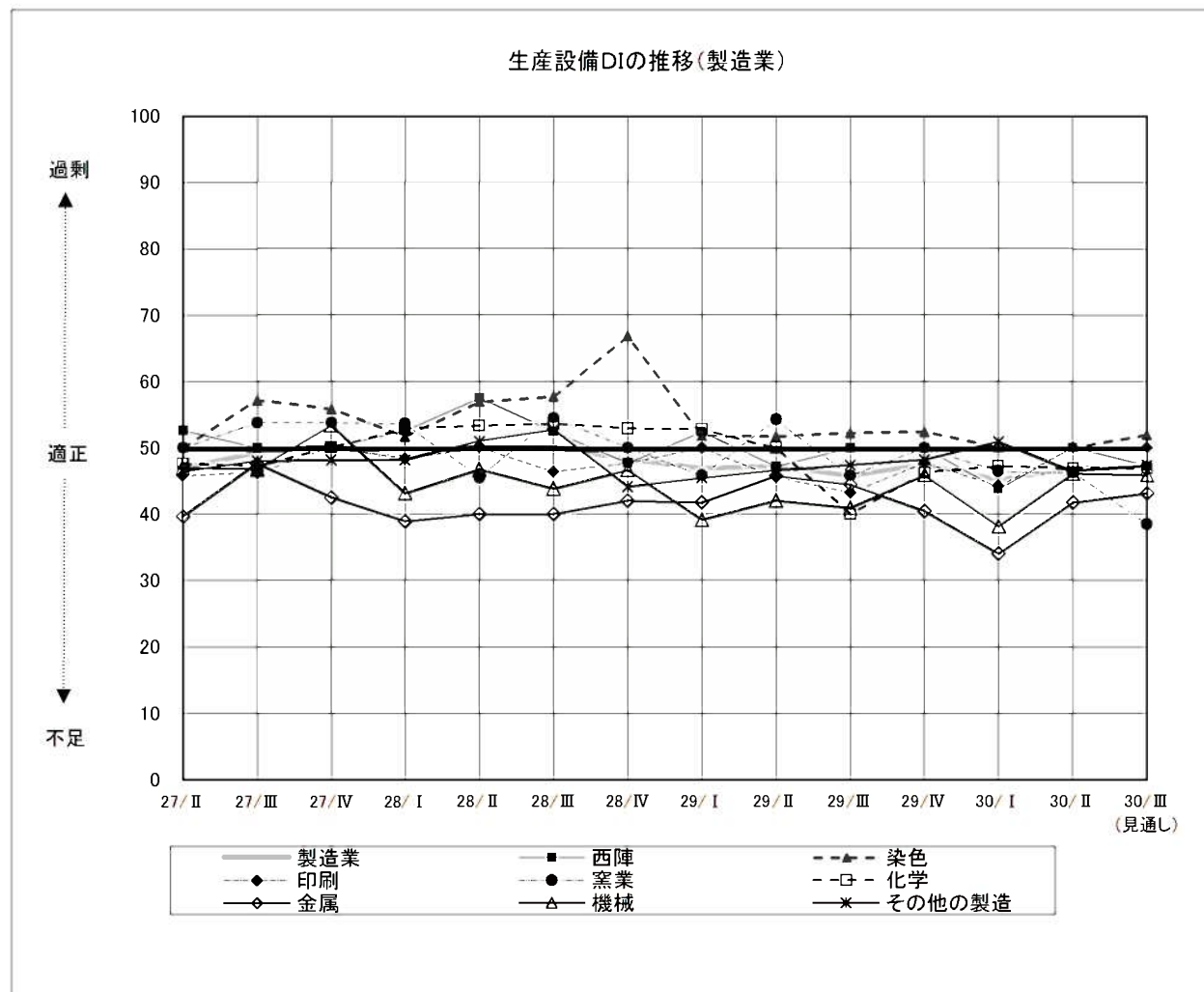


表 11. 生産設備DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	45.2	46.9	△ 1.7	46.9	0.0
西陣	43.8	50.0	△ 6.2	47.2	▼ 2.8
染色	50.0	50.0	0.0	51.9	△ 1.9
印刷	44.2	50.0	△ 5.8	50.0	0.0
窯業	46.4	46.2	▼ 0.2	38.5	▼ 7.7
化学	47.1	46.9	▼ 0.2	46.9	0.0
金属	34.0	41.7	△ 7.7	43.1	△ 1.4
機械	38.1	46.0	△ 7.9	45.8	▼ 0.2
その他の製造	50.9	46.4	▼ 4.5	47.3	△ 0.9
観光関連	50.0	50.0	0.0	46.4	▼ 3.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1 2. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

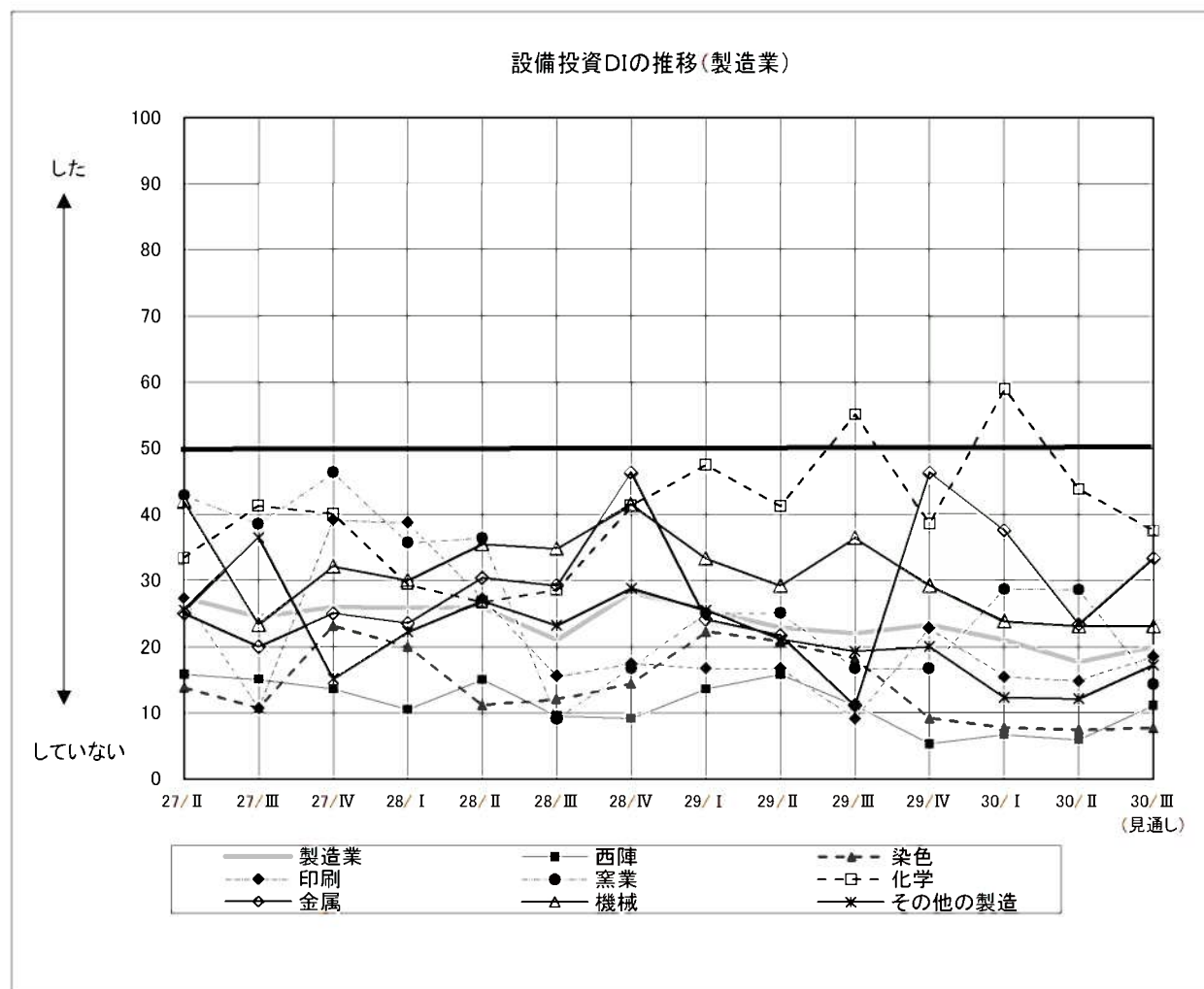


表 12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	21.0	17.7	▼ 3.3	20.0	△ 2.3
西陣	6.7	5.9	▼ 0.8	11.1	△ 5.2
染色	7.7	7.4	▼ 0.3	7.7	△ 0.3
印刷	15.4	14.8	▼ 0.6	18.5	△ 3.7
窯業	28.6	28.6	0.0	14.3	▼ 14.3
化学	58.8	43.8	▼ 15.0	37.5	▼ 6.3
金属	37.5	23.3	▼ 14.2	33.3	△ 10.0
機械	23.8	23.1	▼ 0.7	23.1	0.0
その他の製造	12.3	12.1	▼ 0.2	17.2	△ 5.1
観光関連	14.3	26.7	△ 12.4	0.0	▼ 26.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図22. 当面の経営戦略・回答の推移

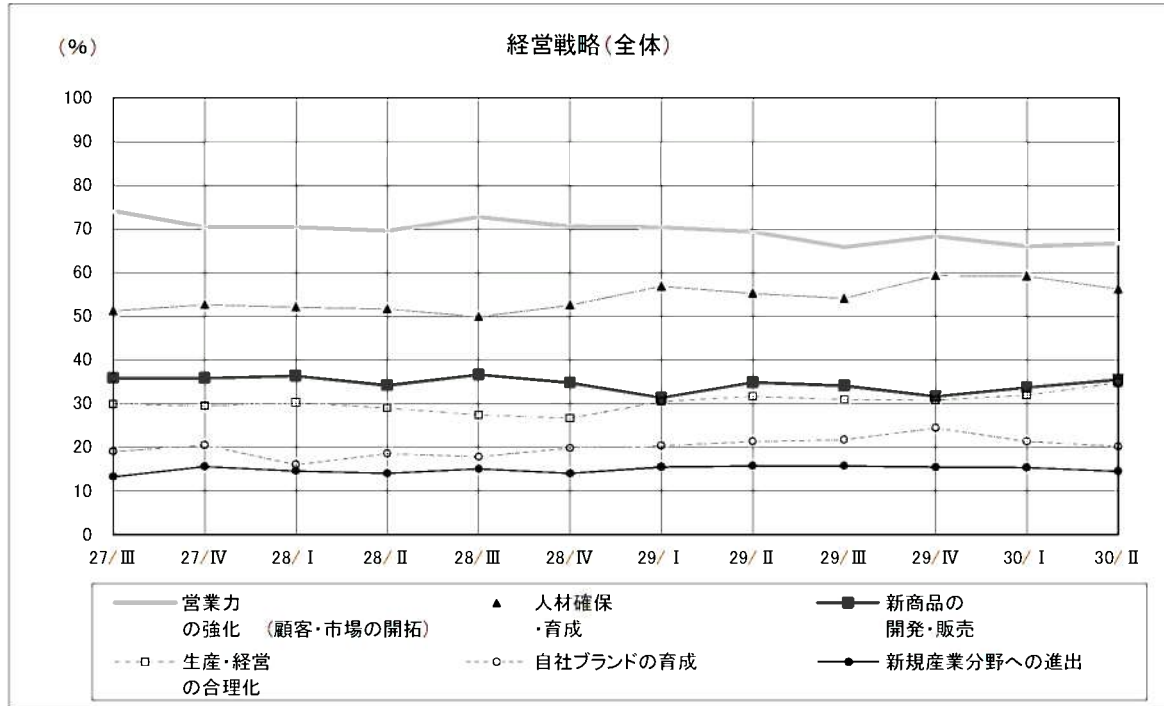


図23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

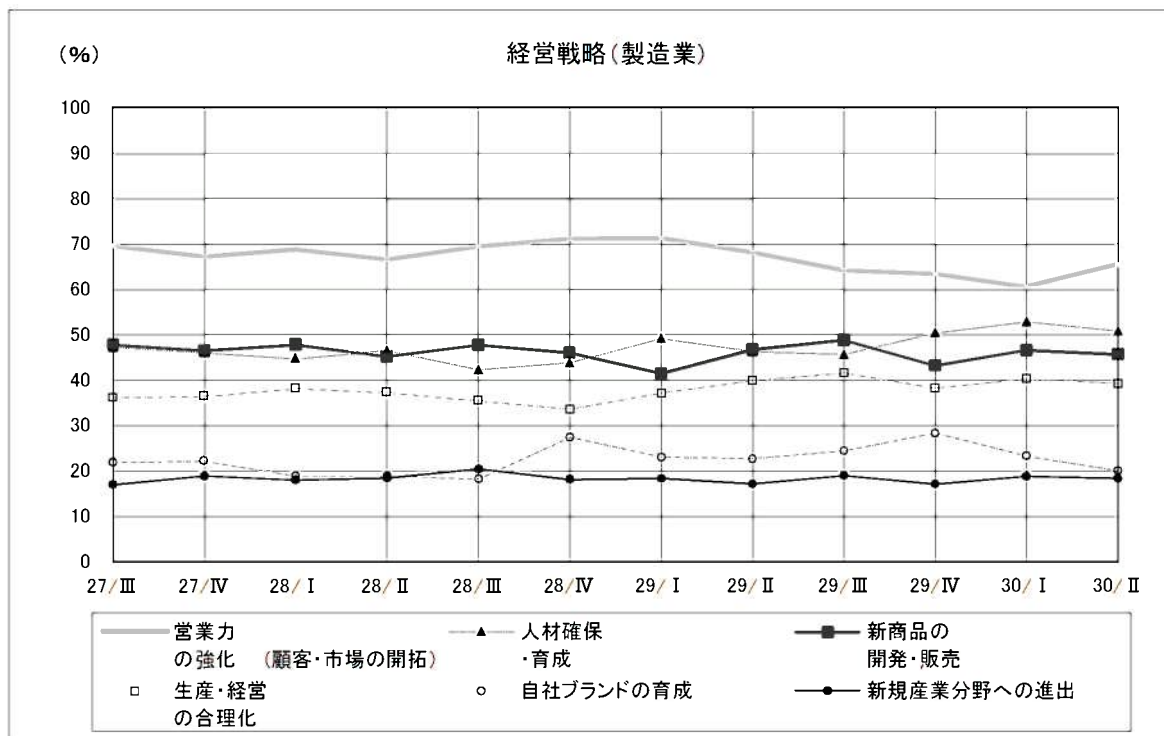


図24. 当面の経営戦略・西陣

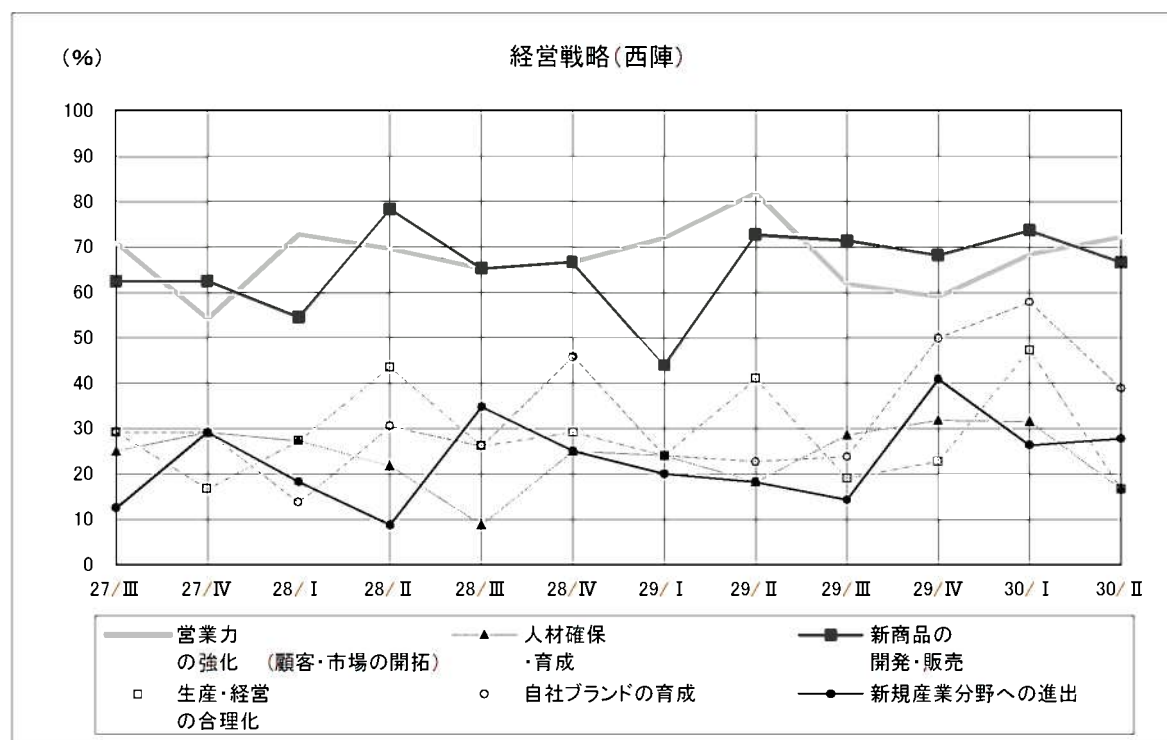


図25. 当面の経営戦略・染色

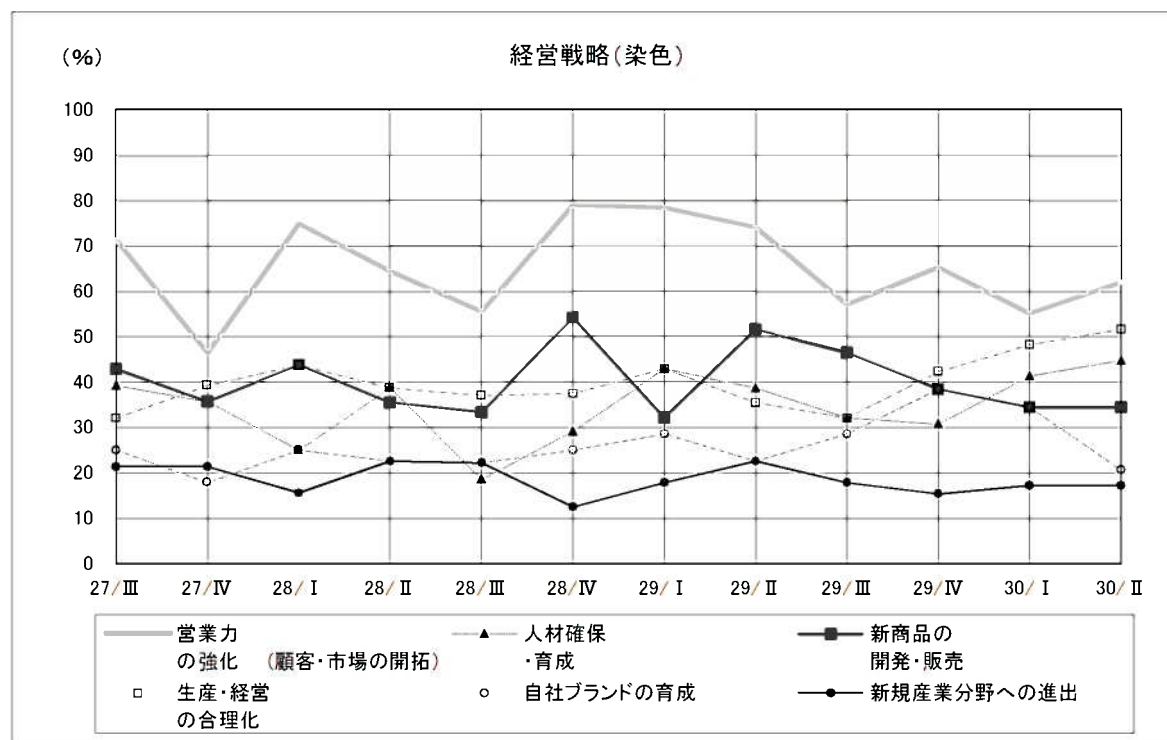


図 26. 当面の経営戦略・印刷

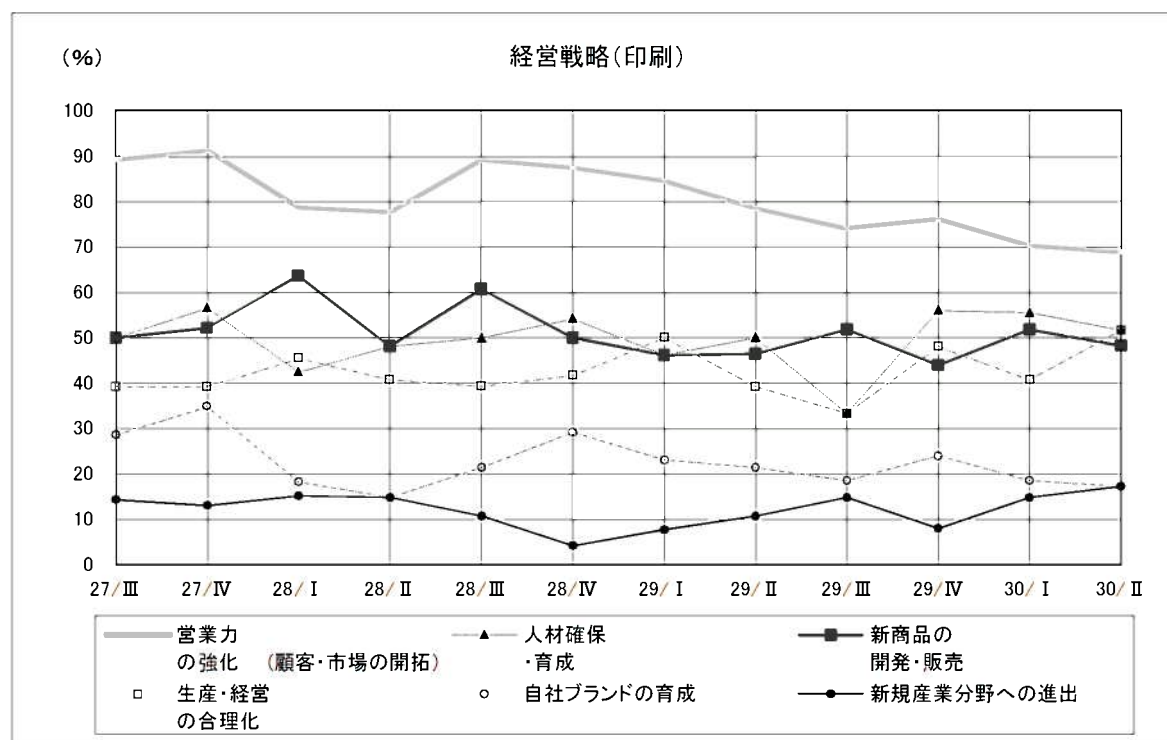


図 27. 当面の経営戦略・窯業

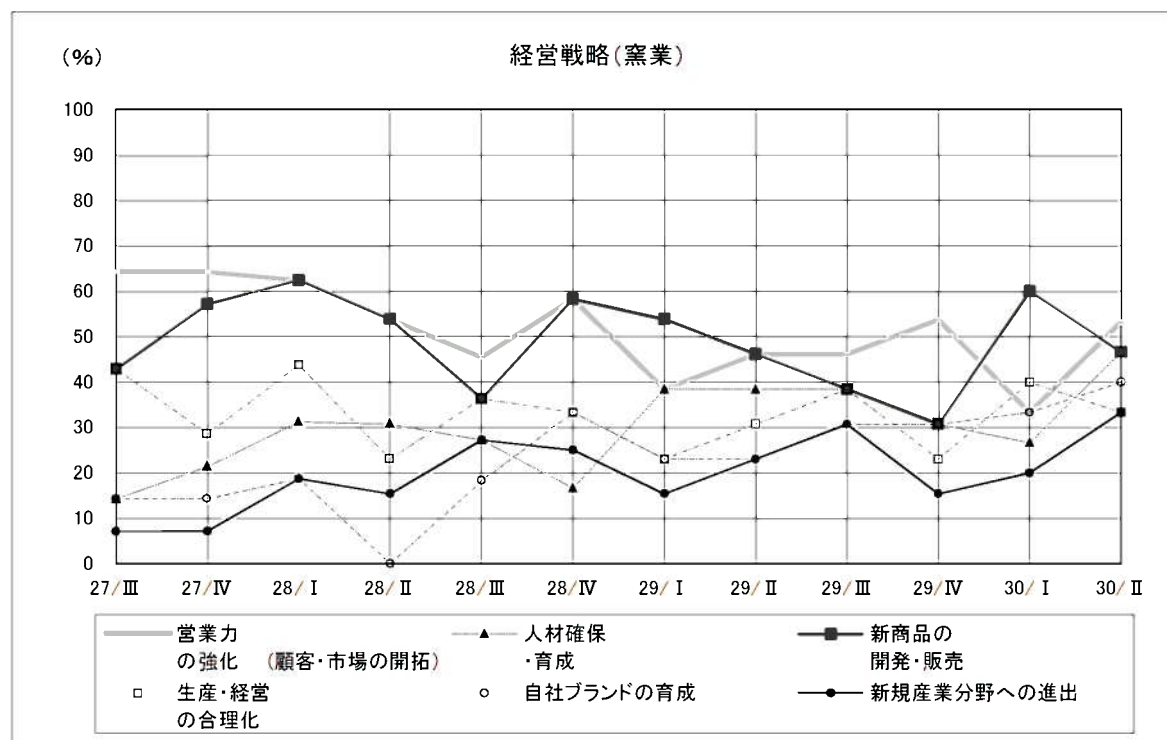


図28. 当面の経営戦略・化学

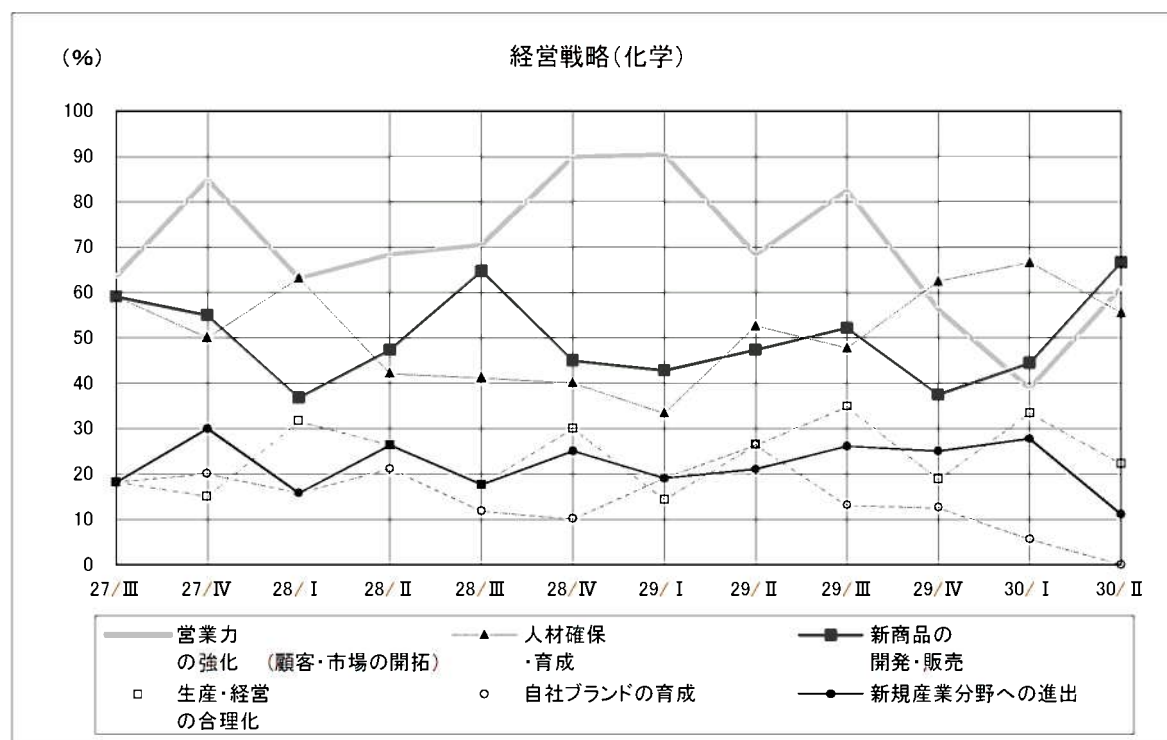


図29. 当面の経営戦略・金属

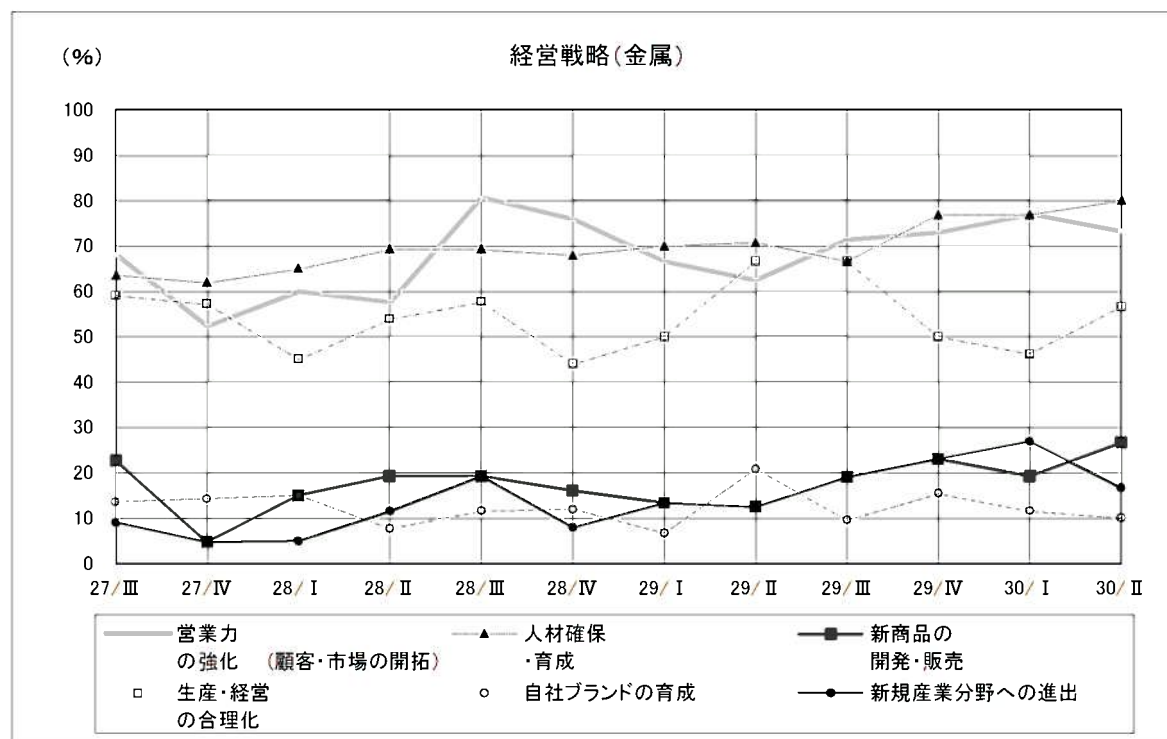


図 30. 当面の経営戦略・機械

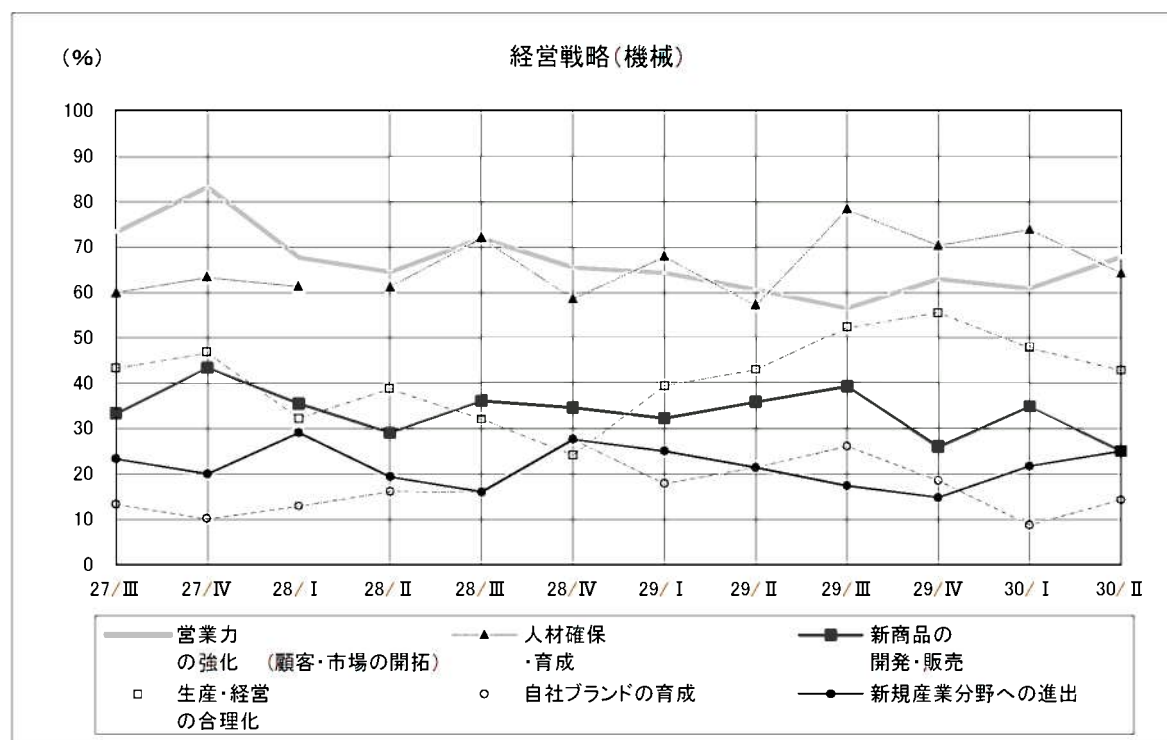


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

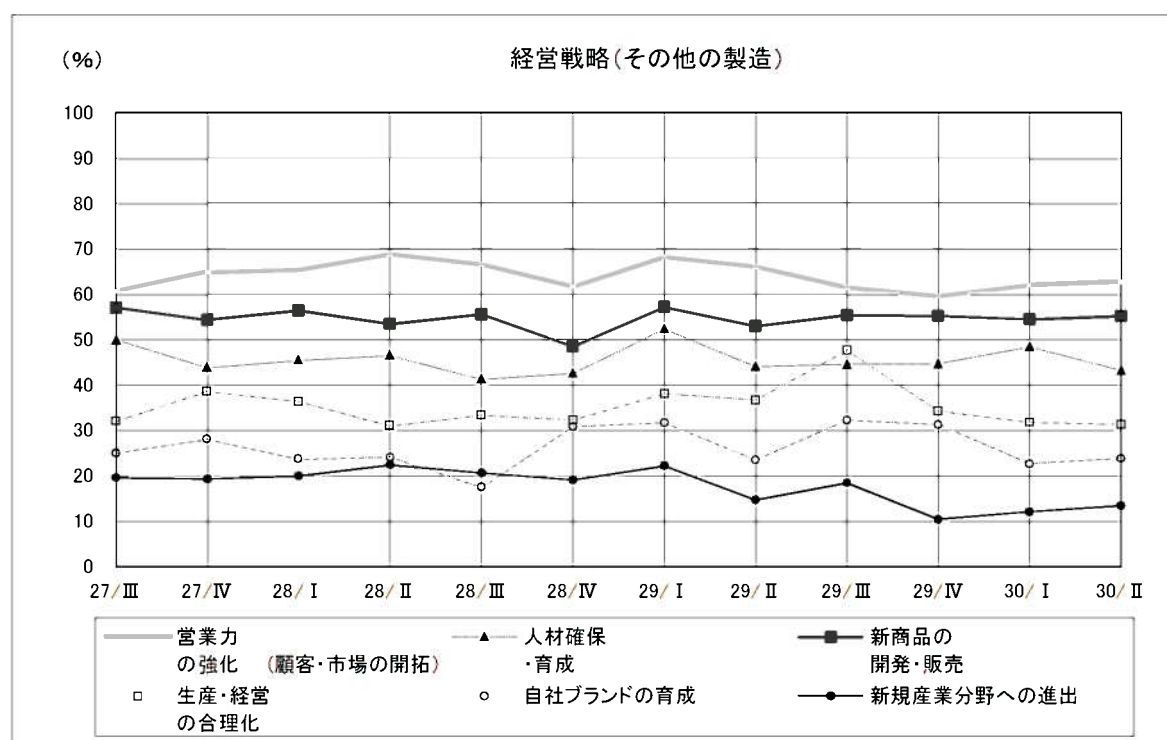


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

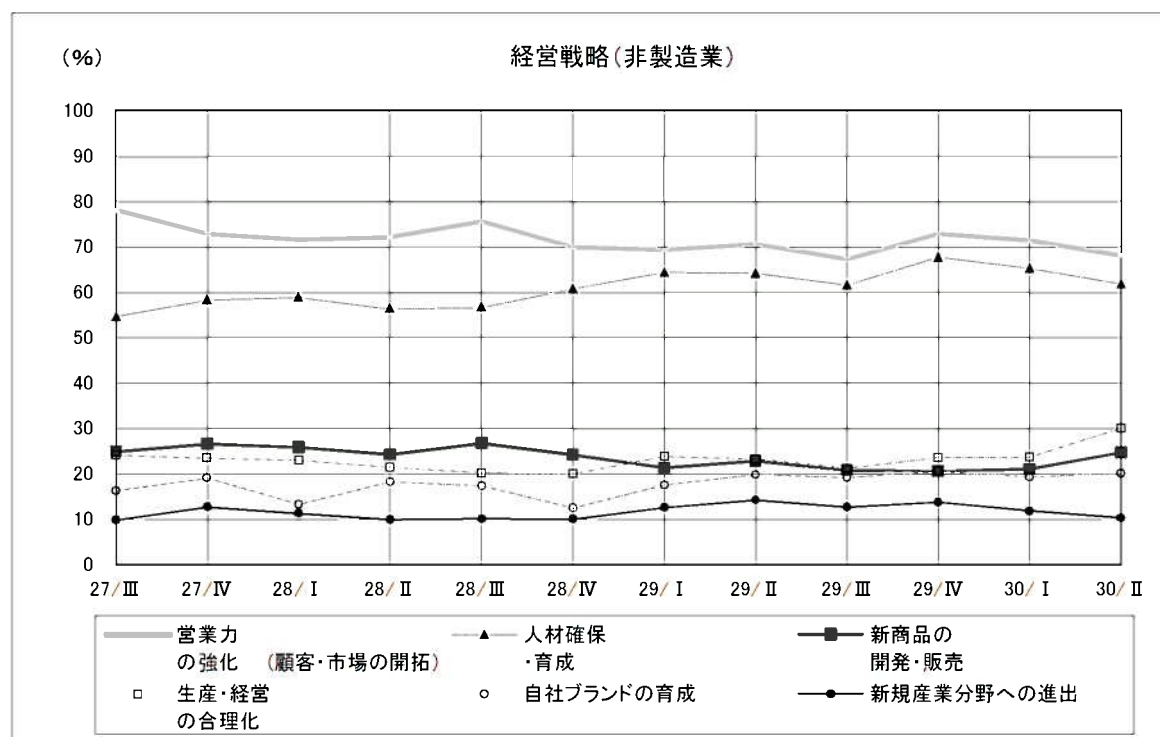


図 33. 当面の経営戦略・卸売

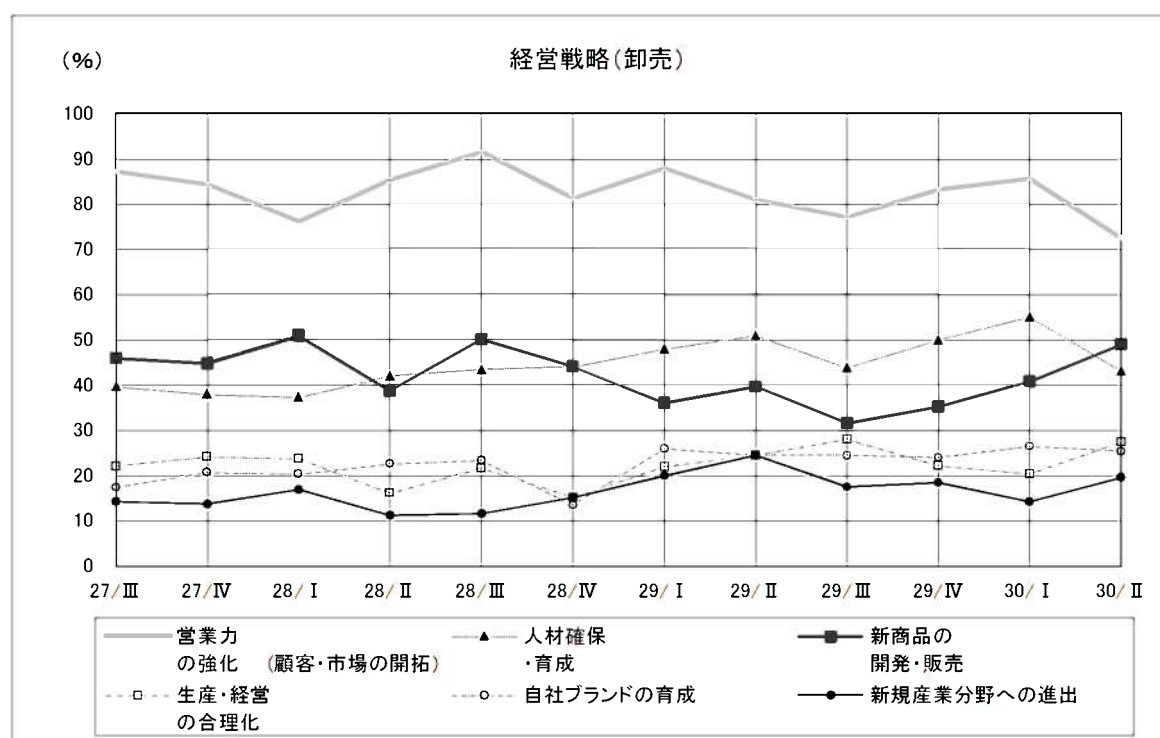


図34. 当面の経営戦略・小売

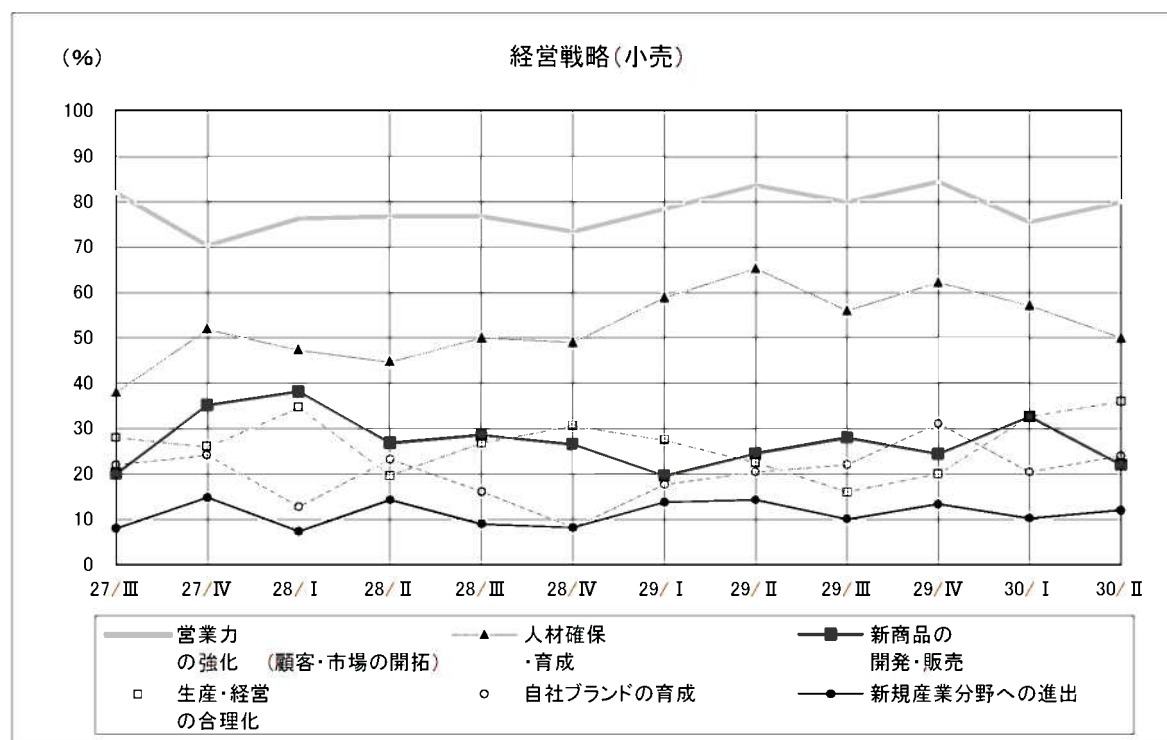


図35. 当面の経営戦略・情報通信

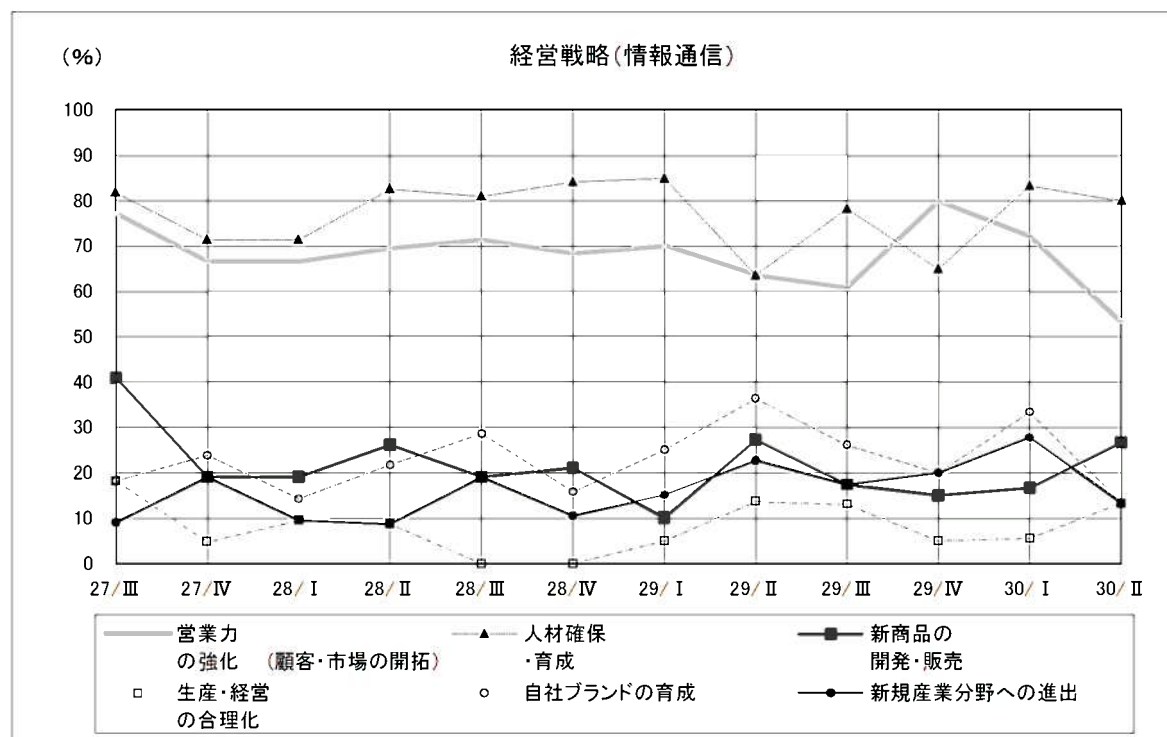


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

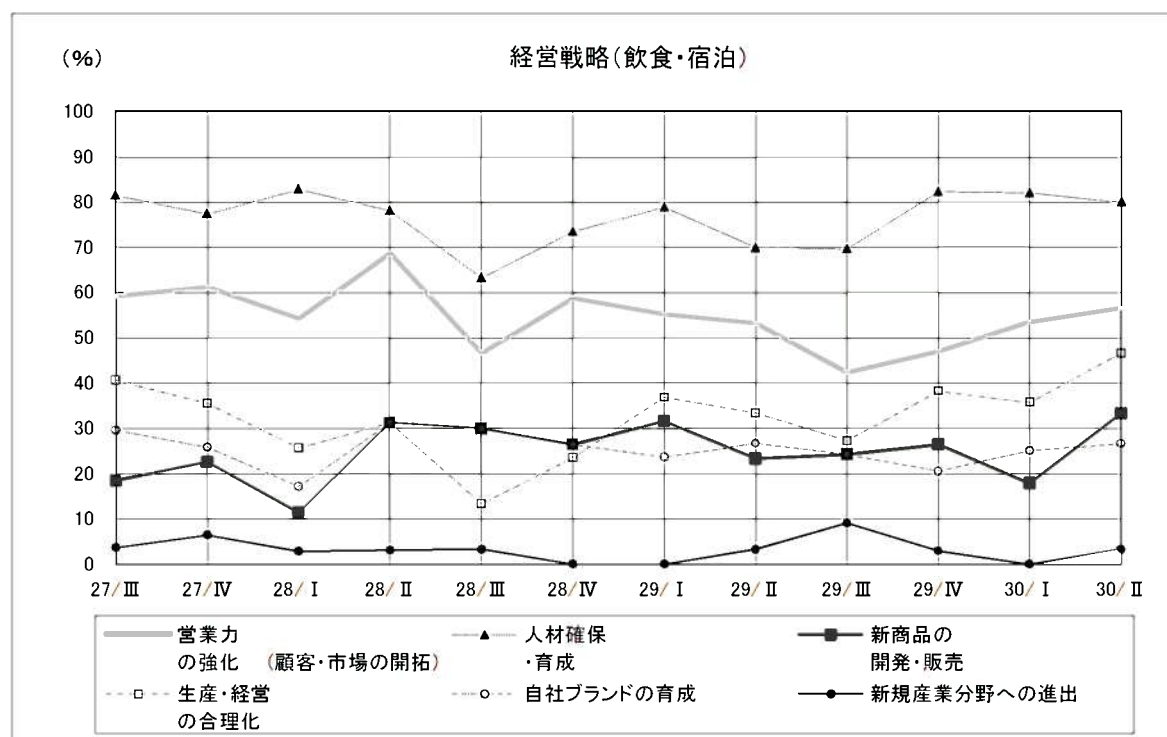


図 37. 当面の経営戦略・サービス

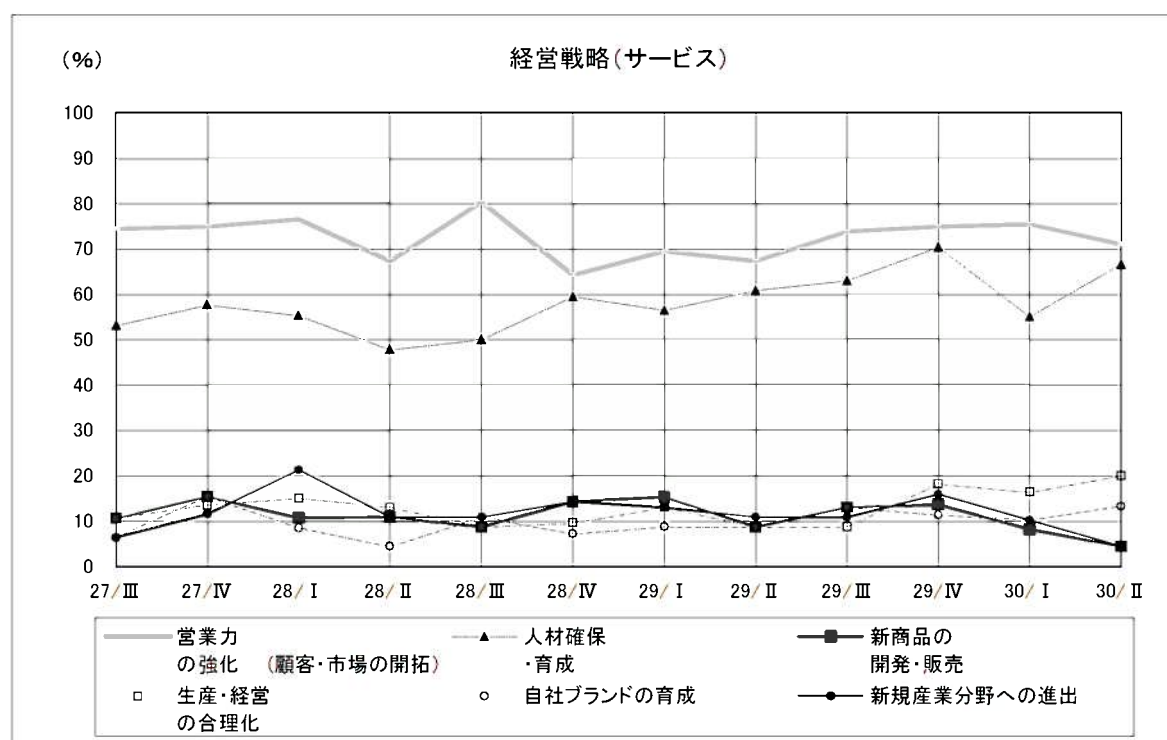


図38. 当面の経営戦略・建設

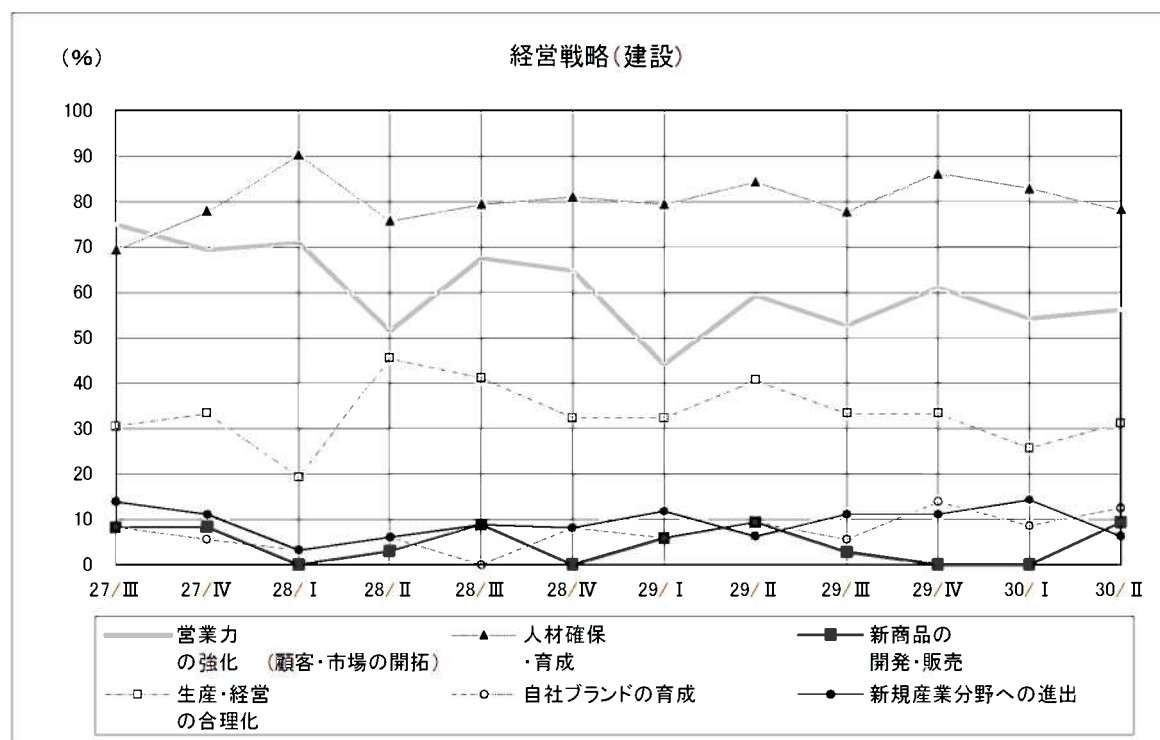


表13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	自社ブランドの育成	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	305 66.7%	159 34.8%	257 56.2%	66 14.4%	92 20.1%	162 35.4%	24 5.3%	65 14.2%	13 2.8%	457 100.0%	25
製造業	153 65.4%	92 39.3%	119 50.9%	43 18.4%	47 20.1%	107 45.7%	19 8.1%	28 12.0%	5 2.1%	234 100.0%	12
西陣	13 72.2%	3 16.7%	3 16.7%	5 27.8%	7 38.9%	12 66.7%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%	3
染色	18 62.1%	15 51.7%	13 44.8%	5 17.2%	6 20.7%	10 34.5%	1 3.4%	4 13.8%	0 0.0%	29 100.0%	1
印刷	20 69.0%	15 51.7%	15 51.7%	5 17.2%	5 17.2%	14 48.3%	0 0.0%	5 17.2%	1 3.4%	29 100.0%	0
窯業	8 53.3%	5 33.3%	7 46.7%	5 33.3%	6 40.0%	7 46.7%	3 20.0%	3 20.0%	1 6.7%	15 100.0%	0
化学	11 61.1%	4 22.2%	10 55.6%	2 11.1%	0 0.0%	12 66.7%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%	0
金属	22 73.3%	17 56.7%	24 80.0%	5 16.7%	3 10.0%	8 26.7%	1 3.3%	3 10.0%	1 3.3%	30 100.0%	0
機械	19 67.9%	12 42.9%	18 64.3%	7 25.0%	4 14.3%	7 25.0%	2 7.1%	0 0.0%	1 3.6%	28 100.0%	4
その他の製造	42 62.7%	21 31.3%	29 43.3%	9 13.4%	16 23.9%	37 55.2%	6 9.0%	13 19.4%	1 1.5%	67 100.0%	4
非製造業	152 68.2%	67 30.0%	138 61.9%	23 10.3%	45 20.2%	55 24.7%	5 2.2%	37 16.6%	8 3.6%	223 100.0%	13
卸売	37 72.5%	14 27.5%	22 43.1%	10 19.6%	13 25.5%	25 49.0%	1 2.0%	7 13.7%	1 2.0%	51 100.0%	1
小売	40 80.0%	18 36.0%	25 50.0%	6 12.0%	12 24.0%	11 22.0%	0 0.0%	5 10.0%	2 4.0%	50 100.0%	7
情報通信	8 53.3%	2 13.3%	12 80.0%	2 13.3%	2 13.3%	4 26.7%	2 13.3%	2 13.3%	0 0.0%	15 100.0%	2
飲食・宿泊	17 56.7%	14 46.7%	24 80.0%	1 3.3%	8 26.7%	10 33.3%	1 3.3%	7 23.3%	2 6.7%	30 100.0%	0
サービス	32 71.1%	9 20.0%	30 66.7%	2 4.4%	6 13.3%	2 4.4%	1 2.2%	9 20.0%	2 4.4%	45 100.0%	3
建設	18 56.3%	10 31.3%	25 78.1%	2 6.3%	4 12.5%	3 9.4%	0 0.0%	7 21.9%	1 3.1%	32 100.0%	0
観光関連	30 60.0%	20 40.0%	32 64.0%	4 8.0%	18 36.0%	26 52.0%	2 4.0%	11 22.0%	1 2.0%	50 100.0%	2

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図39. 経営上の不安要素・全体回答状況

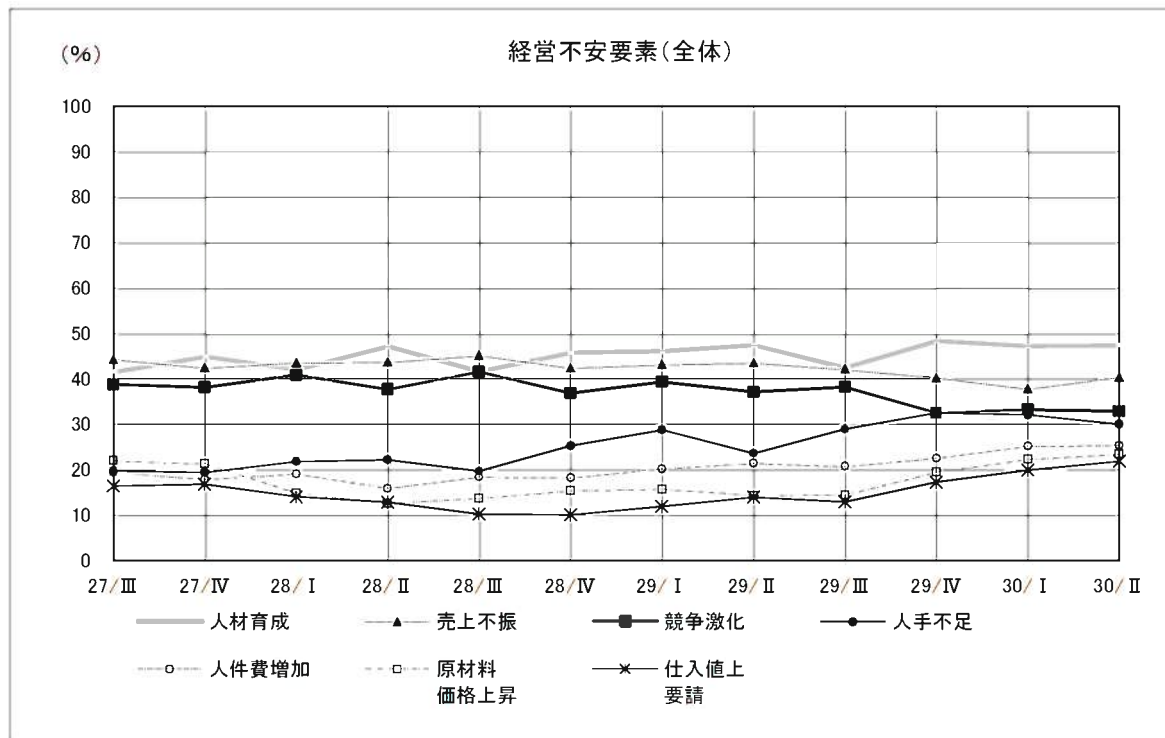


図40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

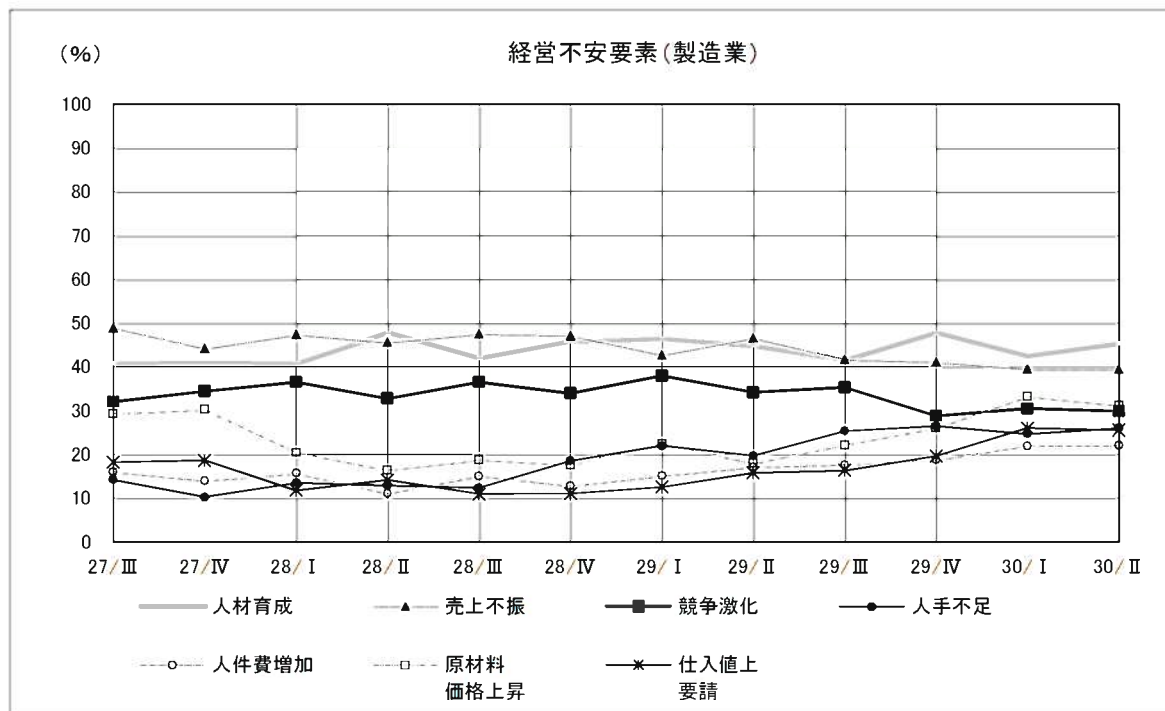


図 41. 経営上の不安要素・西陣

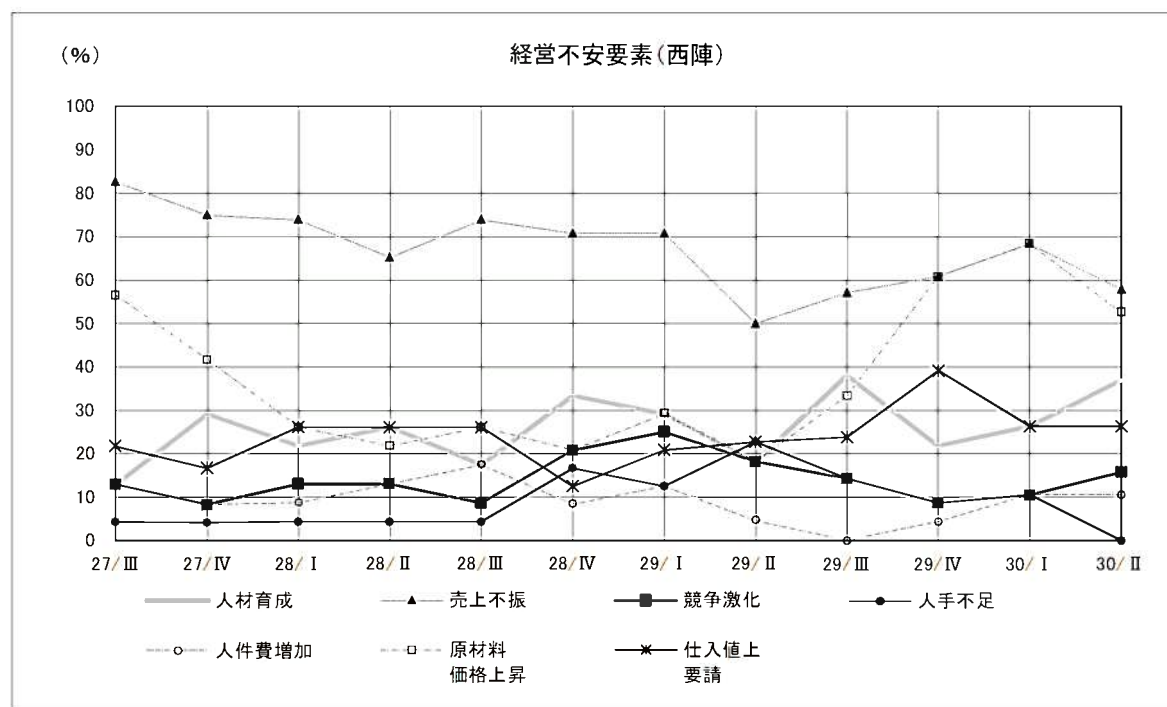


図 42. 経営上の不安要素・染色

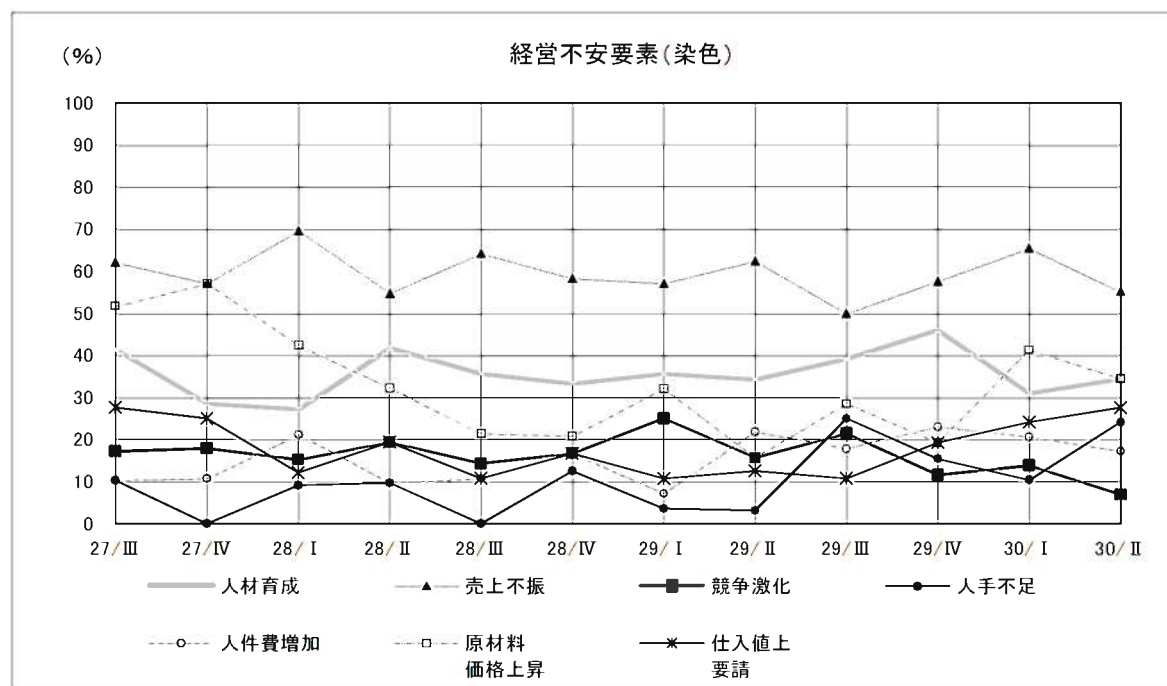


図43. 経営上の不安要素・印刷

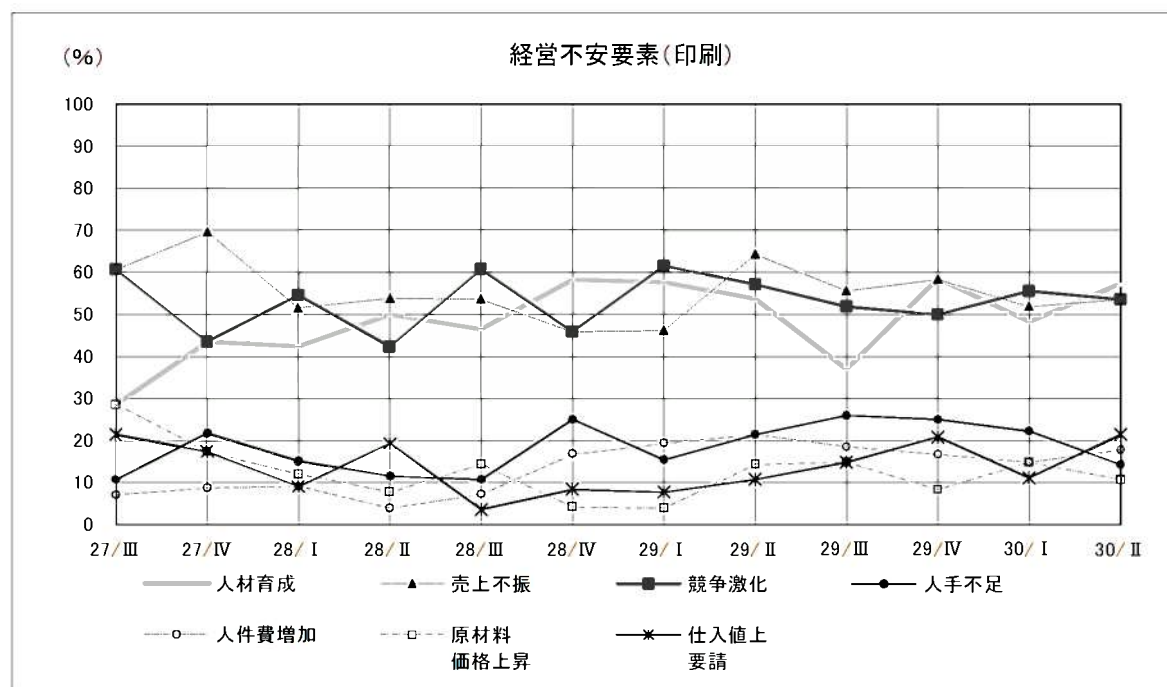


図44. 経営上の不安要素・窯業

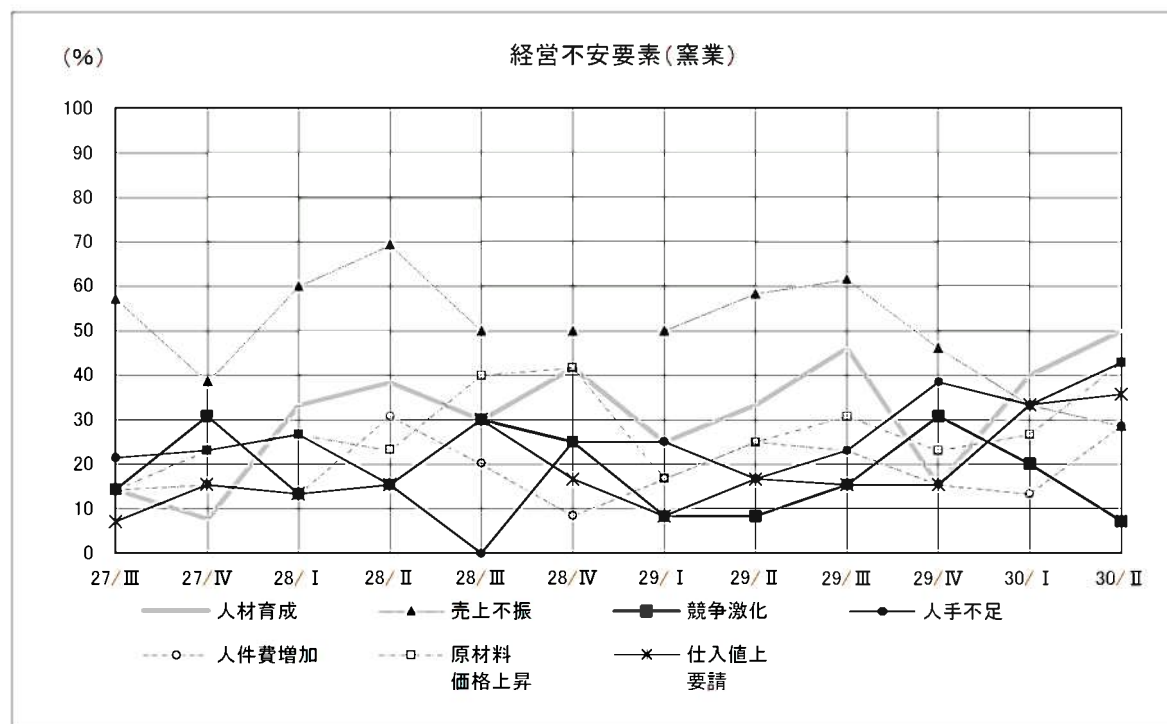


図45. 経営上の不安要素・化学

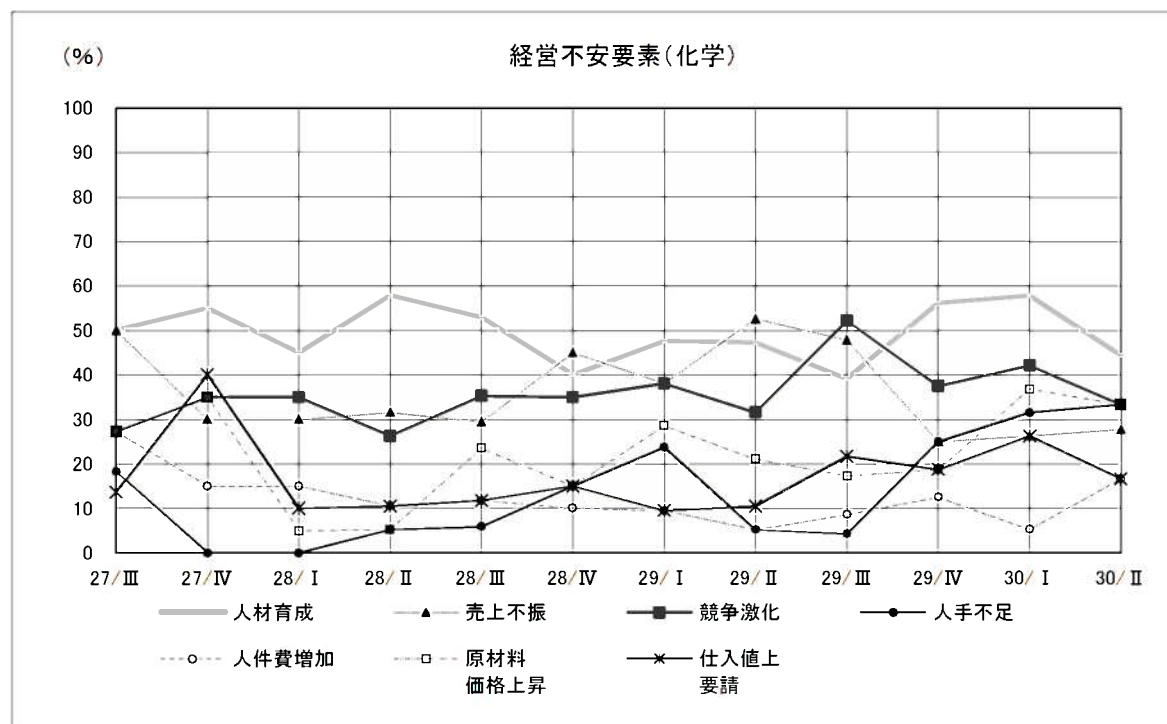


図46. 経営上の不安要素・金属

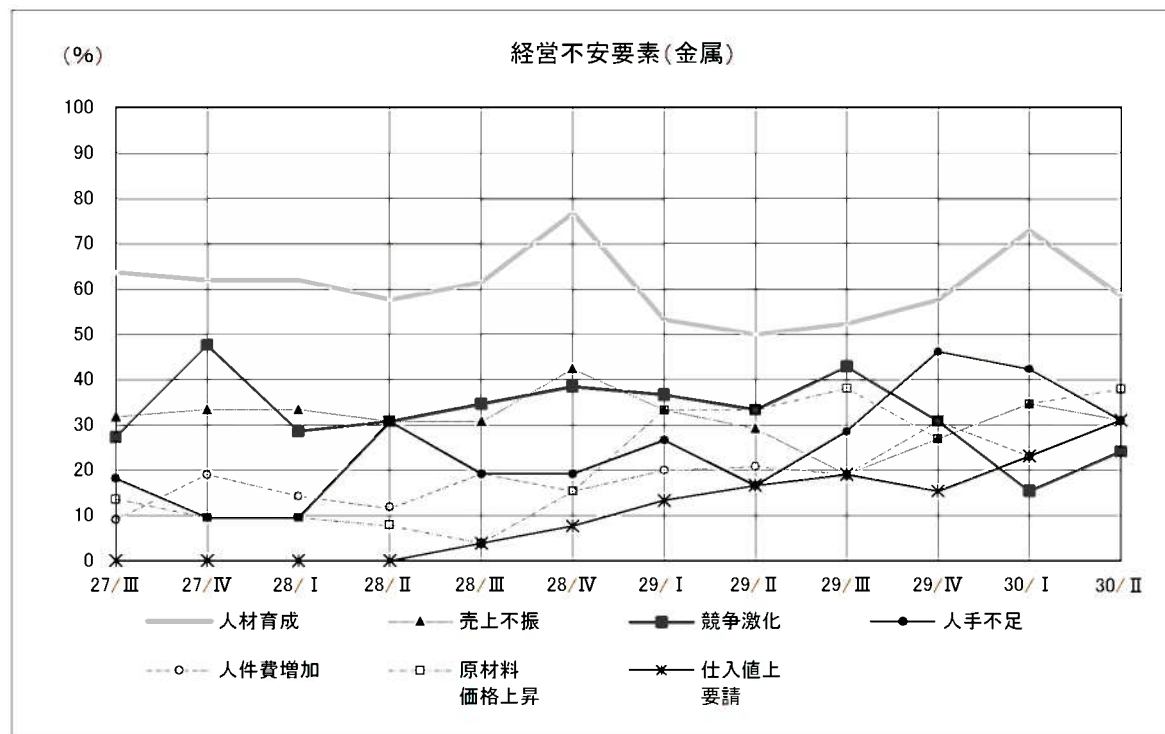


図47. 経営上の不安要素・機械

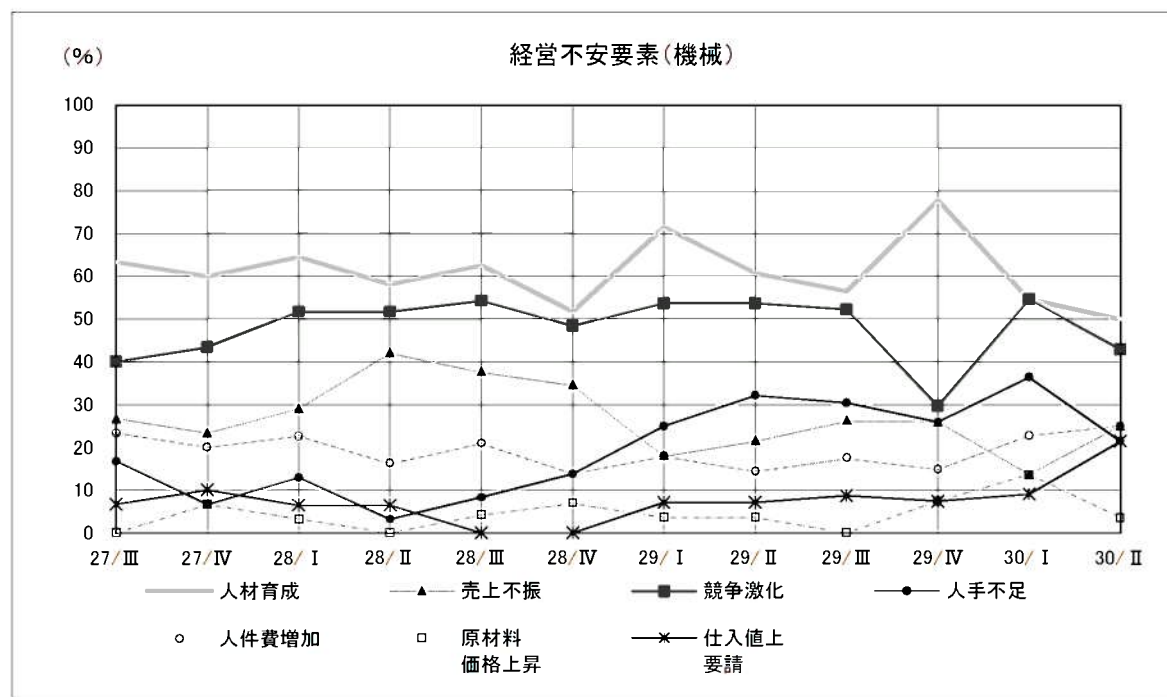


図48. 経営上の不安要素・その他の製造

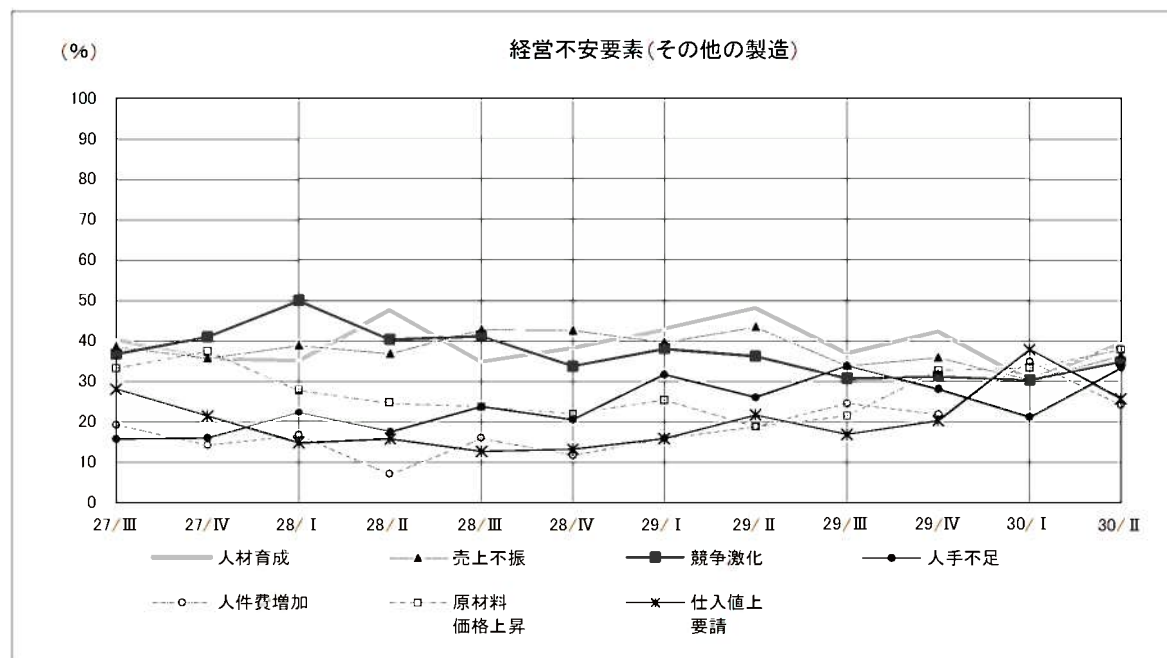


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

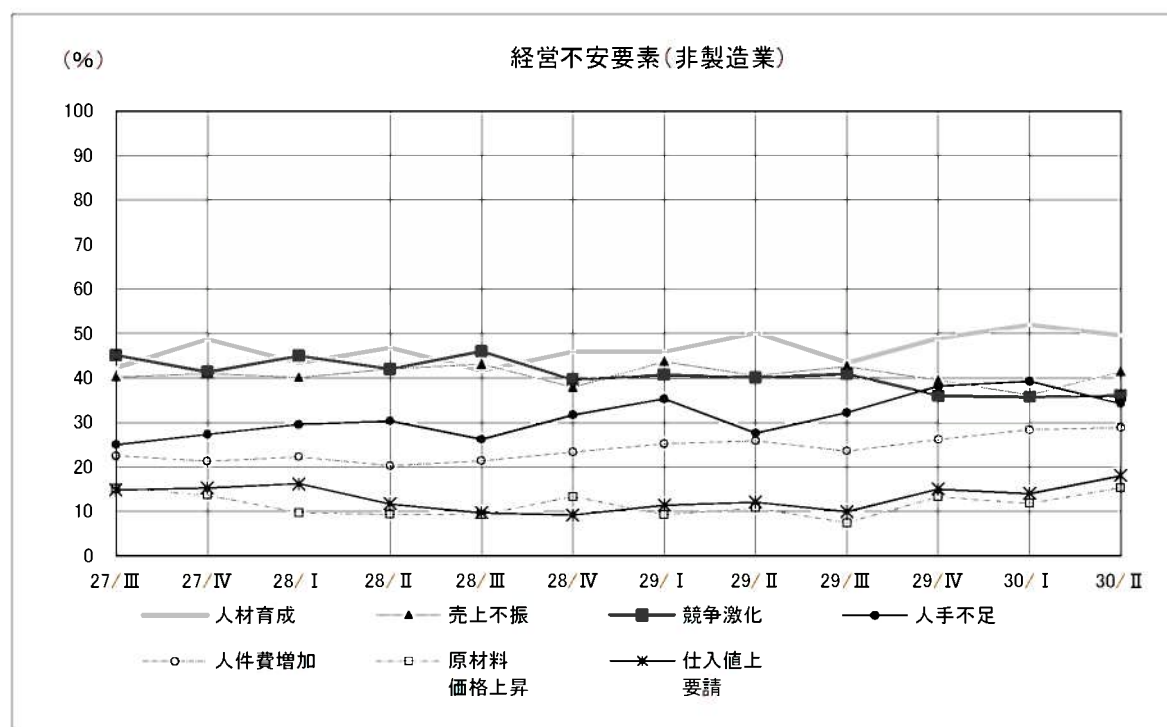


図 50. 経営上の不安要素・卸売

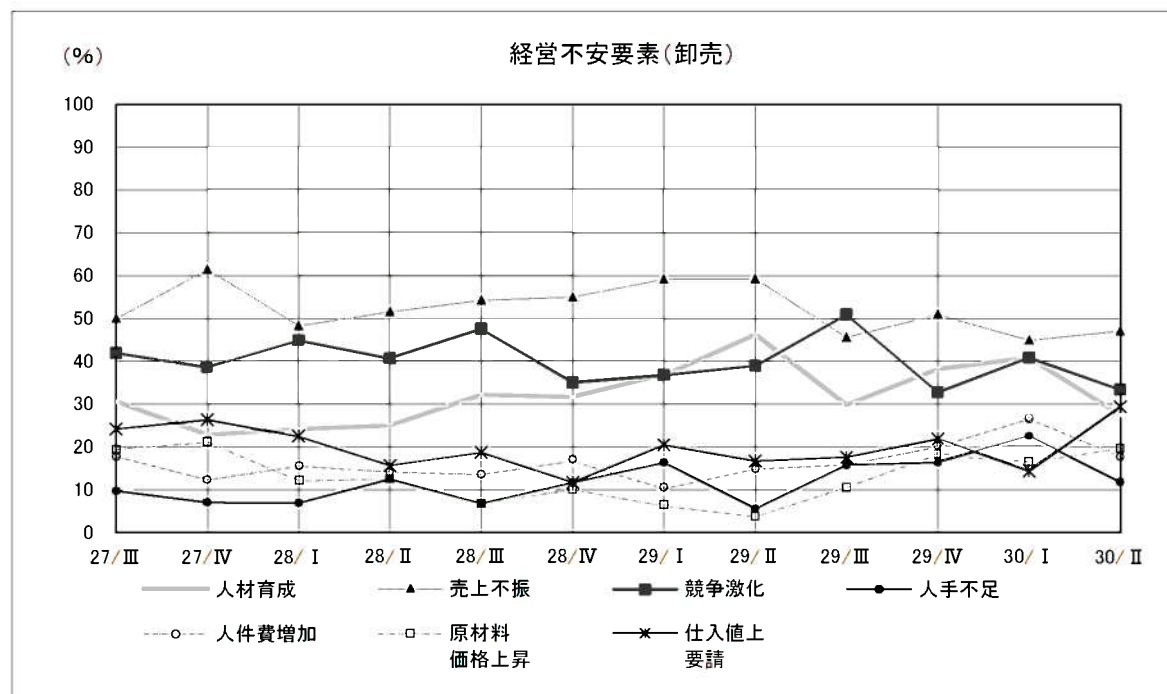


図51. 経営上の不安要素・小売

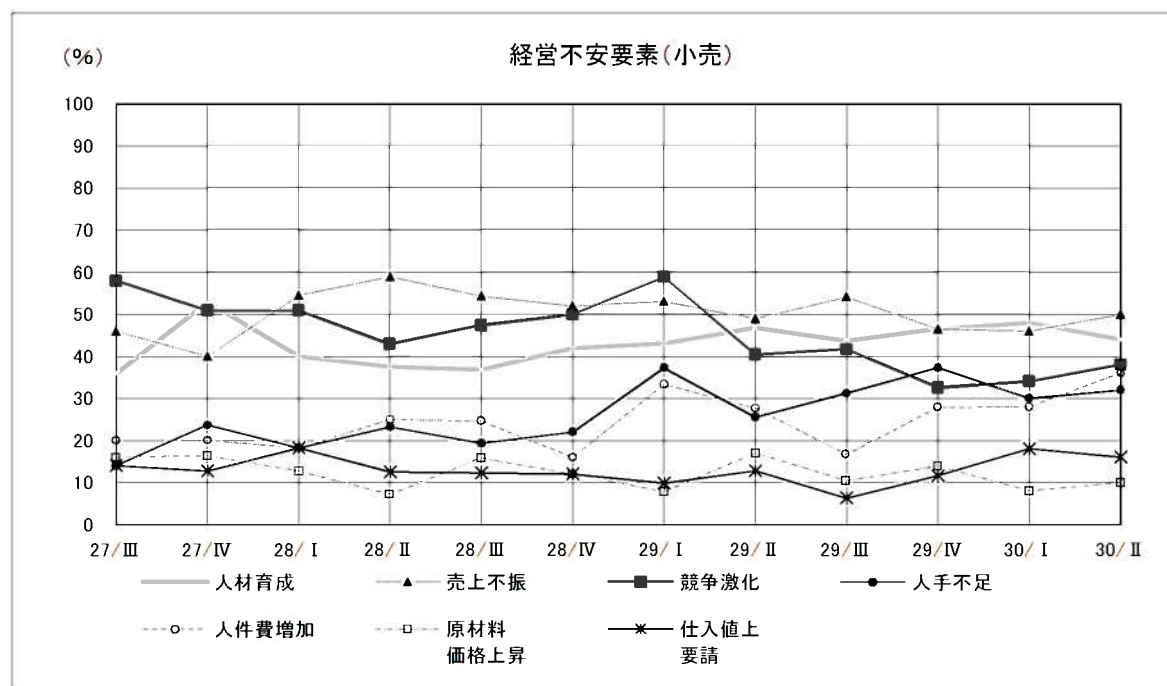


図52. 経営上の不安要素・情報通信

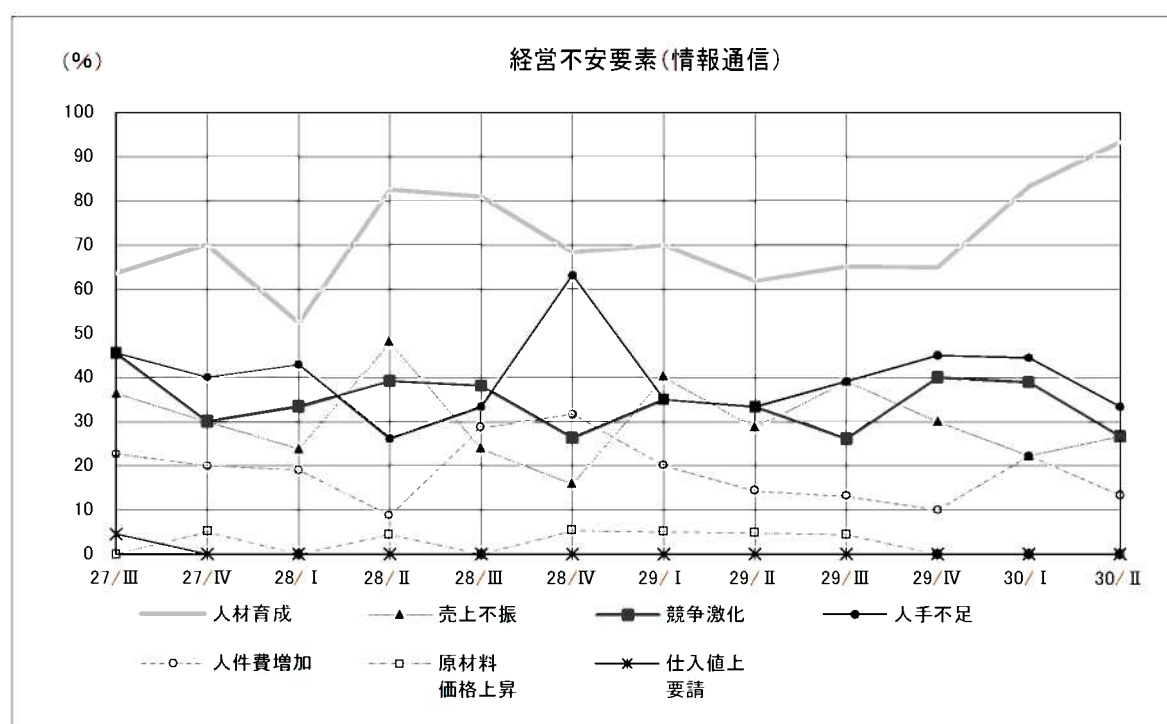


図53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

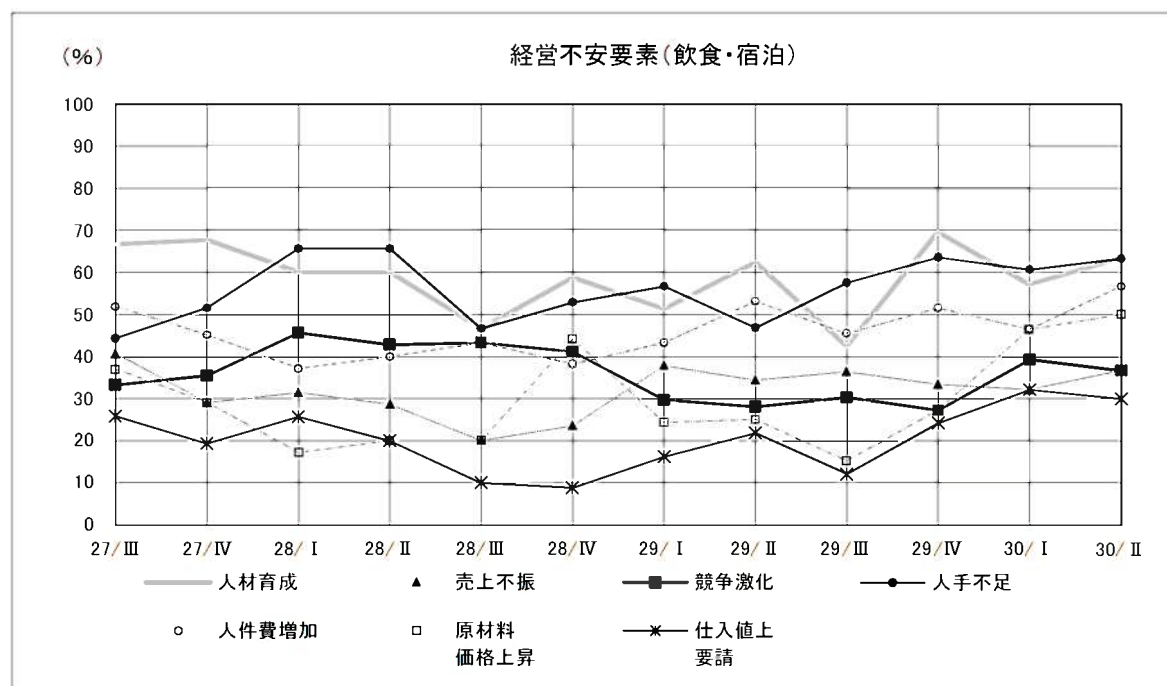


図54. 経営上の不安要素・サービス

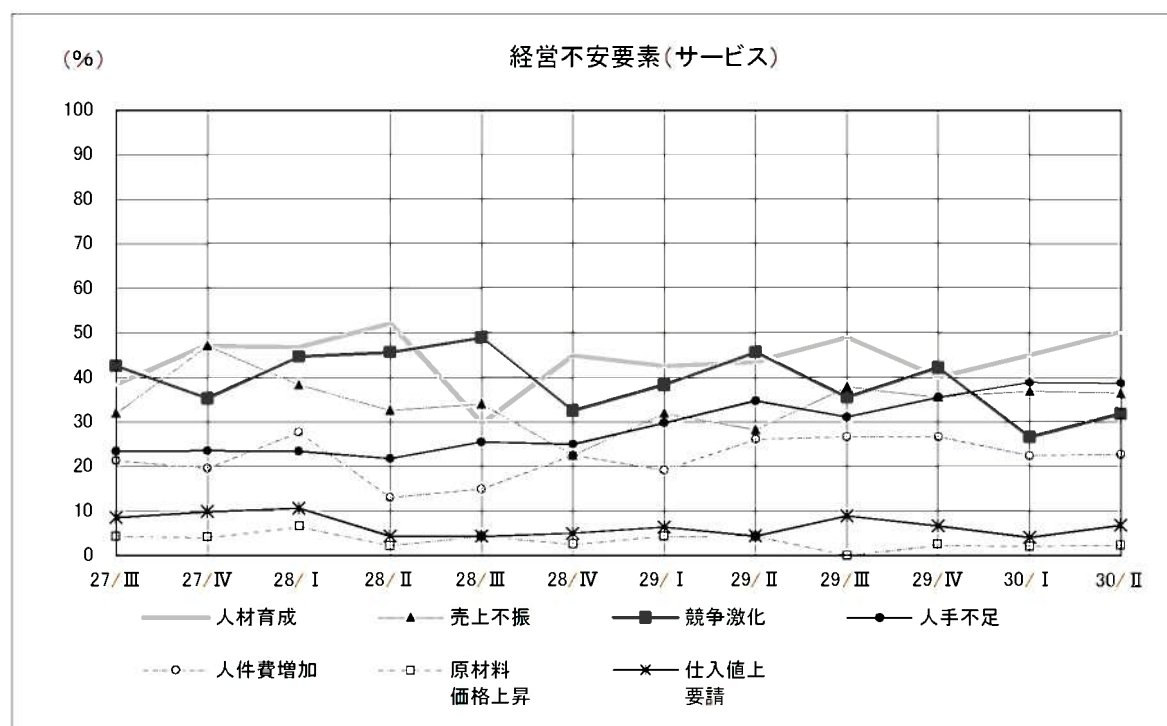


図 55. 経営上の不安要素・建設

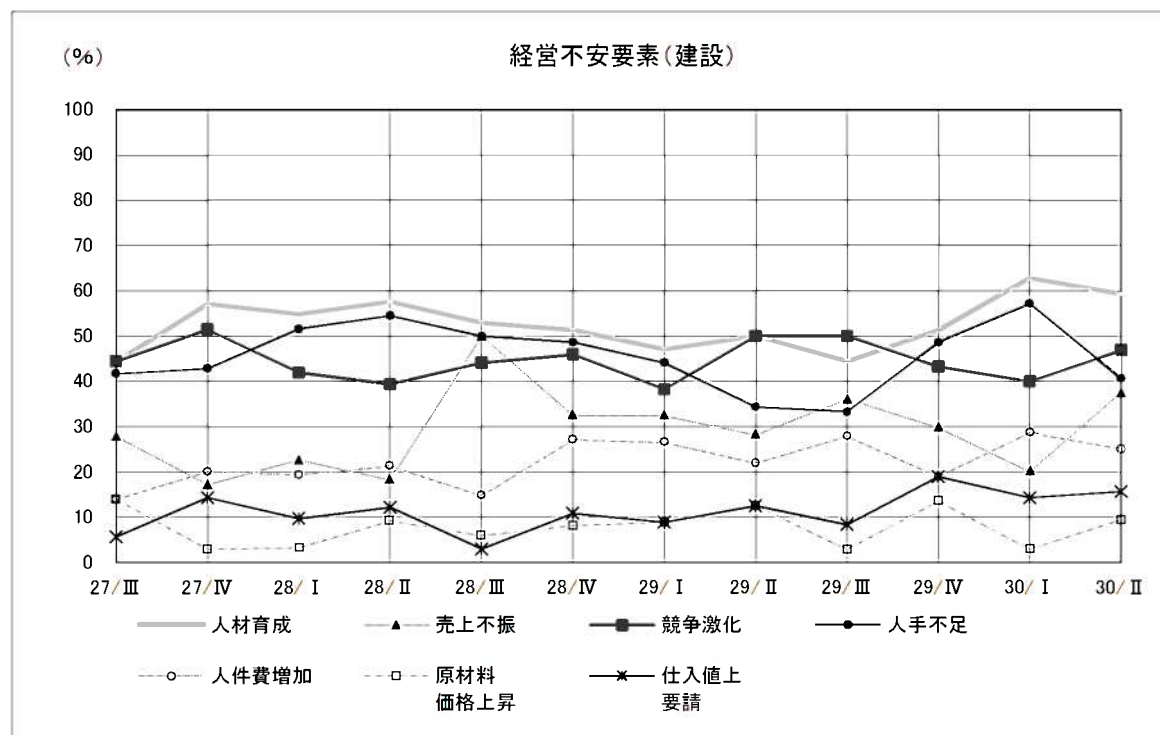


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	149 32.9%	183 40.4%	215 47.5%	41 9.1%	99 21.9%	106 23.4%	9 2.0%	66 14.6%
製造業	69 29.9%	91 39.4%	105 45.5%	26 11.3%	59 25.5%	72 31.2%	6 2.6%	33 14.3%
西陣	3 15.8%	11 57.9%	7 36.8%	0 0.0%	5 26.3%	10 52.6%	1 5.3%	4 21.1%
染色	2 6.9%	16 55.2%	10 34.5%	2 6.9%	8 27.6%	10 34.5%	1 3.4%	2 6.9%
印刷	15 53.6%	15 53.6%	16 57.1%	6 21.4%	6 21.4%	3 10.7%	1 3.6%	5 17.9%
窯業	1 7.1%	4 28.6%	7 50.0%	1 7.1%	5 35.7%	6 42.9%	0 0.0%	2 14.3%
化学	6 33.3%	5 27.8%	8 44.4%	1 5.6%	3 16.7%	6 33.3%	1 5.6%	4 22.2%
金属	7 24.1%	9 31.0%	17 58.6%	4 13.8%	9 31.0%	11 37.9%	0 0.0%	4 13.8%
機械	12 42.9%	7 25.0%	14 50.0%	3 10.7%	6 21.4%	1 3.6%	2 7.1%	2 7.1%
その他の製造	23 34.8%	24 36.4%	26 39.4%	9 13.6%	17 25.8%	25 37.9%	0 0.0%	10 15.2%
非製造業	80 36.0%	92 41.4%	110 49.5%	15 6.8%	40 18.0%	34 15.3%	3 1.4%	33 14.9%
卸売	17 33.3%	24 47.1%	14 27.5%	3 5.9%	15 29.4%	10 19.6%	2 3.9%	13 25.5%
小売	19 38.0%	25 50.0%	22 44.0%	0 0.0%	8 16.0%	5 10.0%	0 0.0%	11 22.0%
情報通信	4 26.7%	4 26.7%	14 93.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%
飲食・宿泊	11 36.7%	11 36.7%	19 63.3%	0 0.0%	9 30.0%	15 50.0%	0 0.0%	2 6.7%
サービス	14 31.8%	16 36.4%	22 50.0%	6 13.6%	3 6.8%	1 2.3%	1 2.3%	3 6.8%
建設	15 46.9%	12 37.5%	19 59.4%	5 15.6%	5 15.6%	3 9.4%	0 0.0%	3 9.4%
観光関連	20 40.8%	18 36.7%	28 57.1%	1 2.0%	14 28.6%	16 32.7%	0 0.0%	3 6.1%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	円安	その他	有効回答	無回答
全業種	47 10.4%	59 13.0%	136 30.0%	115 25.4%	14 3.1%	19 4.2%	453 100.0%	29
製造業	30 13.0%	32 13.9%	60 26.0%	51 22.1%	8 3.5%	10 4.3%	231 100.0%	15
西陣	2 10.5%	4 21.1%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	2 10.5%	19 100.0%	2
染色	2 6.9%	5 17.2%	7 24.1%	5 17.2%	0 0.0%	1 3.4%	29 100.0%	1
印刷	4 14.3%	5 17.9%	4 14.3%	5 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	1
窯業	1 7.1%	3 21.4%	6 42.9%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%	1
化学	3 16.7%	2 11.1%	6 33.3%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%	0
金属	2 6.9%	2 6.9%	9 31.0%	9 31.0%	1 3.4%	0 0.0%	29 100.0%	1
機械	10 35.7%	5 17.9%	6 21.4%	7 25.0%	0 0.0%	3 10.7%	28 100.0%	4
その他の製造	6 9.1%	6 9.1%	22 33.3%	16 24.2%	5 7.6%	4 6.1%	66 100.0%	5
非製造業	17 7.7%	27 12.2%	76 34.2%	64 28.8%	6 2.7%	9 4.1%	222 100.0%	14
卸売	3 5.9%	4 7.8%	6 11.8%	9 17.6%	3 5.9%	4 7.8%	51 100.0%	1
小売	2 4.0%	6 12.0%	16 32.0%	18 36.0%	0 0.0%	1 2.0%	50 100.0%	7
情報通信	3 20.0%	6 40.0%	5 33.3%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	2
飲食・宿泊	2 6.7%	3 10.0%	19 63.3%	17 56.7%	3 10.0%	1 3.3%	30 100.0%	0
サービス	4 9.1%	4 9.1%	17 38.6%	10 22.7%	0 0.0%	3 6.8%	44 100.0%	4
建設	3 9.4%	4 12.5%	13 40.6%	8 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	32 100.0%	0
観光関連	4 8.2%	2 4.1%	25 51.0%	22 44.9%	1 2.0%	2 4.1%	49 100.0%	3

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項 目	企業数	(構成比)
明 治 以 前	8	(1.7)
明 治	14	(2.9)
大 正	9	(1.9)
昭和19年以前	28	(5.8)
20 ～ 39 年	175	(36.3)
40 ～ 49 年	96	(19.9)
昭和50年以降	79	(16.4)
平 成	71	(14.7)
無 回 答	0	(0.0)
不 明	2	(0.4)
合 計	482	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項 目	企業数	(構成比)
法 人	478	(99.2)
個 人	4	(0.8)
無 回 答	0	(0.0)
合 計	482	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数	(構成比)	項 目	企業数	(構成比)
製造業	246	(51.0)	非製造業	236	(49.0)
西 陣	21	(4.4)	卸 売	52	(10.8)
染 色	30	(6.2)	小 売	57	(11.8)
印 刷	29	(6.0)	情 報 通 信	17	(3.5)
窯 業	15	(3.1)	飲 食 ・ 宿 泊	30	(6.2)
化 学	18	(3.7)	サ ー ビ ス	48	(10.0)
金 属	30	(6.2)	建 設	32	(6.6)
機 械	32	(6.6)	不 明	0	(0.0)
その他の製造	71	(14.7)	合 計	482	(100.0)

※観光関連（観光関連の売上が25%以上）

52 (10.8)

資本金規模別回答企業数 (%)

項 目	企業数	(構成比)	項 目	企業数	(構成比)
～ 100 万 円	2	(0.4)	3001 ～ 5000	77	(16.1)
101 ～ 200	0	(0.0)	5001 ～ 1 億 円	32	(6.7)
201 ～ 500	28	(5.9)	1 億 円 超	3	(0.6)
501 ～ 1000	200	(41.8)	無 回 答	0	(0.0)
1001 ～ 3000	136	(28.5)	合 計	478	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項 目	企業数	(構成比)	項 目	企業数	(構成比)
0 ～ 4 人	93	(19.3)	50 ～ 99 人	47	(9.8)
5 ～ 9 人	78	(16.2)	100 人 以 上	26	(5.4)
10 人 ～ 19 人	101	(21.0)	無 回 答	6	(1.2)
20 人 ～ 29 人	68	(14.1)	合 計	482	(100.0)
30 ～ 49 人	63	(13.1)			

第127回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成30年6月18日（月）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会 社 名										
経営形態	法人・個人	資本金				万円	電 話			—
設 立 年	(明治以前 ・ 明治 ・ 大正 ・ 昭和 ・ 平成)					年	従業員数			人 (うち非正規人) ※2
※1 業 種	製 造 業 : A 西陣 ・ B 染色 ・ C 印刷 ・ D 窯業 ・ E 化学 ・ F 金属 ・ G 機械 ・ H その他の製造									
	非製造業: I 卸売 ・ J 小売 ・ K 情報通信 ・ L 飲食店、宿泊 ・ M サービス ・ N 建設									
	観光関係の売上げ: 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。									
主な製品、商品、サービス										
御記入者	部課:	役職:				氏名:				

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項 目		期 間		平成30年4月～6月の実績 (前年の同期と比較して)			平成30年7月～9月の予想 (前年の同期と比較して)		
貴 社 の 業 況		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降		
生産加工量・販売量		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少		
経常利益（税引前）		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少		
製品・加工単価、販売単価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降		
仕 入 単 価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降		
製 品 ・ 商 品 在 庫 量		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足		
雇 用 人 員		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足		
資 金 繰 り		楽	普 通	苦	楽	普 通	苦		
同 業 他 社 と の 競 争		激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和		
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受 注 残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少		
	生産設備	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足		
	設備投資	し た	し て い な い		す る	し な い			

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

--

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。（複数回答可）

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化(顧客・市場開拓) | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 自社ブランドの育成 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。（複数回答可）

- | | | |
|-----------------|-----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 為替動向(円安・円高等) | 14 その他() | |

（裏面も御記入ください。）

(5) 貴社の持続可能な経営の取組について、お尋ねします。

京都市では、様々な自然災害、人口減少や地域コミュニティの希薄化といった様々な危機にしなやかに対応し、発展し続けることができる「レジリエント・シティ」を目指して取組を進めています。

企業においても、日常的なトラブルや災害時など、いざという時のために日頃から備えをしておくことで、持続可能な企業経営、そしてレジリエンスの向上(=しなやかな回復力)に繋がると考えています。

A 貴社で、持続可能な企業経営、レジリエンスの向上に向けて取り組んでいるものはありますか。

下記の該当する箇所に○印を付けてください。(複数回答可)

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| ア 緊急時の対応を想定した計画等の策定 →問A-1へ | イ 国土強靱化貢献団体認証「レジリエンス認証」の取得 |
| ウ ISO 22301(事業継続)の認証取得 | エ 災害時の事業継続に係る協定(物品供給、資金提供等)の締結 |
| オ 緊急時を想定した訓練の実施 | カ 備蓄品(水・食糧・物品)の購入 |
| キ 後継者への引き継ぎに向けた事業承継計画の策定 | |
| ク その他(|) |
| ケ 実施していない →問A-2へ | |

A-1 上記Aで「ア 緊急時の対応を想定した計画等の策定」と回答された方にお尋ねします。

計画等はどのような事象を想定した内容ですか。下記の該当する箇所に○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | | |
|--------------|----------------------------|----------------------|------------------|
| ア 地震 | イ 台風、ゲリラ豪雨、洪水、豪雪 | ウ 火災 | エ 新型インフルエンザ等の感染症 |
| オ 設備、機械等の故障 | カ コンピューターウイルス等のITトラブルや通信障害 | キ 人身事故 | |
| ク コンプライアンス違反 | ケ サプライチェーンのトラブル | コ 消費者の生命・身体に被害が生じた事故 | |
| サ その他(| | |) |

A-2 上記Aで「ケ 実施していない」と回答された方にお尋ねします。

実施していない理由として該当する箇所に○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | | |
|--------------------------|--------------|-----------|---------------|
| ア 資金がない | イ 実施する人材がいない | ウ ノウハウがない | エ 相談体制が不十分である |
| オ 取引先、顧客、株主、業界団体からの要請がない | | | |
| カ その他(| | |) |
| キ 必要性を感じない | | | |

B 持続可能な企業経営に向けては、事業を円滑に承継することができるよう、事前に後継者を選定しておくことが重要であると考えますが、貴社では、後継者を選定していますか。選定していない場合は、その理由として該当する箇所に○印を付けてください。

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| ア 後継者を選定している | イ 後継者を選定していない |
| <選定していない理由> | |
| ① 適当な後継者が見つからない | |
| ② 後継者候補がいるが、本人が承諾しない | |
| ③ 複数の後継者がおり絞り込めない | |
| ④ 後継者を決定したいが相談先が分からない | |
| ⑤ 後継者候補がいるが、まだ若い | |
| ⑥ 後継者を決定する必要がない(廃業予定など事業継続の意思がない。) | |
| ⑦ その他(| |

C 持続可能な企業経営を続けていくためには、地域の団体や周辺住民との連携等が重要であると考えられますが、貴社では、持続可能な企業経営に向けて、地域活動に参加されていますか。下記の該当する箇所に○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|------------------|--------------------|----------------|
| ア 子どもや高齢者への支援 | イ 教育への協力 | ウ 地域のまちづくりへの協力 |
| エ 地域の文化・芸術活動への協力 | オ まちの美化活動など地域の環境対策 | カ 地域の防災対策への協力 |
| キ その他(| |) |
| ク 実施していない | | |

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

当調査票は、同封の返信用封筒、もしくは業務委託先の(株)東京商エリサーチ京都支店(FAX:211-4788)にご返送願います。

なお、内容についてのお問い合わせは、京都市産業観光局産業企画室(TEL:222-3325)まで、お願いいたします。